

1. 現在の居住地に対する意識等

(1) 現在居住地

問1 現在、あなたのお住まいは、どちらですか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 1-1-1

		京都府内									京都府外							(%)	
		京 都 府 （ 計 ）	京 都 市	丹 後	中 丹	南 丹	乙 訓	学 研 都 市	相 楽 東 部	山 城 北	京 都 府 外 （ 計 ）	滋 賀 県 内 の 市 町 村	大 阪 府 内 の 市 区 町 村	兵 庫 県 内 の 市 区 町 村	奈 良 県 内 の 市 町 村	福 井 県 内 の 市 町 村	三 重 県 内 の 市 町 村	其 他 都 道 県 の 市 区 町 村	無 回 答
全	体 (n=2,261)	54.0	31.3	1.2	5.1	2.9	5.6	2.1	-	5.8	45.5	16.2	22.2	2.8	2.3	0.3	0.1	1.5	0.5
男性	府内在住 (n=930)	100.0	54.2	2.8	11.0	6.1	11.0	3.5	-	11.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住 (n=820)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	34.3	48.5	7.0	5.7	0.7	0.4	3.4	-
女性	府内在住 (n=275)	100.0	70.9	0.4	4.0	2.9	7.3	5.1	-	9.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住 (n=193)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	39.9	50.3	3.6	3.1	-	-	3.1	-

現在の居住地は、京都府内では、「京都市」が31.3%で最も多く、宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・井手町・宇治田原町からなる「山城北」地域が5.8%、長岡京市・向日市・大山崎町からなる「乙訓」地域が5.6%、福知山市・舞鶴市・綾部市からなる「中丹」地域が5.1%で、『京都府内』が54.0%である。一方、「大阪府内の市区町村」は22.2%、「滋賀県内の市区町村」は16.2%で、『京都府外』居住者は45.5%となっている（図表 1-1-1）。

性・居住地別にみると（図表 1-1-1）、府内在住の男性は「京都市」が54.2%で、「山城北」（11.4%）、「乙訓」（11.0%）、「中丹」（11.0%）などの順となっている。府内在住の女性は、「京都市」が70.9%と男性よりも多く、「山城北」（9.5%）、「乙訓」（7.3%）、京田辺市・木津川市・精華町からなる「学研都市」（5.1%）、「中丹」（4.0%）などの順となっている。

府外在住者では、「大阪府内の市区町村」（男性48.5%、女性50.3%）が約半数を占め、以下「滋賀県内の市町村」（同34.3%、39.9%）、「兵庫県内の市区町村」（同7.0%、3.6%）、「奈良県内の市町村」（同5.7%、3.1%）などの順となっており、男女での大きな差はみられない。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-1-2）、府内在住者のうち「京都市」居住者は、男女とも既婚者（男性 51.2%、女性 67.9%）よりも未婚者（同 58.0%、73.5%）に多い。男性は、その他には「山城北」（未婚 9.7%、既婚 12.7%）、「中丹」（同 10.4%、11.4%）、「乙訓」（同 12.4%、9.9%）の各地域に 1 割前後居住している。

府外在住者では、男女とも婚姻状況にかかわらず、「大阪府内の市区町村」居住者が最も多く、未婚者（男性 53.2%、女性 51.5%）では過半数を占め、既婚者（同 46.7%、47.5%）より多い。一方、「滋賀県内の市区町村」居住者は、男女とも未婚者（同 25.5%、37.9%）よりも既婚者（同 37.8%、44.3%）に多い。

図表 1-1-2 居住地域（性・居住地・婚姻状況別）

		京都府内										京都府外							(%)
		京都市	京都市後	丹後	中丹	南丹	乙訓	学研都市	相楽東部	山城北	京都府外（計）	滋賀県内の市区町村	大阪府内の市区町村	兵庫県内の市区町村	奈良県内の市区町村	福井県内の市区町村	三重県内の市区町村	その他都道府県の市区町村	無回答
全体	(n=2,261)	54.0	31.3	1.2	5.1	2.9	5.6	2.1	-	5.8	45.5	16.2	22.2	2.8	2.3	0.3	0.1	1.5	0.5
男性	府内在住 未婚	(n=402)	100.0	58.0	2.2	10.4	4.0	12.4	3.2	-	9.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	府内在住 既婚	(n=527)	100.0	51.2	3.2	11.4	7.8	9.9	3.8	-	12.7	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府外在住 未婚	(n=235)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	25.5	53.2	7.7	8.5	0.9	-	4.3	-
	府外在住 既婚	(n=585)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	37.8	46.7	6.7	4.6	0.7	0.5	3.1	-
女性	府内在住 未婚	(n=136)	100.0	73.5	0.7	1.5	2.9	6.6	3.7	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	府内在住 既婚	(n=137)	100.0	67.9	-	6.6	2.9	8.0	6.6	-	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府外在住 未婚	(n=132)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	37.9	51.5	3.8	3.0	-	-	3.8	-
	府外在住 既婚	(n=61)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	44.3	47.5	3.3	3.3	-	-	1.6	-

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-1-3）、府内在住の男性では、子どもがいない者では「京都市」居住者（未婚 57.1%、既婚 55.0%）が半数以上で、次いで「乙訓」（同 13.0%、12.8%）、「中丹」（同 10.9%、11.9%）が 1 割台である。子どものいる府内在住の男性では「京都市」居住者（50.4%）に次いで、「山城北」地域（13.8%）での居住がやや多い。一方、府内在住の子どもがいる女性では、「京都市」（66.3%）に次いで、「乙訓」（9.3%）と「中丹」（8.1%）に居住する者がそれぞれ 1 割弱である。

府外在住の男性では、子どもがいない既婚者は「大阪府内の市区町村」（54.3%）に次いで、「滋賀県内の市町村」居住者（40.2%）が 4 割で、大阪府と滋賀県に集中している。一方、子どものいない未婚者と子どもがいる者は、居住地域がやや分散している。

府外在住の子どもがいない未婚女性は、「大阪府内の市区町村」居住者が 52.3%、「滋賀県内の市町村」居住者が 36.7%である。

図表 1-1-3 居住地域（性・居住地・子どもの有無別）

		京都府内										京都府外							無 回 答			
		京 都 府 （ 計 ）	京 都 市	丹 後	中 丹	南 丹	乙 訓	学 研 都 市	相 楽 東 部	山 城 北	京 都 府 外 （ 計 ）	滋 賀 県 内 の 市 町 村	大 阪 府 内 の 市 区 町 村	兵 庫 県 内 の 市 区 町 村	奈 良 県 内 の 市 町 村	福 井 県 内 の 市 町 村	三 重 県 内 の 市 町 村	そ の 他 都 道 県 の 市 区 町 村				
全	体	(n=2,261)	54.0	31.3	1.2	5.1	2.9	5.6	2.1	-	5.8	45.5	16.2	22.2	2.8	2.3	0.3	0.1	1.5	0.5		
男	府 内 在 住	子 ど も が い な い	未 婚	(n=385)	100.0	57.1	2.1	10.9	3.9	13.0	3.4	-	9.6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		既 婚	(n=109)	100.0	55.0	0.9	11.9	6.4	12.8	4.6	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		子 ど も が い る	(n=405)	100.0	50.4	4.0	11.1	8.1	8.9	3.7	-	13.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	府 内 在 住	子 ど も が い な い	未 婚	(n=223)	-	-	-	-	-	-	-	100.0	26.0	53.8	7.6	8.1	0.9	-	3.6	-		
		既 婚	(n=127)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	40.2	54.3	2.4	0.8	-	0.8	1.6	-		
		子 ど も が い る	(n=448)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	37.1	44.4	7.8	5.8	0.9	0.4	3.6	-		
性	府 外 在 住	子 ど も が い な い	未 婚	(n=127)	100.0	74.8	0.8	1.6	2.4	6.3	3.1	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
		既 婚	(n=47)	100.0	72.3	-	4.3	-	6.4	6.4	-	10.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		子 ど も が い る	(n=86)	100.0	66.3	-	8.1	4.7	9.3	5.8	-	5.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		子 ど も が い な い	未 婚	(n=128)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	36.7	52.3	3.9	3.1	-	-	3.9	-	
性	府 外 在 住	既 婚	(n=32)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	40.6	53.1	3.1	-	-	-	3.1	-		
		子 ど も が い る	(n=28)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	50.0	42.9	3.6	3.6	-	-	-	-	

性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-1-4）、府内在住の男性は、「京都市」居住者（正規 53.8%、非正規 55.4%）は就労状況にかかわらず過半数を占めている。そのほか、正規雇用の男性は「中丹」（12.0%）に、非正規雇用者は「山城北」（16.5%）にやや多くなっている。一方、府内在住の女性も、「京都市」（正規 72.5%、非正規 66.2%）に 7 割前後が集中し、非正規雇用者が「乙訓」（14.1%）にやや多くなっている。

府外在住の正規雇用の男性は、「大阪府内の市区町村」居住者（49.6%）が半数で、次いで「滋賀県内の市区町村」（31.8%）が 3 割だが、非正規雇用の男性では「滋賀県内の市区町村」居住者（48.8%）がほぼ半数で最も多く、次いで「大阪府内の市区町村」（39.8%）が 4 割となっている。正規雇用の男性は「兵庫県内の市区町村」（7.6%）や「奈良県内の市町村」（6.6%）にも 1 割弱が居住している。

一方、府外在住の正規雇用の女性は、男性と同様に「大阪府内の市区町村」（49.7%）に半数が居住し、次いで「滋賀県内の市区町村」が 40.0%である。

図表 1-1-4 居住地域（性・居住地・就労状況別）

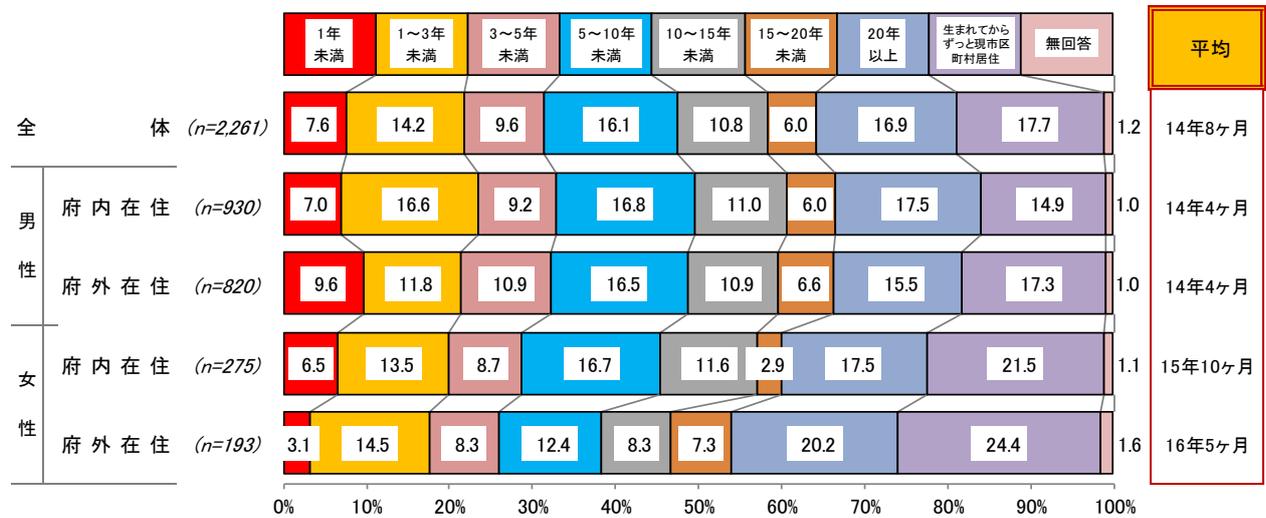
(%)

		京都府内										京都府外							無回答	
		京都市	京都市後	丹後	中丹	南丹	乙訓	学研都市	相楽東部	山城北	京都府外（計）	滋賀県内の市区町村	大阪府内の市区町村	兵庫県内の市区町村	奈良県内の市町村	福井県内の市町村	三重県内の市町村	市区町村	その他都道府県の市区町村	無回答
全体	(n=2261)	54.0	31.3	1.2	5.1	2.9	5.6	2.1	-	5.8	45.5	16.2	22.2	2.8	2.3	0.3	0.1	1.5	0.5	
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	府内在住	100.0	72.5	0.5	3.5	3.0	5.0	4.5	-	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	66.2	-	4.2	2.8	14.1	7.0	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	府内在住	100.0	53.8	3.1	12.0	6.7	10.9	3.1	-	10.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	府外在住	100.0	55.4	1.4	5.8	3.6	12.2	5.0	-	16.5										

(2) 居住年数

問2 あなたは、現在の市区町村にどのくらいお住まいですか。転居などで転出した期間を除いた、通算の期間をお答えください。

図表 1-2-1



現在居住する自治体への居住年数を聞いたところ（図表 1-2-1）、「生まれてからずっと、現在の市区町村に住んでいる」が 17.7%で最も多く、次いで「20年以上」が 16.9%、「5~10年未満」が 16.1%である。平均すると 14年8ヶ月である。

性・居住地別にみると（図表 1-2-1）、男性は居住地による大きな差はみられない。

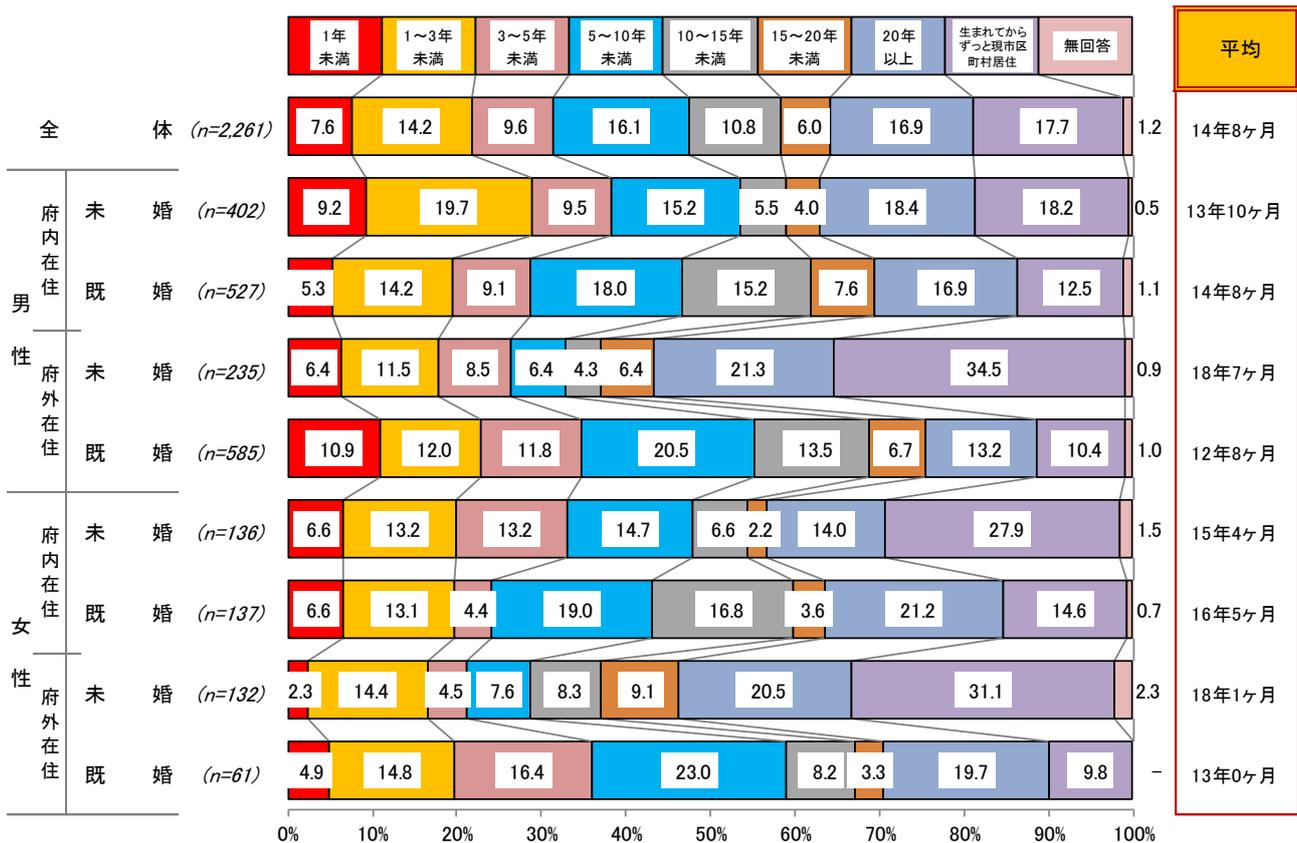
女性では、「生まれてからずっと、現在の市区町村に住んでいる」（府内 21.5%、府外 24.4%）もしくは「20年以上」（同 17.5%、20.2%）と回答した長期居住者は府内在住者より府外在住者に多く、平均居住年数は、府内在住者が 15年10ヶ月、府外在住者が 16年5ヶ月となっている。

男女別にみると、「生まれてからずっと、現在の市区町村に住んでいる」という者は、男性（府内 14.9%、府外 17.3%）より女性（同 21.5%、24.4%）に多い。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-2-2）、「生まれてからずっと、現在の市区町村に住んでいる」者は、男女とも府外在住の未婚者（男性 34.5%、女性 31.1%）で 3 割以上と多く、平均居住年数では男性が 18 年 7 ヶ月、女性が 18 年 1 ヶ月で、他の層よりも長い。一方、府外在住の既婚者は「5～10 年未満」が男性で 20.5%、女性で 23.0%であり、居住年数を平均すると男性で 12 年 8 ヶ月、女性は 13 年 0 ヶ月と、他の層よりも短く、婚姻状況による差が大きい。

府内在住の未婚者では、男性は居住年数「1～3 年未満」（19.7%）という者が 2 割で最も多く、平均居住年数は 13 年 10 ヶ月であるが、女性では「生まれてからずっと、現在の市区町村に住んでいる」者が 27.9%で、平均居住年数は 15 年 4 ヶ月と、男女差がみられる。

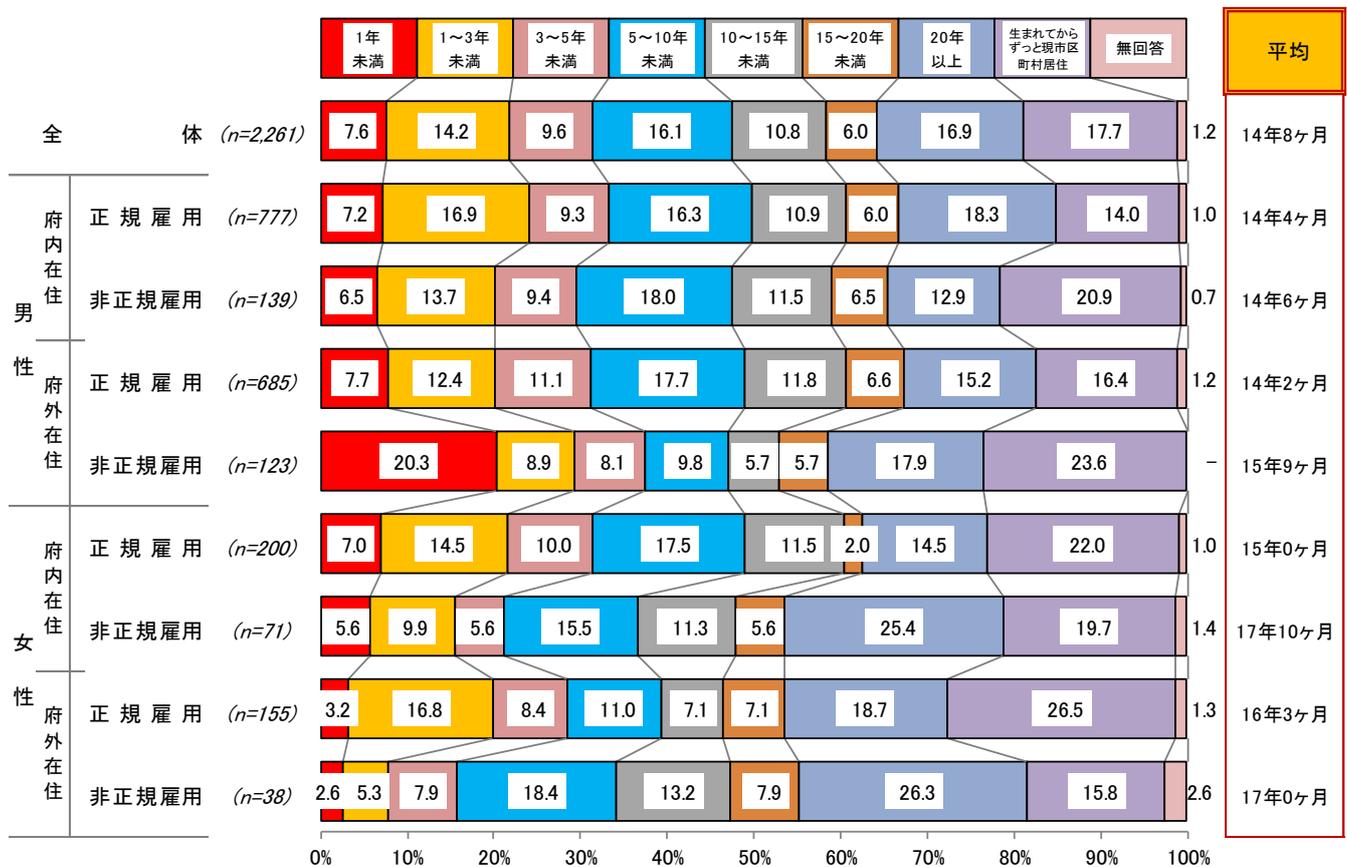
図表 1-2-2 居住年数（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-2-3）、府内在住の男性では「生まれてからずっと、現在の市区町村に住んでいる」者（正規 14.0%、非正規 20.9%）は正規雇用者より非正規雇用者に多いが、平均居住年数は正規雇用者 14 年 4 ヶ月、非正規雇用者 14 年 6 ヶ月と差は小さい。一方、府外在住の非正規雇用の男性では、居住年数「1 年未満」という者が 20.3%と目立って多いが、「生まれてからずっと、現在の市区町村に住んでいる」（23.6%）もしくは「20 年以上」（17.9%）という長期居住者が 4 割以上で、平均居住年数は 15 年 9 ヶ月と他の層よりも長い。

府内在住の女性では、「生まれてからずっと、現在の市区町村に住んでいる」（正規 22.0%、非正規 19.7%）という者は 2 割前後だが、「20 年以上」（同 14.5%、25.4%）という者は非正規雇用者に多く、平均居住年数は正規雇用者が 15 年 0 ヶ月、非正規雇用者は 17 年 10 ヶ月と、就労状況による差が大きい。

図表 1-2-3 居住年数（性・居住地・就労状況別）



(3) 以前の居住地

【現在住んでいる市区町村以外にお住まいの経験がある方にお聞きします。】

問3 あなたは、現在の市区町村にお住まいになる直前は、どちらにお住まいでしたか。

あてはまるものを1つお選びください。

図表 1-3-1

		京都府内										京都府外							(%)
		京 都 府 (計)	京 都 市	丹 後	中 丹	南 丹	乙 訓	学 研 都 市	相 楽 東 部	山 城 北	京 都 府 外 (計)	滋 賀 県 内 の 市 町 村	大 阪 府 内 の 市 区 町 村	兵 庫 県 内 の 市 区 町 村	奈 良 県 内 の 市 町 村	福 井 県 内 の 市 町 村	三 重 県 内 の 市 町 村	市 区 町 村 そ の 他 都 道 県 の 市 区 町 村	無 回 答
全	体 (n=1,834)	46.3	31.5	0.9	2.1	2.0	3.7	1.7	0.2	4.2	47.4	5.0	18.2	5.2	2.0	0.9	0.4	15.7	6.3
男 性	府内在住 (n=782)	49.9	31.7	1.3	3.1	3.3	3.8	2.0	0.5	4.1	41.8	3.7	13.0	2.7	1.3	1.7	0.3	19.2	8.3
	府外在住 (n=670)	41.9	29.6	0.7	1.5	1.2	3.9	1.2	-	3.9	53.0	5.5	24.3	7.5	1.9	0.3	0.6	12.8	5.1
女 性	府内在住 (n=213)	54.9	40.4	0.5	1.4	0.9	3.3	2.3	-	6.1	40.8	4.2	13.6	5.2	4.7	0.5	0.5	12.2	4.2
	府外在住 (n=143)	35.7	27.3	-	-	-	3.5	1.4	-	3.5	62.2	10.5	23.8	8.4	2.8	-	-	16.8	2.1

現在居住している市区町村以外からの転入経験がある者(1,834人)の転入元をみると(図表 1-3-1)、「京都市」が31.5%で最も多く、次いで「大阪府内の市区町村」(18.2%)、「兵庫県内の市区町村」(5.2%)、「滋賀県内の市町村」(5.0%)の順となっており、『京都府外』(47.4%)からの転入が5割近い。

性・居住地別にみると(図表 1-3-1)、男性では、「京都市」(府内31.7%、府外29.6%)が3割前後で最も多く、「大阪府内の市区町村」(同13.0%、24.3%)と「兵庫県内の市区町村」(同2.7%、7.5%)が府内在住者よりも府外在住者にやや多い。府外在住男性の4割強(41.9%)は、京都府からの転出である。

女性でも、「京都市」(同40.4%、27.3%)が最も多く、特に府内在住の女性は4割である。「大阪府内の市区町村」(同13.6%、23.8%)と「滋賀県内の市町村」(同4.2%、10.5%)は、府内在住者よりも府外在住者に多い。府外在住女性の3割以上(35.7%)は、京都府から転出している。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-3-2）、性・居住地にかかわらず、「京都市」からの転入が多数を占めるが、未婚者を既婚者が上回っている。特に、該当者数は少ないが府外在住の既婚女性は、6割近く（58.2%）が『京都府』から転出している。これに対して、『京都府外』からの現居住地への転入は、未婚者が既婚者を大きく上回る。

府内在住者の『京都府外』の転入元としては、いずれの層でも「大阪府内の市区町村」が最も多いが、特に未婚女性（17.7%）では2割近い。男女とも府内在住の未婚者は、過半数が『京都府外』（男性 53.2%、52.1%）から転入している。

表 1-3-2 以前の居住地域（性・居住地・婚姻状況別）

(%)

		京都府内										京都府外							無回答	
		京都市	京都市	丹後市	中丹	南丹	乙訓市	学研都市	相楽東部	山北	京都府外（計）	滋賀県内の市町村	大阪府内の市区町村	兵庫県内の市区町村	奈良県内の市町村	福井県内の市町村	三重県内の市町村	市区町村	その他都道府県の市区町村	無回答
全体	(n=1,834)	46.3	31.5	0.9	2.1	2.0	3.7	1.7	0.2	4.2	47.4	5.0	18.2	5.2	2.0	0.9	0.4	15.7	6.3	
男性	府内在住 未婚	(n=327)	37.9	25.4	1.5	1.5	1.8	3.1	0.9	0.9	2.8	53.2	4.0	14.4	3.4	1.8	2.1	0.6	26.9	8.9
	府内在住 既婚	(n=455)	58.5	36.3	1.1	4.2	4.4	4.4	2.9	0.2	5.1	33.6	3.5	12.1	2.2	0.9	1.3	-	13.6	7.9
女性	府外在住 未婚	(n=152)	31.6	19.7	0.7	2.6	0.7	3.3	1.3	-	3.3	62.5	5.3	28.3	9.2	1.3	1.3	1.3	15.8	5.9
	府外在住 既婚	(n=518)	45.0	32.4	0.8	1.2	1.4	4.1	1.2	-	4.1	50.2	5.6	23.2	6.9	2.1	-	0.4	12.0	4.8
女性	府内在住 未婚	(n=96)	42.7	31.3	1.0	2.1	-	1.0	3.1	-	4.2	52.1	3.1	17.7	9.4	4.2	1.0	1.0	15.6	5.2
	府内在住 既婚	(n=116)	65.5	48.3	-	0.9	1.7	5.2	1.7	-	7.8	31.0	5.2	10.3	1.7	4.3	-	-	9.5	3.4
女性	府外在住 未婚	(n=88)	21.6	13.6	-	-	-	2.3	1.1	-	4.5	77.3	11.4	26.1	10.2	4.5	-	-	25.0	1.1
	府外在住 既婚	(n=55)	58.2	49.1	-	-	-	5.5	1.8	-	1.8	38.2	9.1	20.0	5.5	-	-	-	3.6	3.6

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-3-3）、府内在住の子どものいる者は、『京都府外』（男性 30.8%、女性 29.2%）からの転入が 3 割程度で、『京都府内』での移動が多数を占めている。一方、子どものいない層では、半数近くが『京都府外』（未婚男性 53.8%、既婚男性 45.9%、未婚女性 53.9%）から転入している。

一方、府外在住の子どものいる男性は「京都市」からの転入が 27.7%で、4 割が『京都府』（40.5%）から転出している。

図表 1-3-3 以前の居住地域（性・居住地・子どもの有無別）

(%)

		京都府内										京都府外							無回答			
		京都市	京都市	丹後市	中丹	南丹	乙訓	学研都市	相楽東部	山城	京都府外（計）	滋賀県内の市町村	大阪府内の市区町村	兵庫県内の市区町村	奈良県内の市町村	福井県内の市町村	三重県内の市町村	市区町村	その他都道府県の			
全	体	(n=1,834)	46.3	31.5	0.9	2.1	2.0	3.7	1.7	0.2	4.2	47.4	5.0	18.2	5.2	2.0	0.9	0.4	15.7	6.3		
性	府内在住	子どもいない	未婚 (n=314)	36.9	23.9	1.6	1.6	1.9	3.2	1.0	1.0	2.9	53.8	3.8	15.0	2.9	1.6	2.2	0.6	27.7	9.2	
		既婚 (n=98)	51.0	25.5	1.0	5.1	6.1	6.1	1.0	-	6.1	45.9	7.1	15.3	2.0	1.0	-	-	19.4	3.1		
		子どもがいる (n=344)	59.9	38.1	1.2	4.1	4.1	4.1	3.5	0.3	4.7	30.8	2.6	11.6	2.3	0.9	1.5	-	-	11.9	9.3	
	府外在住	子どもいない	未婚 (n=144)	33.3	20.8	0.7	2.8	0.7	3.5	1.4	-	3.5	61.8	4.9	29.9	8.3	-	1.4	1.4	16.0	4.9	
		既婚 (n=115)	61.7	48.7	-	0.9	0.9	7.0	2.6	-	1.7	34.8	4.3	18.3	4.3	1.7	-	0.9	-	5.2	3.5	
		子どもがいる (n=393)	40.5	27.7	1.0	1.3	1.5	3.3	0.8	-	4.8	54.5	6.1	24.4	7.4	2.3	-	-	-	14.2	5.1	
女	府内在住	子どもいない	未婚 (n=89)	41.6	29.2	1.1	2.2	-	1.1	3.4	-	4.5	53.9	2.2	18.0	10.1	4.5	1.1	1.1	16.9	4.5	
		既婚 (n=41)	61.0	43.9	-	2.4	-	4.9	-	-	9.8	36.6	2.4	17.1	-	2.4	-	-	-	14.6	2.4	
		子どもがいる (n=72)	68.1	51.4	-	-	2.8	5.6	1.4	-	6.9	29.2	6.9	6.9	2.8	5.6	-	-	-	6.9	2.8	
	府外在住	子どもいない	未婚 (n=87)	21.8	13.8	-	-	-	2.3	1.1	-	4.6	77.0	10.3	26.4	10.3	4.6	-	-	-	25.3	1.1
		既婚 (n=28)	57.1	46.4	-	-	-	7.1	3.6	-	-	39.3	7.1	25.0	3.6	-	-	-	-	3.6	3.6	
		子どもがいる (n=26)	61.5	53.8	-	-	-	3.8	-	-	3.8	34.6	11.5	15.4	7.7	-	-	-	-	-	3.8	

性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-3-4）、府内在住の男性は、「京都市」（正規 30.9%、非正規 36.7%）が正規雇用者より非正規雇用者に多くなっている。これに対して、府内在住の女性では、「京都市」（同 42.9%、33.9%）という者は、非正規雇用者より正規雇用者に多くなっている。

府外在住の正規雇用者は、男女とも「京都市」（男性 27.4%、女性 25.0%）と「大阪府内の市区町村」（同 23.5%、24.1%）がそれぞれ 2 割台で、『京都府』からの転出は男性 40.0%、女性 32.1%となっている。

図表 1-3-4 以前の居住地域（性・居住地・就労状況別）

		京都府内										京都府外							(%)	
		京 都 府 （ 計 ）	京 都 市	丹 後	中 丹	南 丹	乙 訓	学 研 都 市	相 楽 東 部	山 城 北	京 都 府 外 （ 計 ）	滋 賀 県 内 の 市 町 村	大 阪 府 内 の 市 区 町 村	兵 庫 県 内 の 市 区 町 村	奈 良 県 内 の 市 町 村	福 井 県 内 の 市 町 村	三 重 県 内 の 市 町 村	市 区 町 村 其 他 都 道 県 の	無 回 答	
全	体	(n=1,834)	46.3	31.5	0.9	2.1	2.0	3.7	1.7	0.2	47.4	5.0	18.2	5.2	2.0	0.9	0.4	15.7	6.3	
男 性	府 内 在 住																			
	正 規 雇 用	(n=660)	49.4	30.9	1.4	3.5	3.3	3.8	2.0	0.5	42.3	3.9	13.5	2.7	1.2	0.9	0.3	19.7	8.3	
	非 正 規 雇 用	(n=109)	53.2	36.7	0.9	0.9	3.7	4.6	2.8	-	40.4	2.8	10.1	2.8	1.8	6.4	-	16.5	6.4	
	府 外 在 住																			
正 規 雇 用	(n=565)	40.0	27.4	0.9	1.8	1.4	3.5	1.4	-	3.5	54.9	5.7	23.5	8.1	2.1	0.4	0.5	14.5	5.1	
非 正 規 雇 用	(n=94)	52.1	41.5	-	-	-	5.3	-	-	5.3	43.6	4.3	29.8	4.3	1.1	-	-	4.3	4.3	
女 性	府 内 在 住																			
	正 規 雇 用	(n=154)	55.2	42.9	0.6	1.3	0.6	2.6	1.9	-	5.2	40.9	3.2	15.6	6.5	3.2	0.6	-	11.7	3.9
	非 正 規 雇 用	(n=56)	51.8	33.9	-	1.8	1.8	5.4	3.6	-	5.4	42.9	7.1	8.9	1.8	8.9	-	1.8	14.3	5.4
	府 外 在 住																			
正 規 雇 用	(n=112)	32.1	25.0	-	-	-	2.7	1.8	-	2.7	66.1	10.7	24.1	9.8	3.6	-	-	17.9	1.8	
非 正 規 雇 用	(n=31)	48.4	35.5	-	-	-	6.5	-	-	6.5	48.4	9.7	22.6	3.2	-	-	-	12.9	3.2	

(4) 現居住地への転入理由

【現在住んでいる市区町村以外にお住まいの経験がある方にお聞きします。】

問4 あなたが、現在お住まいの市区町村に住むようになったのは、なぜですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

図表 1-4-1

		(%)																		
		結 婚	就 職	住 宅 事 情	通 勤 通 学 の 便 利	転 入	家 族 の 移 動 に 伴 っ て	親 と 近 居 す る た め	入 学 ・ 進 学	転 入	親 と 同 居 す る た め	豊 か な 自 然 環 境	子 ど も の 学 習 環 境	離 婚	ど の 近 所 と の 間 の 付 き 合 い 係 な い	家 業 継 承	保 育 サ ー ビ ス の 利 用	健 康 上 の 理 由	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=1,834)	26.0	18.8	16.7	11.8	10.4	9.5	6.1	4.4	4.3	3.8	2.9	2.8	1.5	0.6	0.5	0.5	0.4	2.1	4.7
男	府内在住 (n=782)	22.3	26.0	13.3	12.4	12.4	5.8	4.6	4.9	4.9	2.9	1.9	1.0	1.3	0.8	0.3	0.5	0.1	1.5	5.6
	府外在住 (n=670)	31.5	10.9	21.6	10.3	11.6	7.9	8.2	3.0	3.9	3.9	4.2	4.5	1.0	0.6	0.7	0.7	0.6	2.4	4.8
女	府内在住 (n=213)	26.3	19.7	14.6	14.1	4.7	13.1	5.6	6.6	4.7	2.8	1.4	2.3	3.8	-	0.9	-	0.5	2.3	2.3
	府外在住 (n=143)	20.3	11.9	16.8	13.3	2.8	32.2	4.9	5.6	3.5	8.4	4.2	5.6	1.4	0.7	-	-	0.7	3.5	2.8

現在居住している市区町村以外からの転居経験がある者（1,834人）の、現在の市区町村への転入理由としては（図表 1-4-1）、「結婚」が26.0%で最も多くあげられ、次いで「就職」が18.8%、「住宅事情」が16.7%となっている。

性・居住地別にみると（図表 1-4-1）、「結婚」と「住宅事情」は府外在住の男性（結婚31.5%、住宅事情21.6%）で他の層より多くあげられ、府内在住の男性では「就職」が26.0%で転入理由の第1位となっている。

一方、府内在住の女性では、「結婚」（26.3%）、「就職」（19.7%）の順となっているが、府外在住の女性では「家族の移動に伴って」（32.2%）が3割を上回っている。

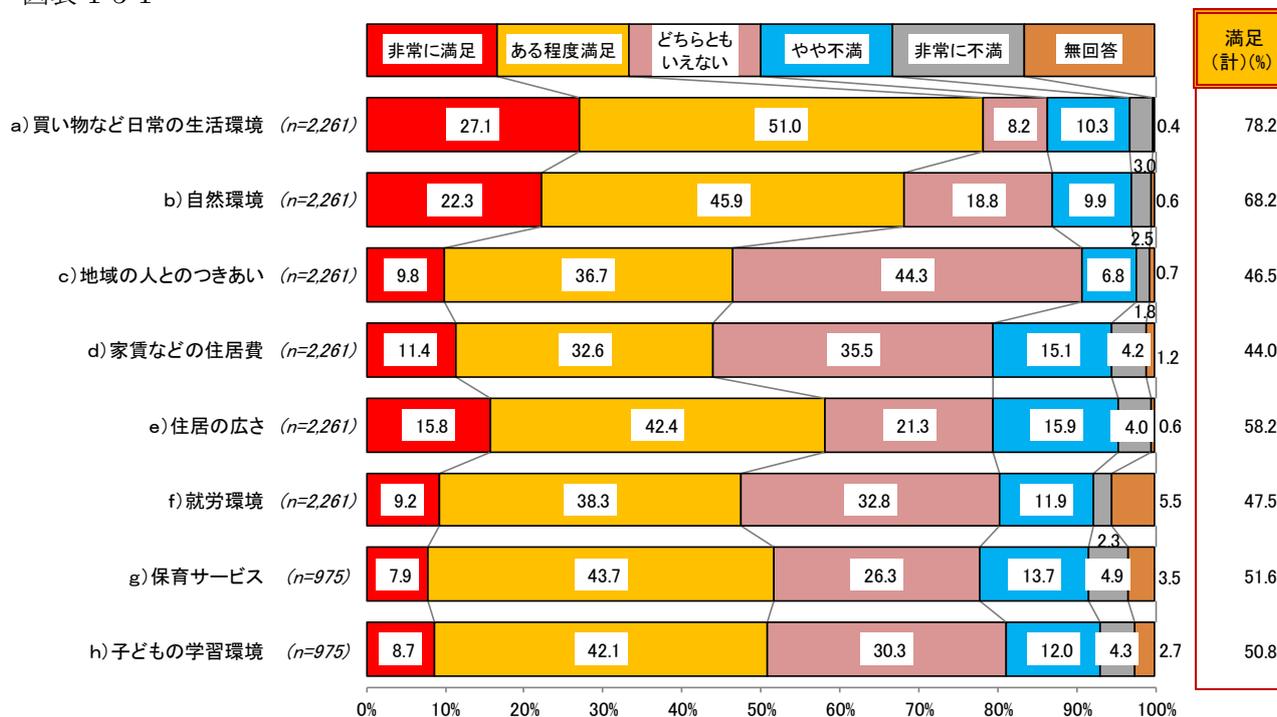
(5) 現居住地の満足度

【全員の方にお聞きします。】

問5 あなたがお住まいの市区町村について、どの程度満足していますか。

下記のa)～h)について、あてはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。

図表 1-5-1



* “g) 保育サービス”と“h) 子どもの学習環境”は、「子どものいる者」(975人)を回答者条件として再集計している。

現居住地について、“買い物など日常生活環境”“自然環境”“地域の人とのつきあい”“家賃などの住居費”“住居の広さ”“就労環境”“保育サービス”“子どもの学習環境”の8項目をあげ、それぞれの満足度を聞いた(図表 1-5-1)。

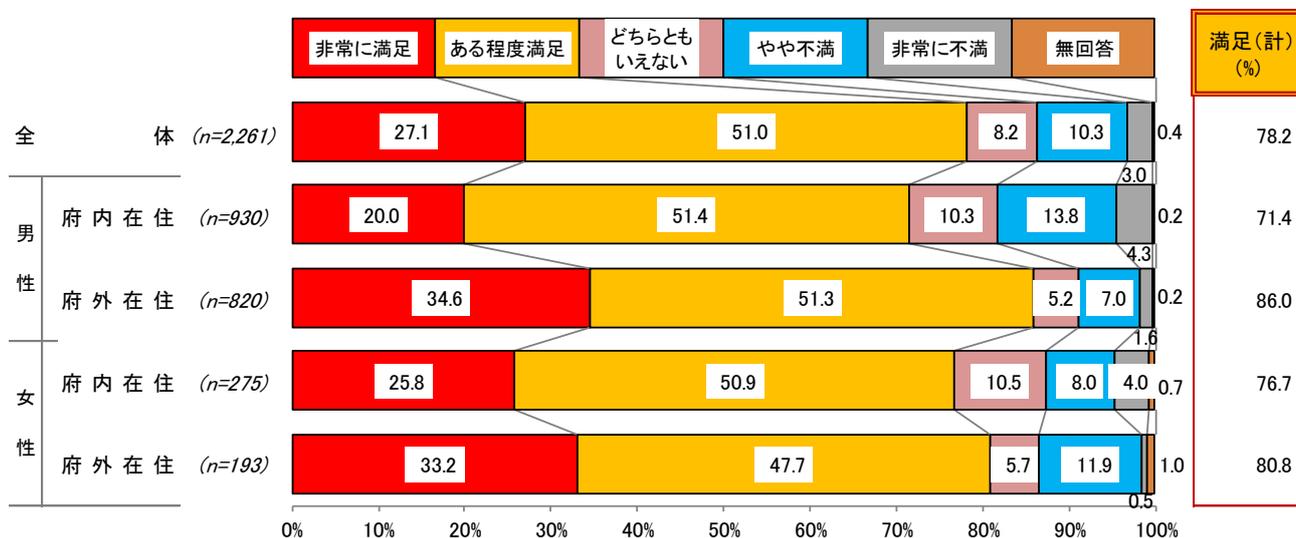
8項目のうち、満足度が最も高いのは“買い物など日常生活環境”で、「非常に満足」(27.1%)もしくは「ある程度満足」(51.0%)という回答を合わせると、4人に3人以上は『満足』(78.2%)と回答している。次いで“自然環境”の満足度が68.2%、“住居の広さ”の満足度が58.2%となっている。

一方で、“就労環境”(47.5%)、“地域の人とのつきあい”(46.5%)、“家賃などの住居費”(44.0%)などへの満足度は4割台である。

“買い物など日常の生活環境”に対する満足度を性・居住地別にみると（図表 1-5-2）、男性では、府内在住者（71.4%）より府外在住者（86.0%）の満足度の方が高くなっている。女性は、居住地による大きな差はみられない。

また、男女別に満足度をみると、府内在住者（男性 71.4%、女性 76.7%）では男性より女性の満足度が高く、府外在住者（同 86.0%、80.8%）では男性の満足度が高い。

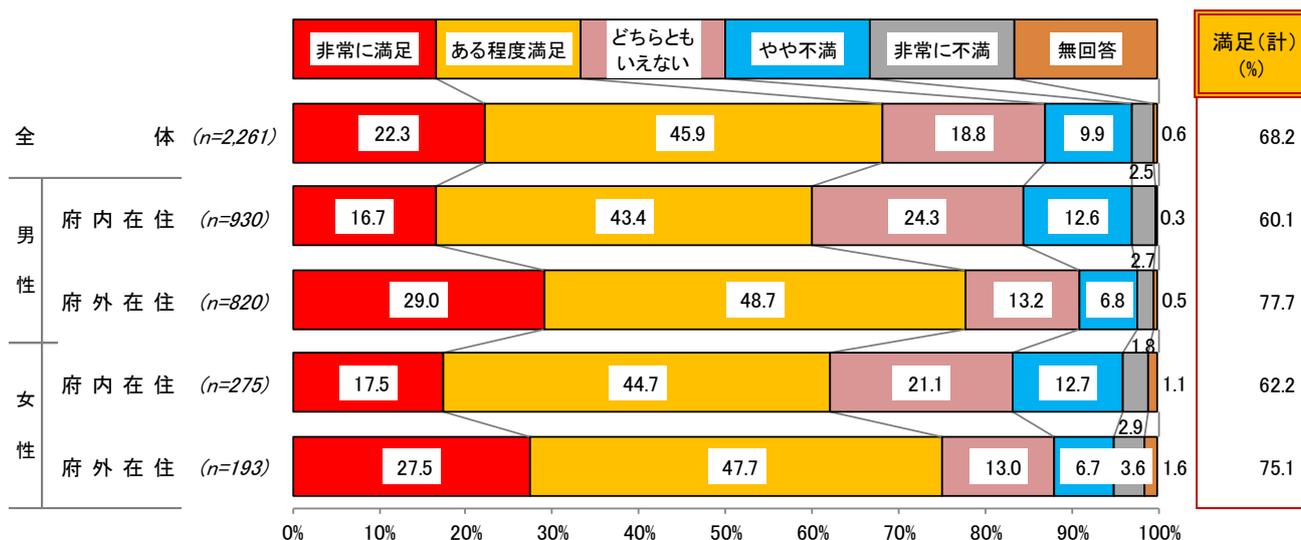
図表 1-5-2 現居住地の満足度：“買い物など日常の生活環境”（性・居住地別）



“自然環境”に対する満足度を性・居住地別にみると（図表 1-5-3）、男女とも府内在住者（男性 60.1%、女性 62.2%）よりも府外在住者（同 77.7%、75.1%）の方が満足度は高い。

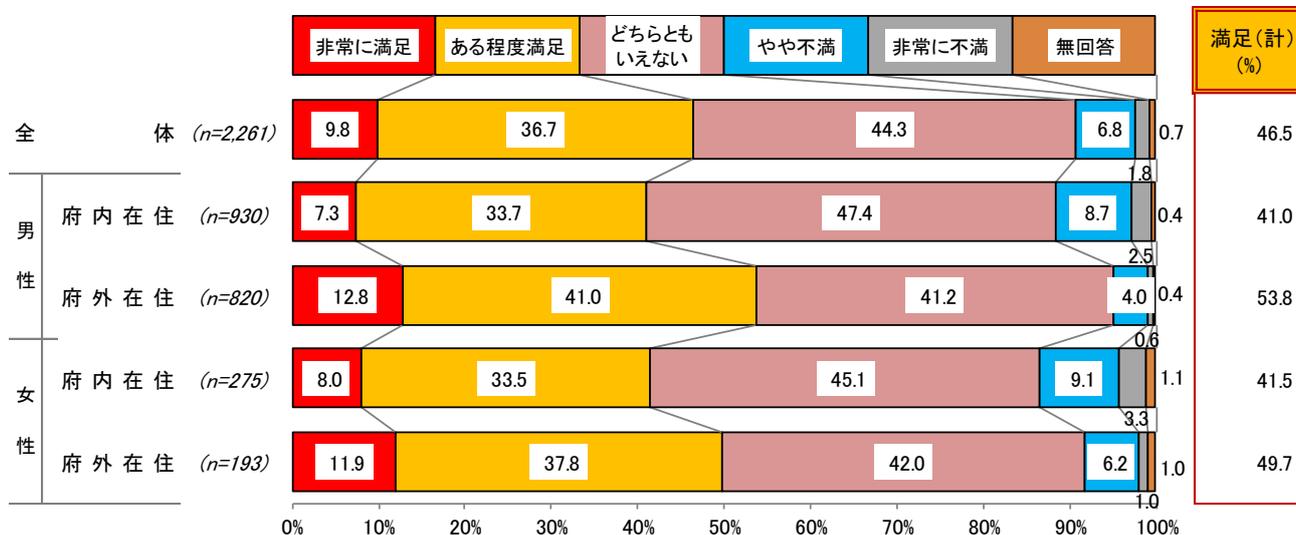
居住地による男女差はみられない。

図表 1-5-3 現居住地の満足度：“自然環境”（性・居住地別）



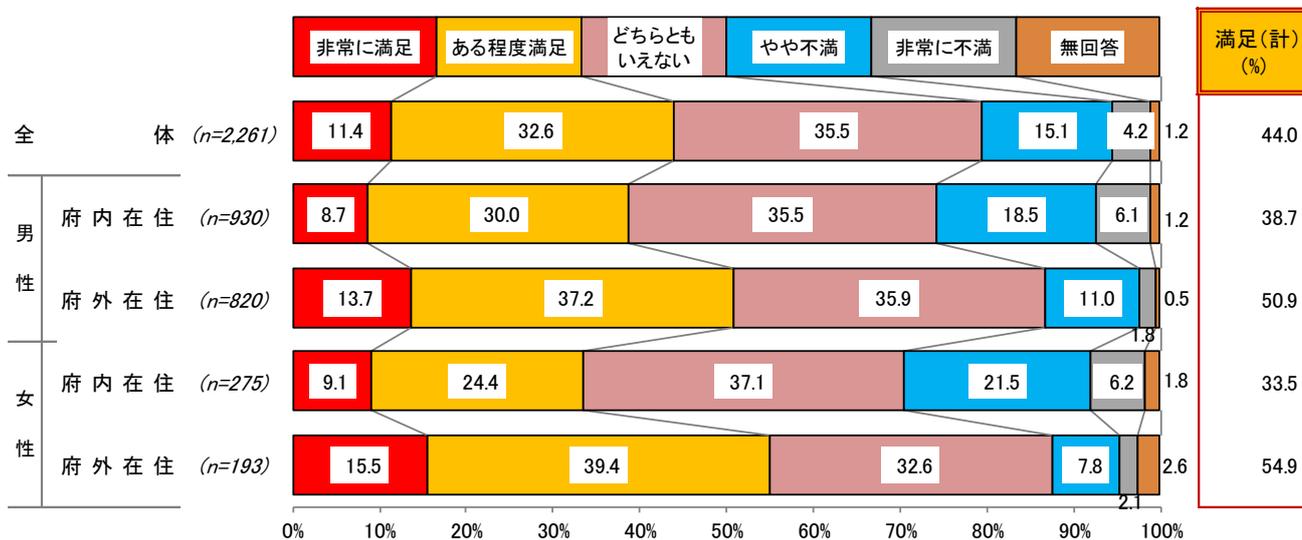
“地域の人とのつきあい”に対する満足度を性・居住地別にみると（図表 1-5-4）、男女とも府内在住者（男性 41.0%、女性 41.5%）よりも府外在住者（同 53.8%、49.7%）の方が満足度は高い。居住地による男女差はみられない。

図表 1-5-4 現居住地の満足度：“地域の人とのつきあい”（性・居住地別）



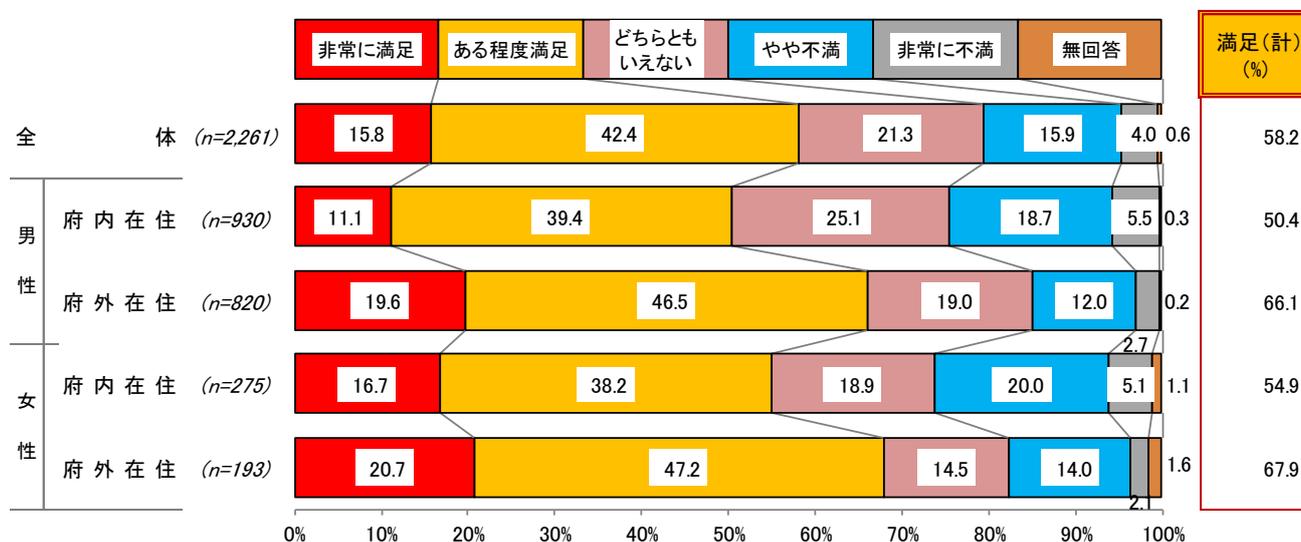
“家賃などの住居費”に対する満足度を性・居住地別にみると（図表 1-5-5）、男女とも府内在住者（男性 38.7%、女性 33.5%）よりも府外在住者（同 50.9%、54.9%）の方が満足度は高い。居住地による、大きな男女差はみられない。

図表 1-5-5 現居住地の満足度：“家賃などの住居費”（性・居住地別）



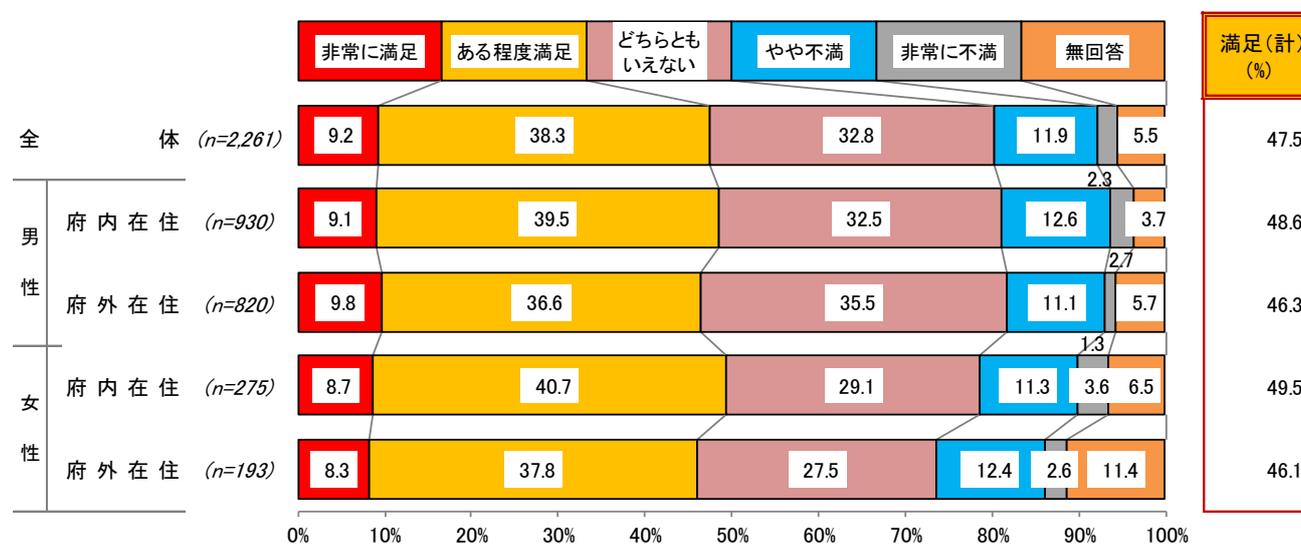
“住居の広さ”に対する満足度を性・居住地別にみると（図表 1-5-6）、男女とも府内在住者（男性 50.4%、女性 54.9%）よりも府外在住者（同 66.1%、67.9%）の方が満足度は高い。居住地による、大きな男女差はみられない。

図表 1-5-6 現居住地の満足度：“住居の広さ”（性・居住地別）



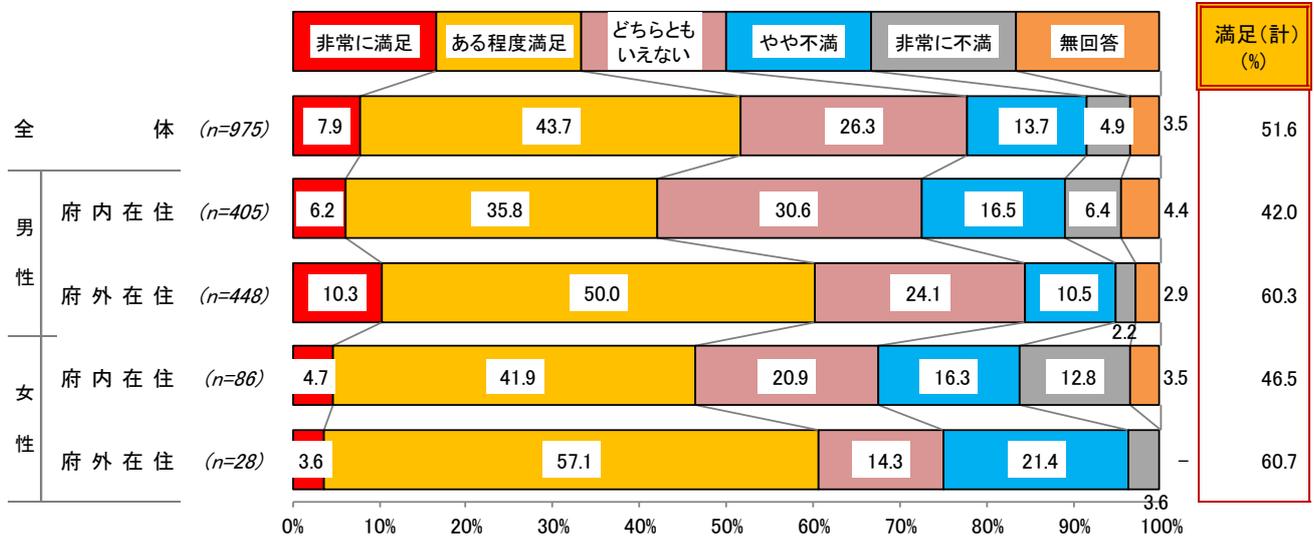
“就労環境”に対する満足度には、性・居住地別の差はみられない（図表 1-5-7）。

図表 1-5-7 現居住地の満足度：“就労環境”（性・居住地別）



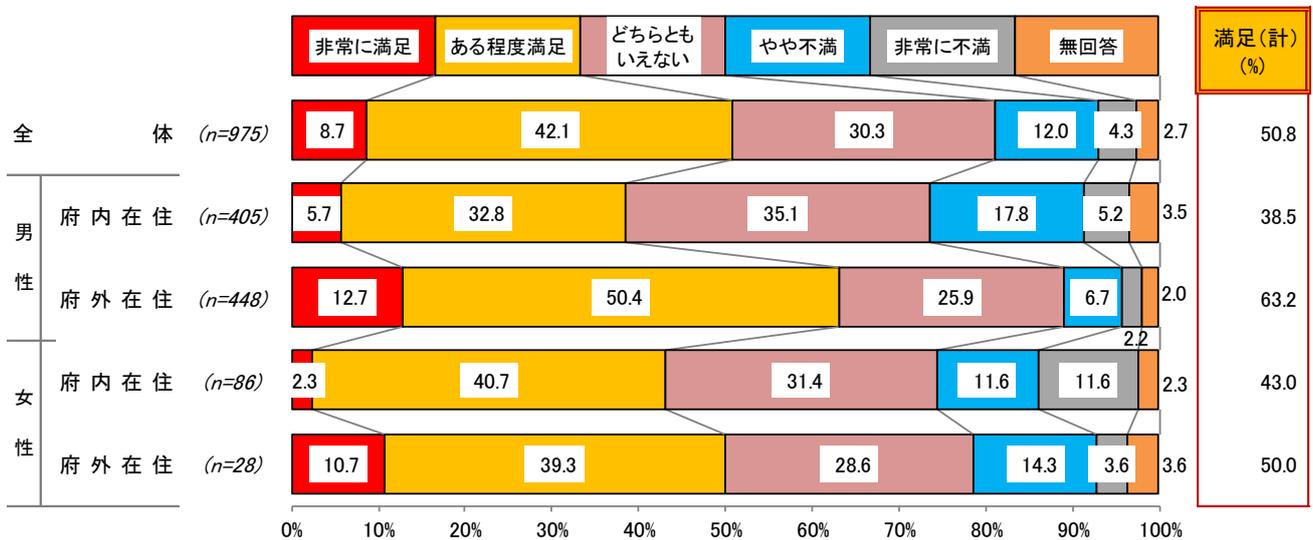
子どもがいる人（975人）の“保育サービス”に対する満足度を性・居住地別にみると（図表 1-5-8）、男性は、府内在住者（42.0%）よりも府外在住者（60.3%）の満足度の方が高くなっている。府内在住者に、大きな男女差はみられない。

図表 1-5-8 現居住地の満足度：“保育サービス”（性・居住地別）



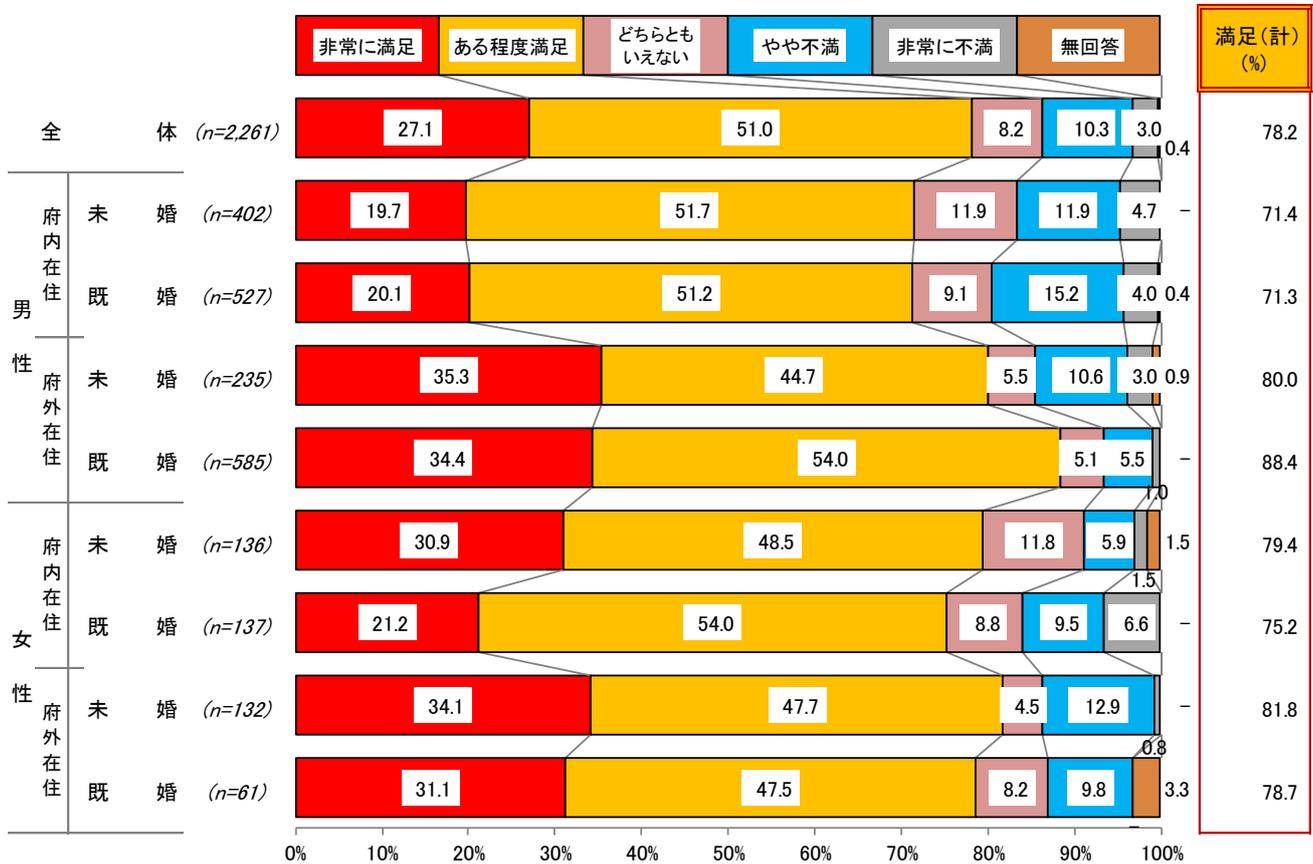
子どもがいる人（975人）の“子どもの学習環境”に対する満足度を性・居住地別にみると（図表 1-5-9）、男性は、府内在住者（38.5%）よりも府外在住者（63.2%）の方が満足度は高い。府内在住者に、大きな男女差はみられない。

図表 1-5-9 現居住地の満足度：“子どもの学習環境”（性・居住地別）



“買い物など日常の生活環境”に対する満足度を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-5-10）、男性の満足度は、府内在住者（未婚 71.4%、既婚 71.3%）では婚姻状況による差はみられないが、府外在住者（同 80.0%、88.4%）では既婚者の満足度の方が高くなっている。女性は、居住地と婚姻状況による大きな差はみられない。

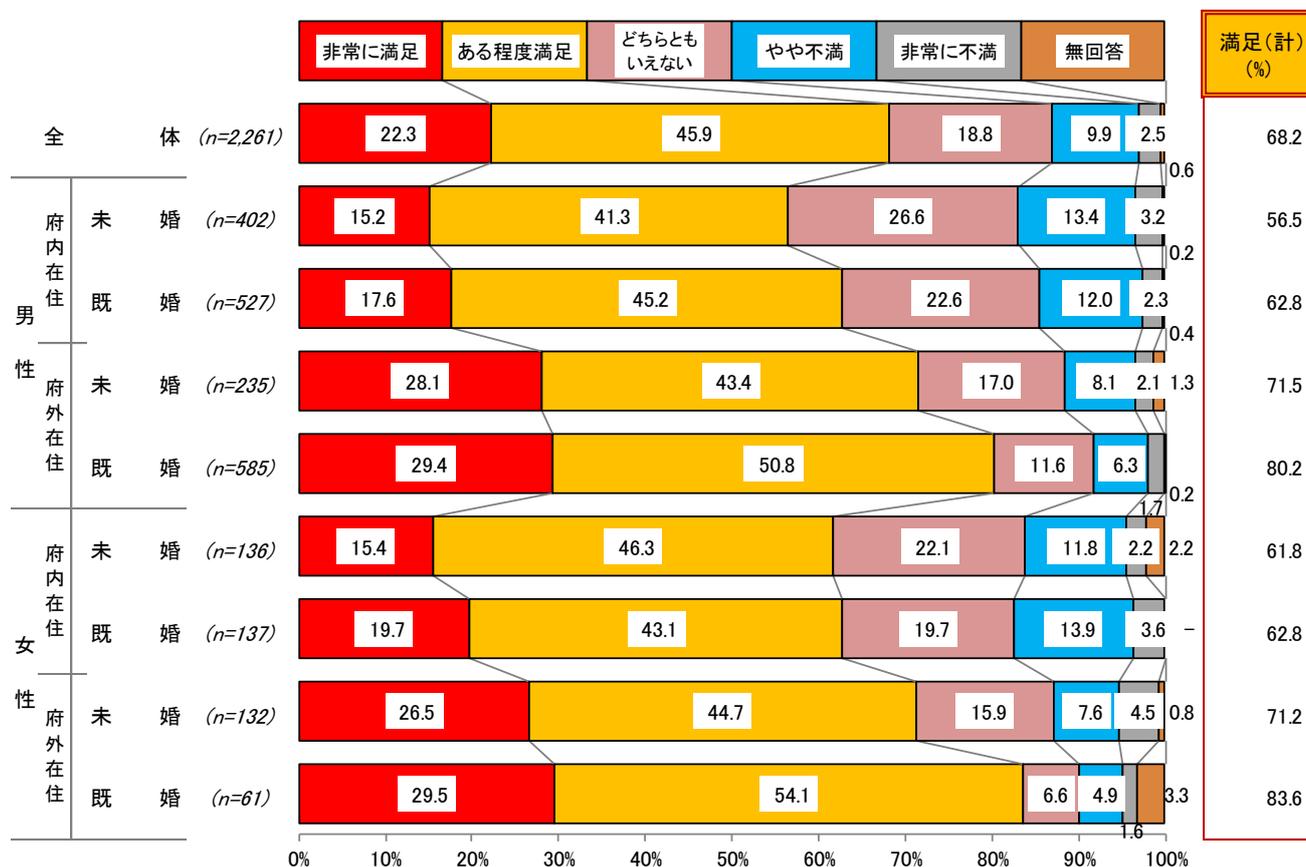
図表 1-5-10 現居住地の満足度：“買い物など日常の生活環境”（性・居住地・婚姻状況別）



“自然環境”に対する満足度を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-5-11）、府内在住の男性（未婚 56.5%、既婚 62.8%）では未婚者より既婚者の満足度がやや高いが、女性（同 61.8%、62.8%）では婚姻状況による差はみられない。

一方、府外在住者では、男女とも未婚者（男性 71.5%、女性 71.2%）よりも既婚者（同 80.2%、83.6%）の方が高い。

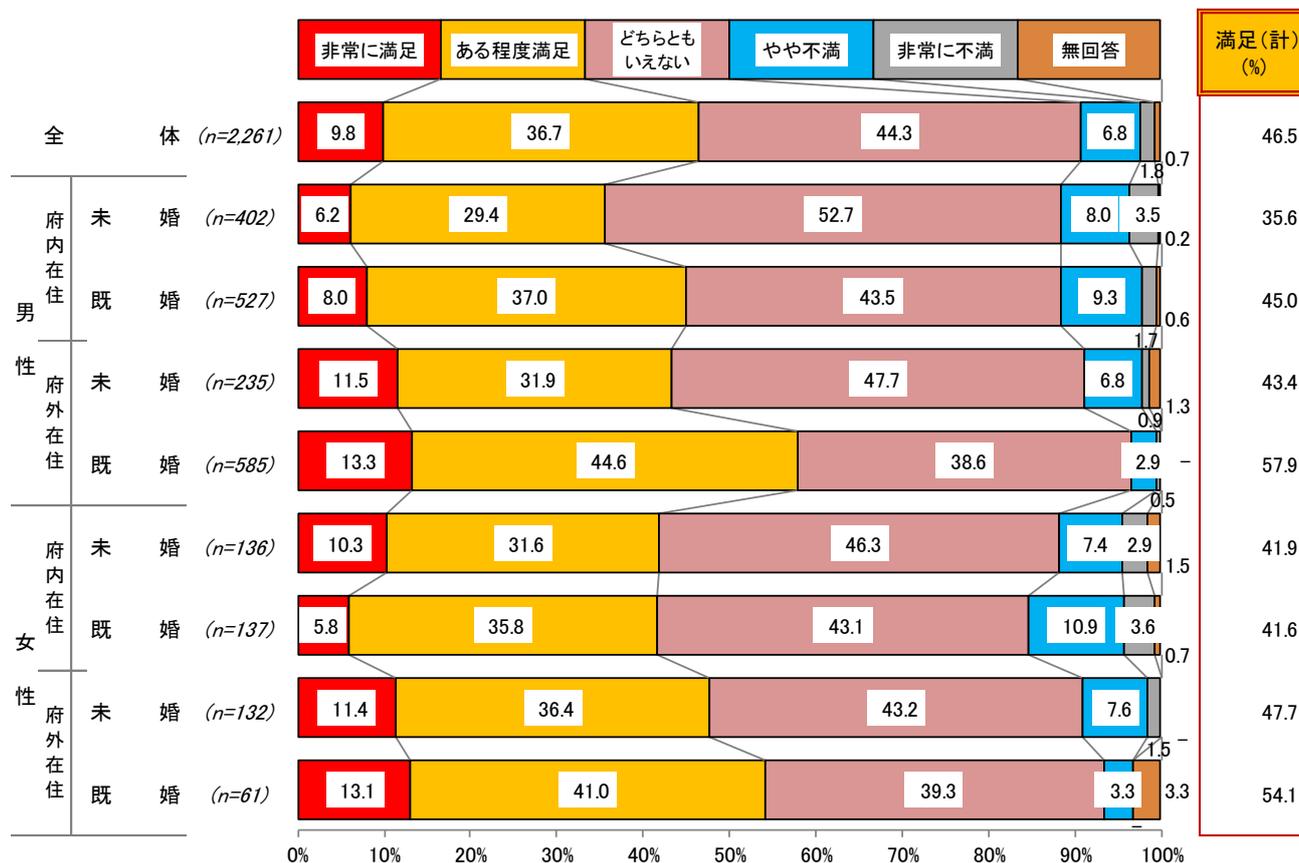
図表 1-5-11 現居住地の満足度：“自然環境”（性・居住地・婚姻状況別）



“地域の人とのつきあい”に対する満足度を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-5-12）、男性では、居住地にかかわらず未婚者（府内 35.6%、府外 43.4%）よりも、既婚者（同 45.0%、57.9%）の方が満足度は高い。

女性では、府内在住者（未婚 41.9%、既婚 41.6%）には婚姻状況による差はみられないが、府外在住者（同 47.7%、54.1%）では既婚者の満足度が未婚者をやや上回っている。

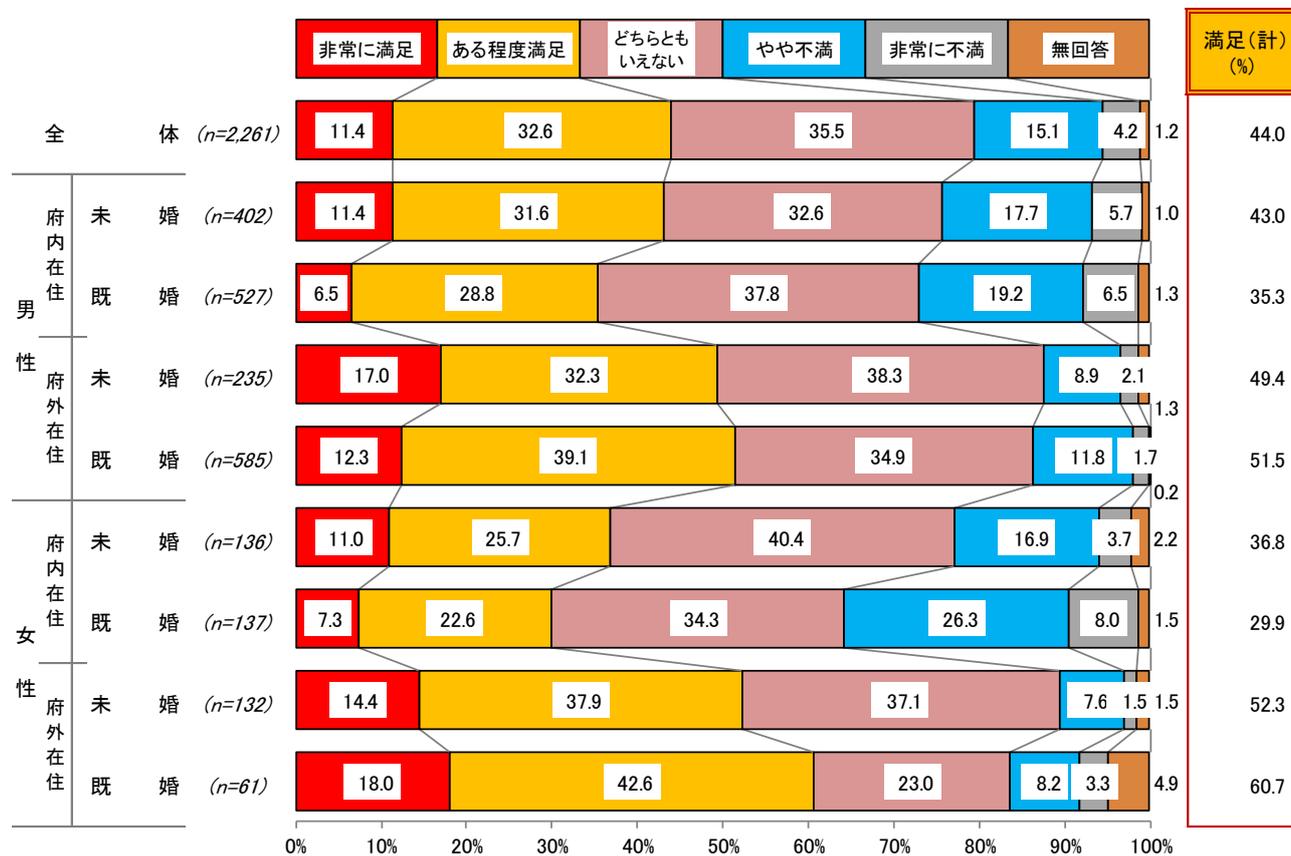
図表 1-5-12 現居住地の満足度：“地域の人とのつきあい”（性・居住地・婚姻状況別）



“家賃などの住居費”に対する満足度を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-5-13）、府内在住者では、男女ともに既婚者（男性 35.3%、女性 29.9%）よりも、未婚者（同 43.0%、36.8%）の方が満足度は高い。

一方、府外在住者では、男性（未婚 49.4%、既婚 51.5%）には婚姻状況による差はみられないが、女性（同 52.3%、60.7%）では既婚者の満足度が未婚者をやや上回っている。

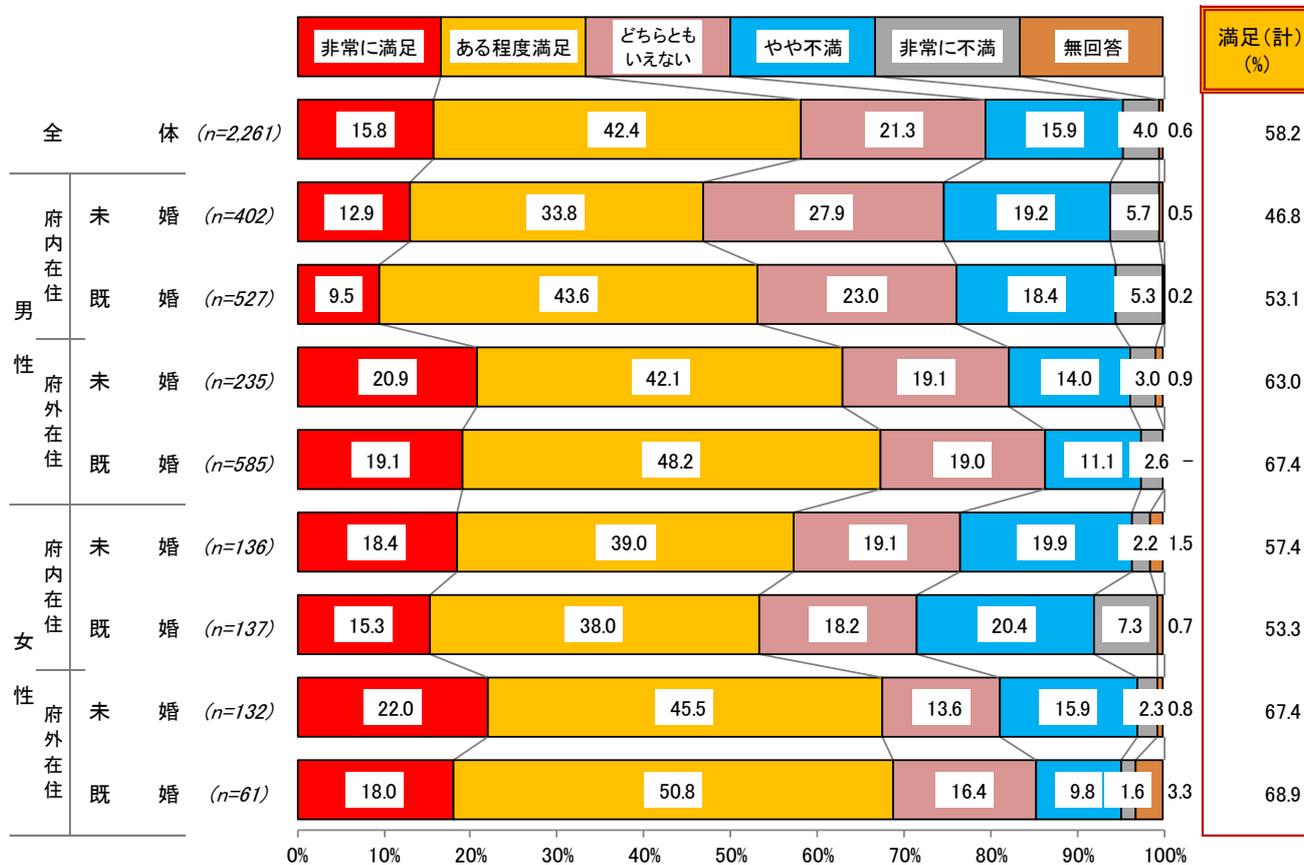
図表 1-5-13 現居住地の満足度：“家賃などの住居費”（性・居住地・婚姻状況別）



“住居の広さ”に対する満足度を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-5-14）、府内在住の男性（未婚 46.8%、既婚 53.1%）では、既婚者の満足度が未婚者をやや上回っているが、女性（同 57.4%、53.3%）には大きな差はみられない。

府外在住者では、男女とも婚姻状況による大きな差はみられない。

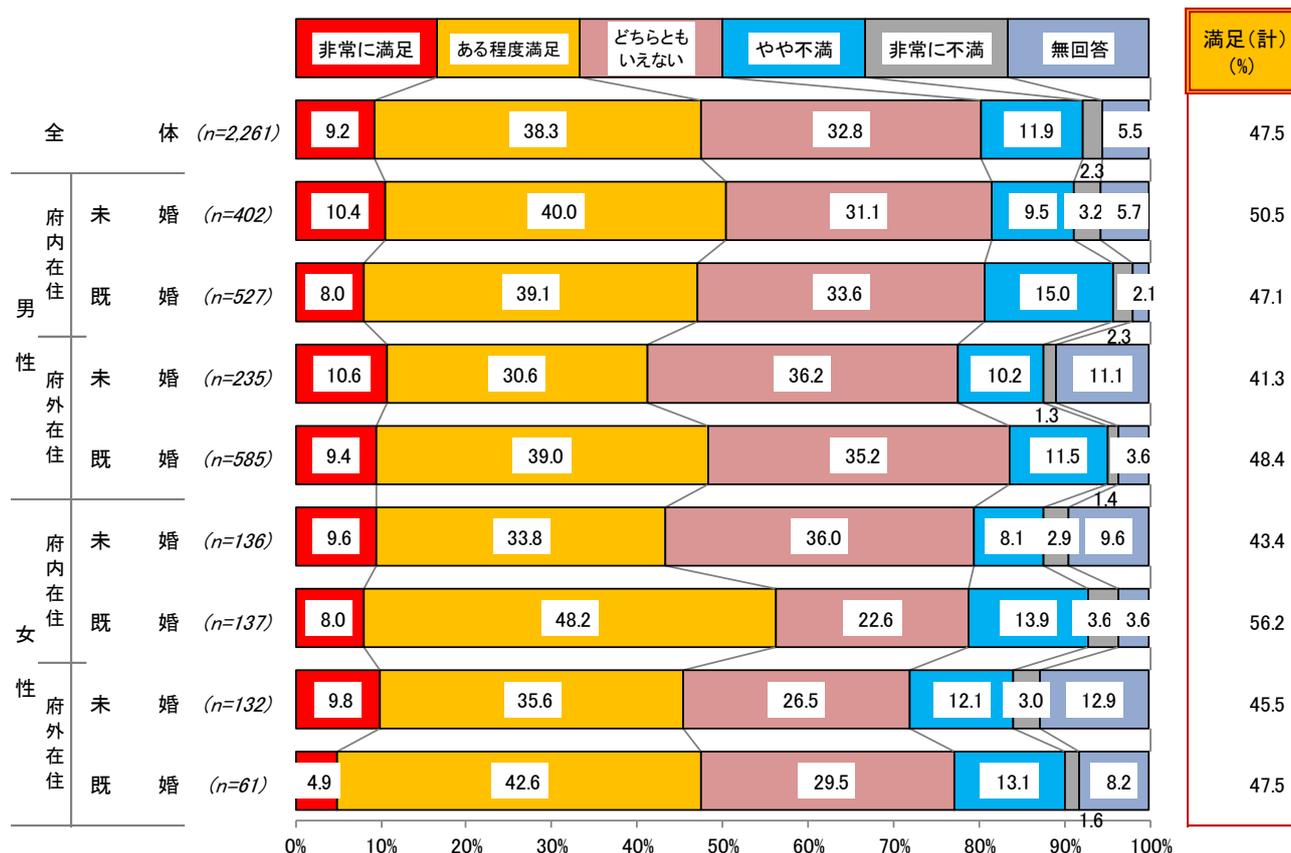
図表 1-5-14 現居住地の満足度：“住居の広さ”（性・居住地・婚姻状況別）



“就労環境”に対する満足度を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-5-15）、府内在住者では、男性（未婚 50.5%、既婚 47.1%）には婚姻状況による大きな差はみられないが、女性（同 43.4%、56.2%）は、未婚者よりも既婚者の満足度の方が高い。

一方、府外在住者では、男性（同 41.3%、48.4%）は未婚者より既婚者の方が満足度が高いが、女性（同 45.5%、47.5%）に大きな差はみられない。

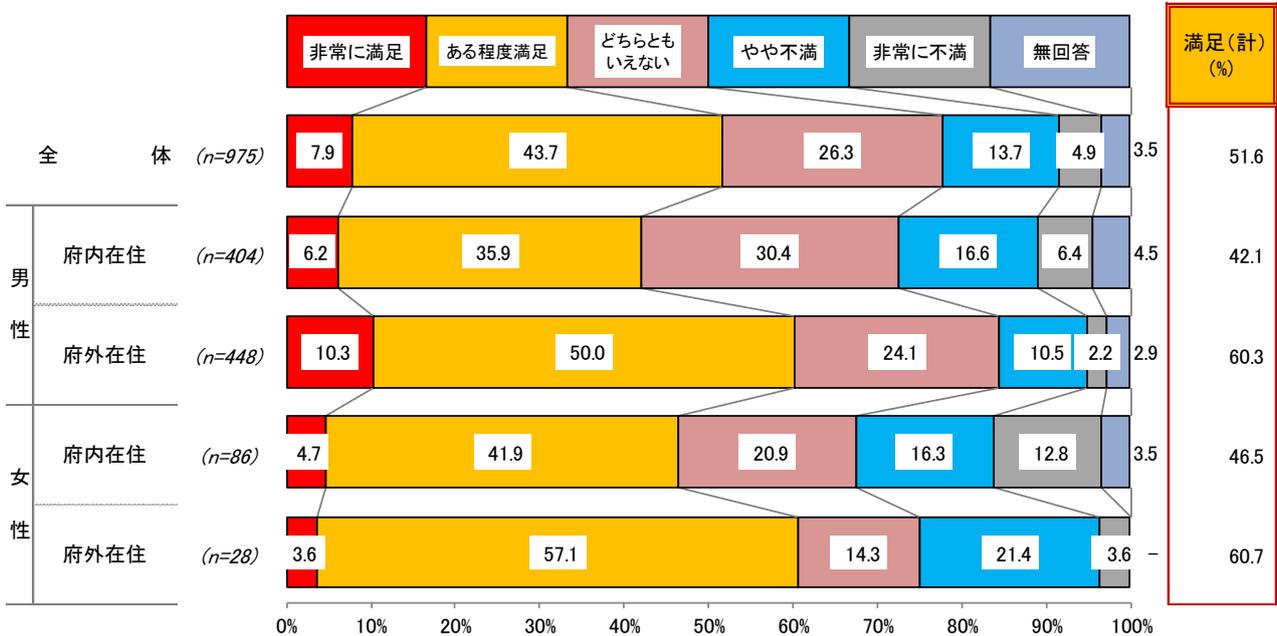
図表 1-5-15 現居住地の満足度：“就労環境”（性・居住地・婚姻状況別）



子どものいる者(975人)の“保育サービス”に対する満足度を性・居住地別にみると(図表 1-5-16)、男性(府内 42.1%、府外 60.3%)では、府外在住者の満足度が、府内在住者を 18 ポイント上回っている。

府内在住者の満足度に、大きな男女差はみられない。

図表 1-5-16 現居住地の満足度：“保育サービス”(性・居住地別：既婚者のみ)

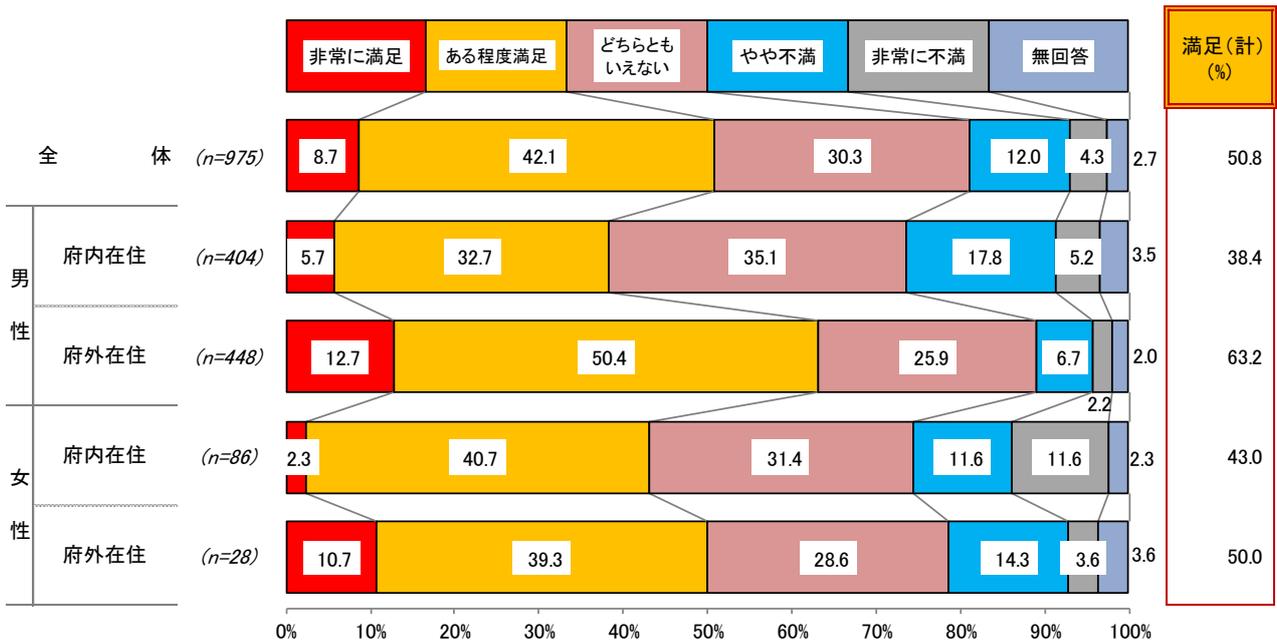


*子どものいる未婚者は、男性 1 名のため、未婚者のデータは図表から割愛している。

“子どもの学習環境”に対する満足度は(図表 1-5-17)、男性では“保育サービス”に対する満足度以上に居住地(府内 38.4%、府外 63.2%)による差が大きく、府外在住の男性が府内在住者を 25 ポイント上回っている。

府内在住者を男女別にみると、女性(43.0%)の満足度が男性(38.4%)よりやや高くなっている。

図表 1-5-17 現居住地の満足度：“子どもの学習環境”(性・居住地別：既婚者のみ)

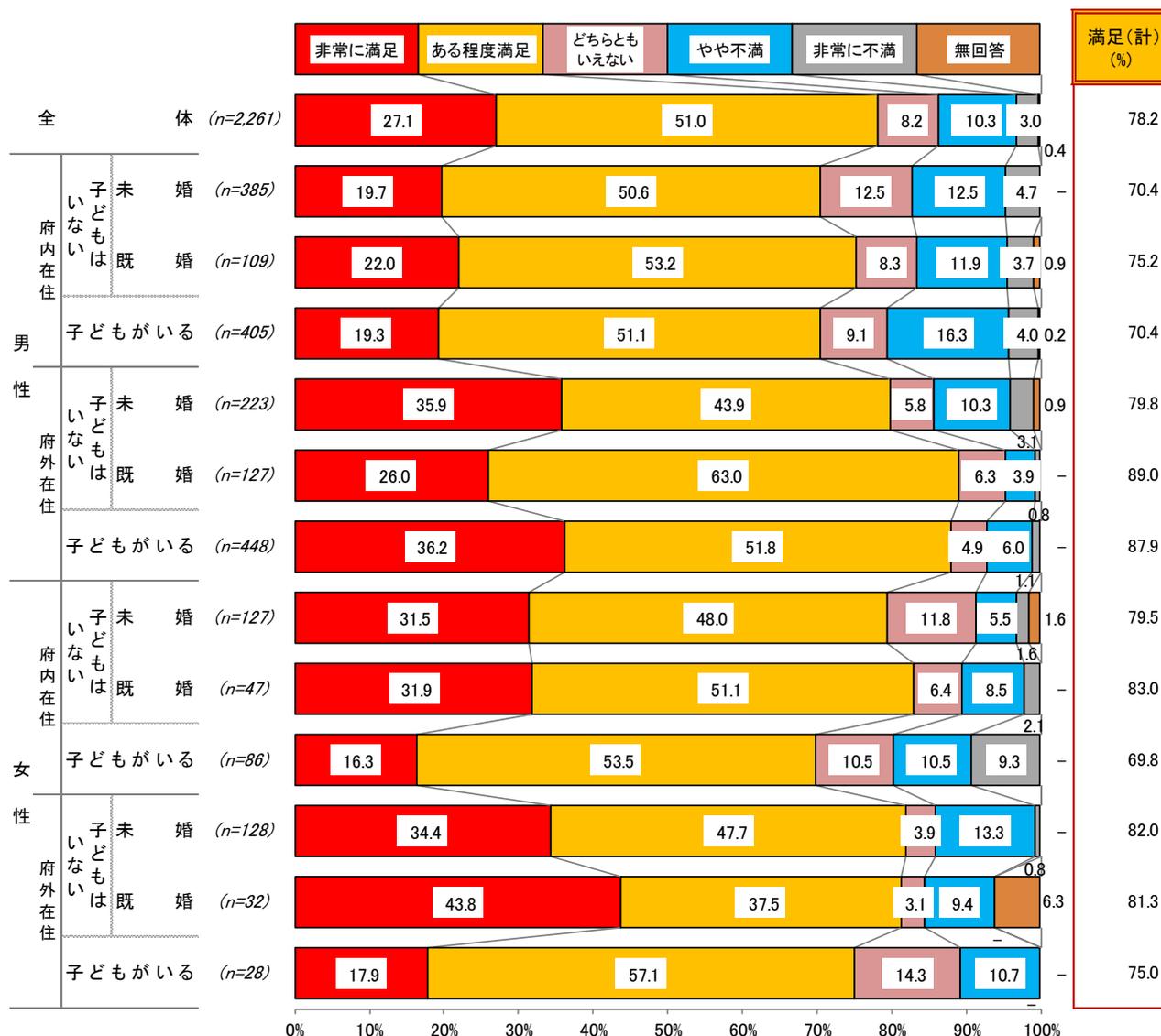


*子どものいる未婚者は、男性 1 名のため、未婚者のデータは図表から割愛している。

“買い物など日常の生活環境”に対する満足度を性・居住地・子どもの有無別にみると(図表 1-5-18)、府内在住の男性では、子どもがいない既婚者の満足度が75.2%で、子どものいない未婚者(70.4%)や子どものいる者(70.4%)より、やや高くなっている。一方、府外在住の男性の満足度は、子どものいない既婚者が89.0%、子どもがいる者が87.9%で、子どものいない未婚者(79.8%)を上回り、子どもの有無より婚姻状況による差が大きい。

一方、府内在住の女性では、子どもがいる女性の満足度が69.8%と、やや低い。子どものいない未婚女性(府内79.5%、府外82.0%)には、居住地による大きな差はみられない。

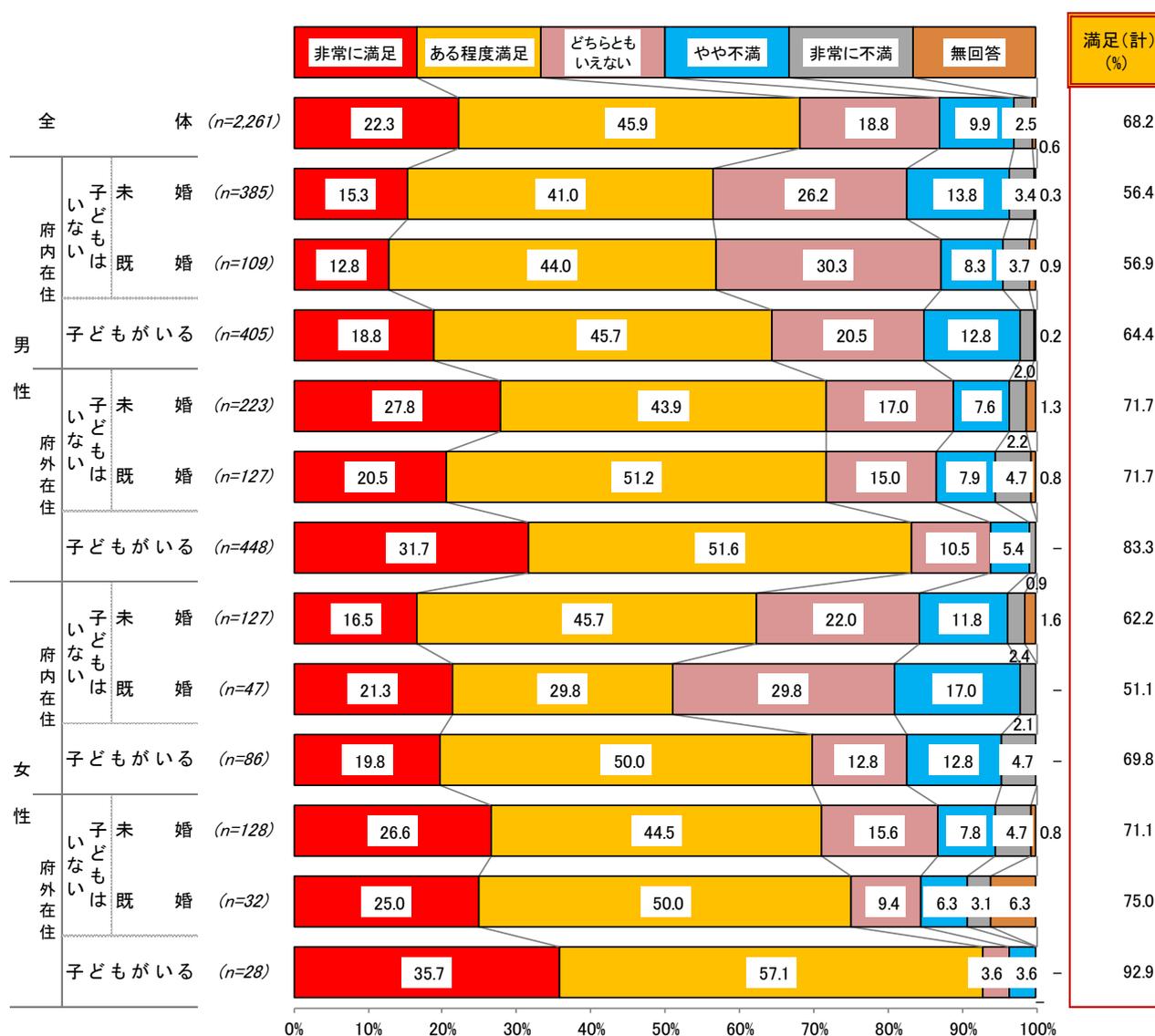
図表 1-5-18 現居住地の満足度：“買い物など日常の生活環境”（性・居住地・子どもの有無別）



“自然環境”に対する満足度を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-5-19）、府内在住の子どもがいる男性の満足度は64.4%で、子どもがいない層（未婚56.4%、既婚56.9%）よりやや高い。府内在住で子どもがいる女性の満足度は69.8%である。一方、府外在住の子どもがいる男性では、満足度が83.3%と、府内在住の子どもがいる男性より高く、子どものいない者（未既婚ともに71.7%）を12ポイント上回っている。

女性の府内在住者では、子どものいない未婚者（62.2%）より子どもがいる者（69.8%）の満足度の方が高い。また、府外在住の未婚者（71.1%）の満足度は、府内在住者（62.2%）より高くなっている。

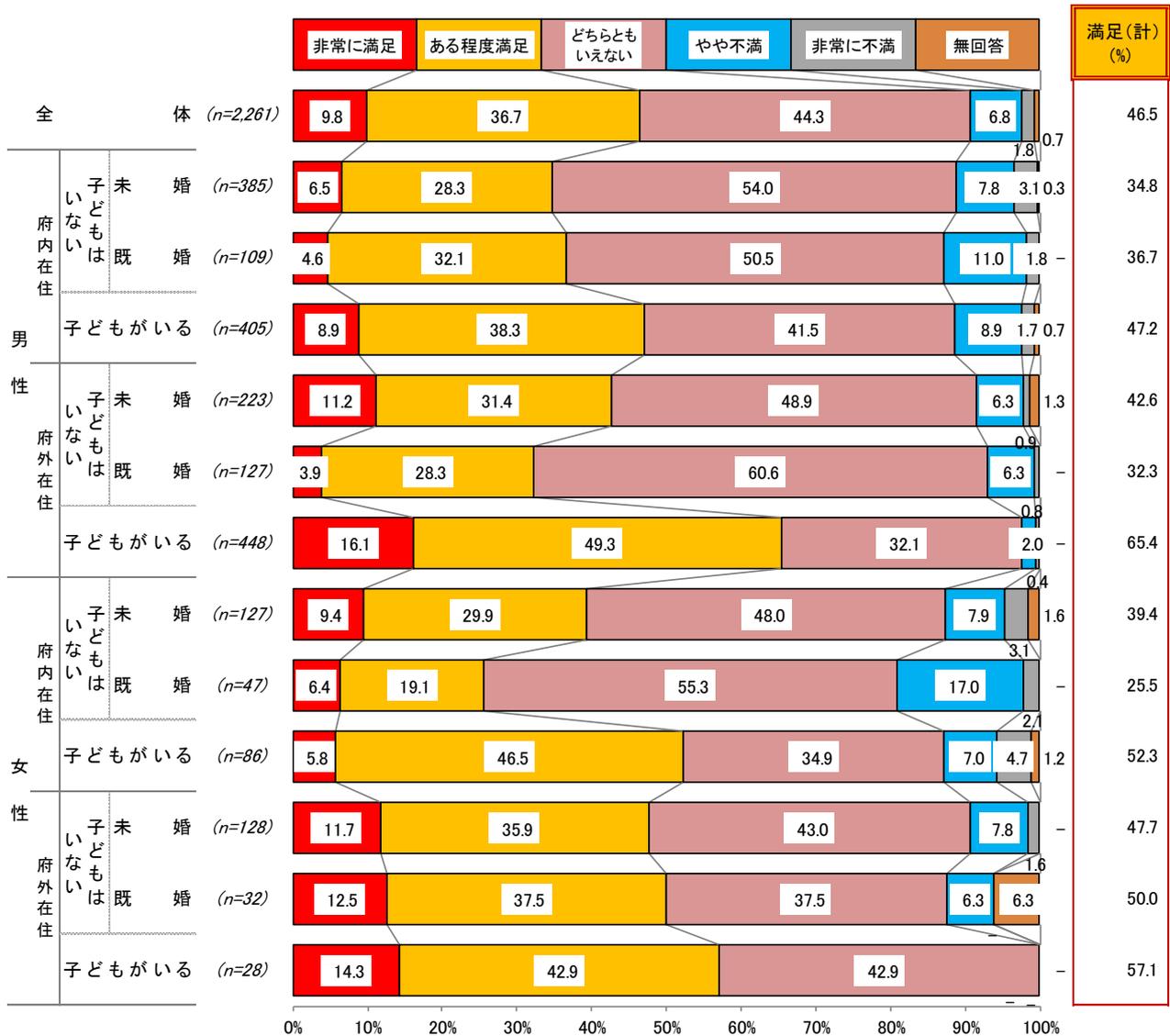
図表 1-5-19 現居住地の満足度：“自然環境”（性・居住地・子どもの有無別）



“地域の人とのつきあい”に対する満足度を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-5-20）、居住地にかかわらず子どものいる者の方が、子どものいない者より満足度が高い。特に、子どもがいる男性では 65.4%である。

一方、女性の府内在住者では、子どものいない未婚者（39.4%）より子どもがいる者（52.3%）の満足度の方が高い。また、府外在住の未婚者（47.7%）の満足度は、府内在住者（39.4%）より高くなっている。

図表 1-5-20 現居住地の満足度：“地域の人とのつきあい”（性・居住地・子どもの有無別）

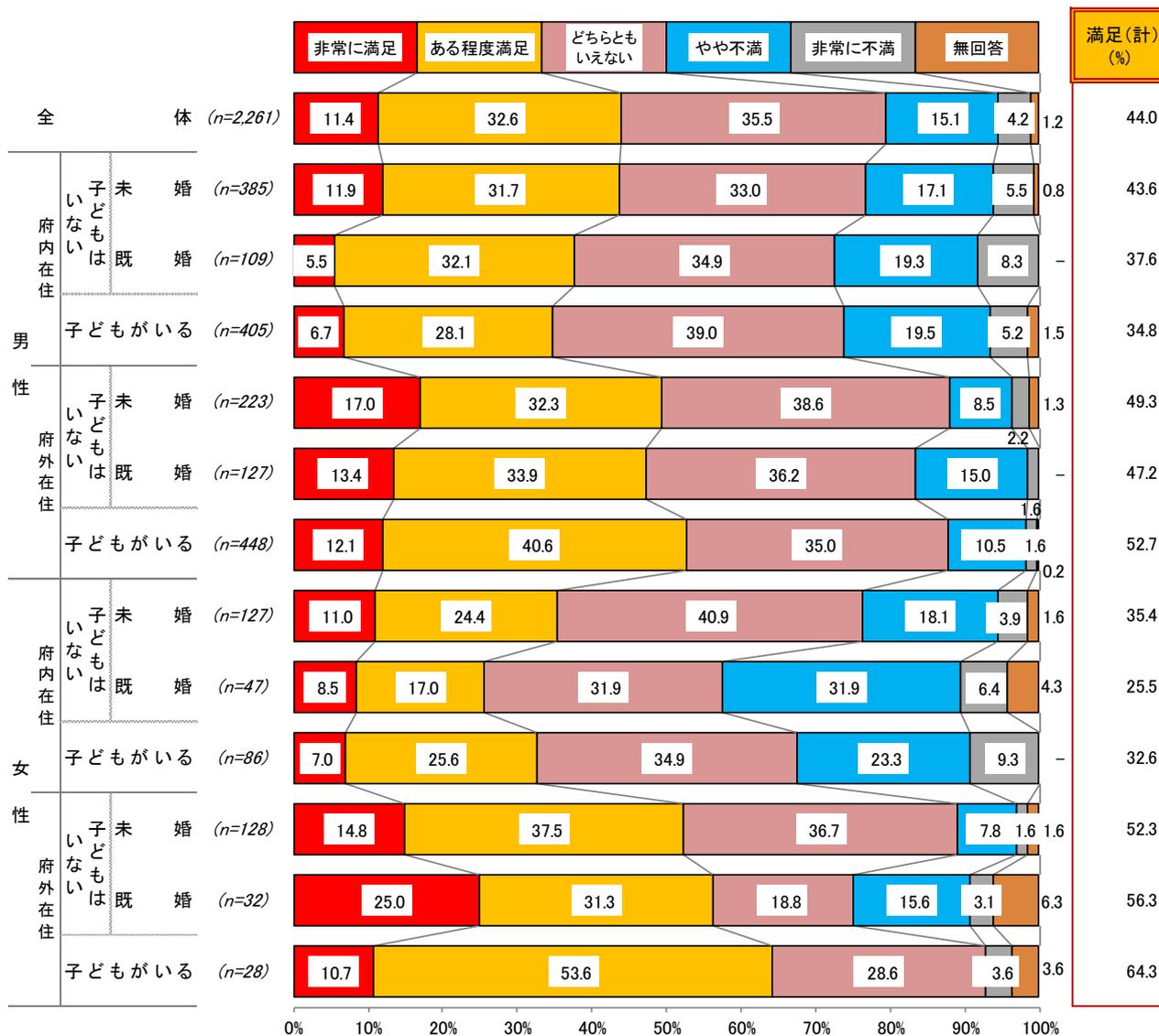


“家賃などの住居費”に対する満足度を、性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-5-21）、男性で子どものいない未婚者（府内 43.6%、府外 49.3%）に居住地による大きな差はみられないが、子どものいない既婚者（同 37.6%、47.2%）と子どもがいる者（同 34.8%、52.8%）では府外在住者の満足度の方が高く、特に子どものいる者での差が大きい。

一方、女性では、府内在住者は子どものいない未婚者（35.4%）と子どもがいる者（32.6%）の満足度がともに 3 割台だが、府外在住の子どものいない未婚者（52.3%）の満足度は 5 割を上回っている。

居住地で男女別にみると、府外在住者に大きな男女差はみられないが、府内在住者では女性より男性の満足度の方が高くなっている。

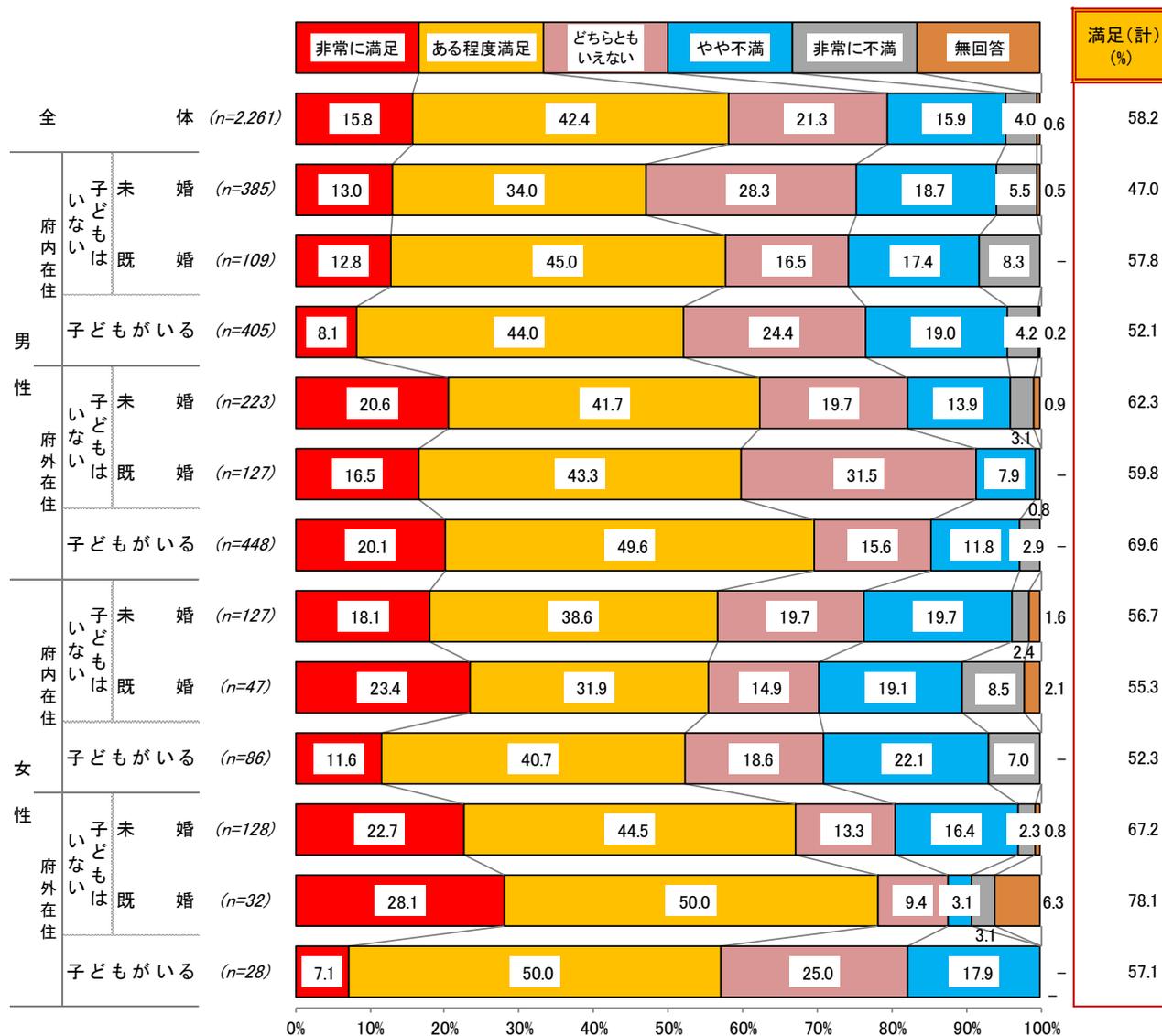
図表 1-5-21 現居住地の満足度：“家賃などの住居費”（性・居住地・子どもの有無別）



“住居の広さ”に対する満足度を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-5-22）、男性では子どものいない既婚者（府内 57.8%、府外 59.8%）には居住地による差はみられないが、子どものいない未婚者（同 47.0%、62.3%）と子どものいる者（同 52.1%、69.6%）では、府内在住者より府外在住者の満足度の方が高い。

一方、女性でも、府外在住の子どものいない未婚者（67.2%）の満足度の方が、府内在住者（56.7%）より高くなっている。

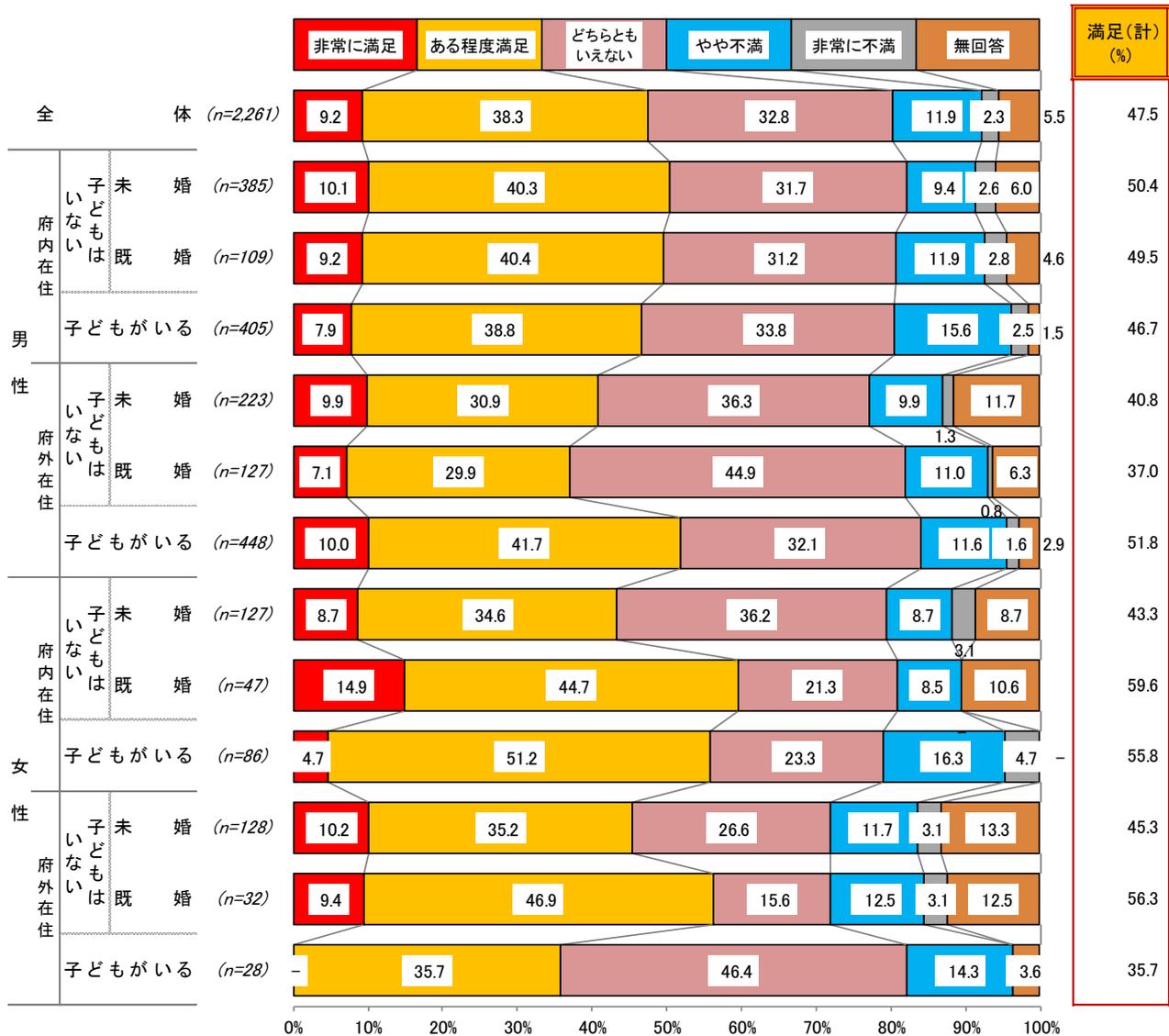
図表 1-5-22 現居住地の満足度：“住居の広さ”（性・居住地・子どもの有無別）



“就労環境”に対する満足度を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-5-23）、府内在住の男性では子どもの有無による大きな差はみられず、5割前後の満足度である。一方、府外在住の男性では子どものいる者では満足度が51.8%であるが、子どものいない者（未婚40.8%、37.0%）では4割前後で、府内在住者より満足度が低い。

一方、女性では子どものいない未婚者（府内43.3%、45.3%）に居住地による差はみられず、満足度は4割台である。子どものいる府内在住女性では、満足度が55.8%と高くなっている。

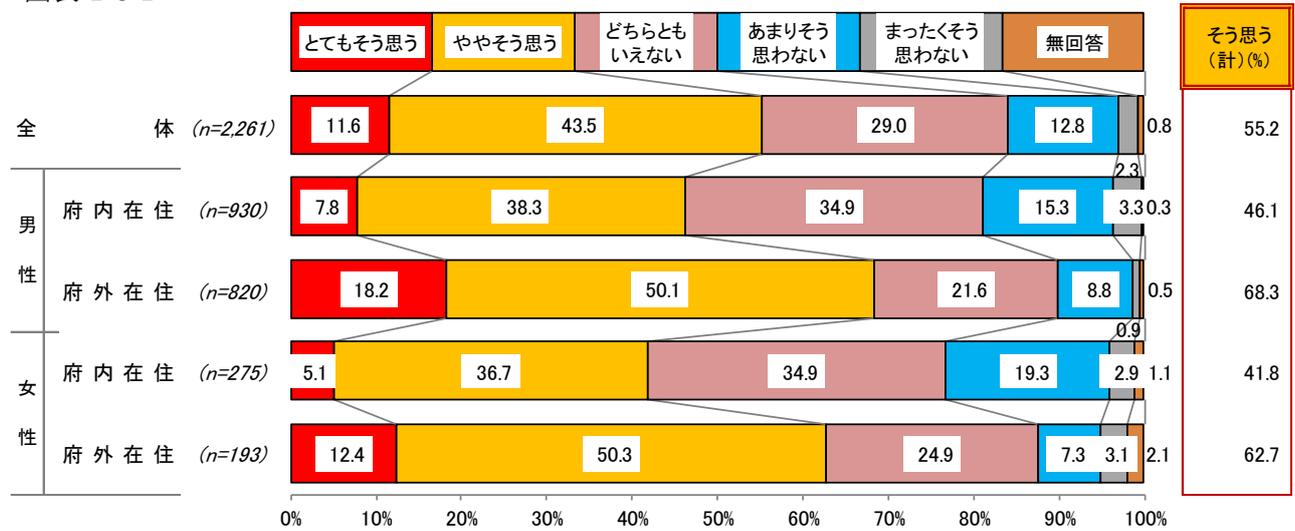
図表 1-5-23 現居住地の満足度：“就労環境”（性・居住地・子どもの有無別）



(6) 現居住地の子育て環境

問6 あなたがお住まいの市区町村は、一般的に子育てがしやすい環境だと思いますか。
 あてはまるものを1つお選びください。

図表 1-6-1



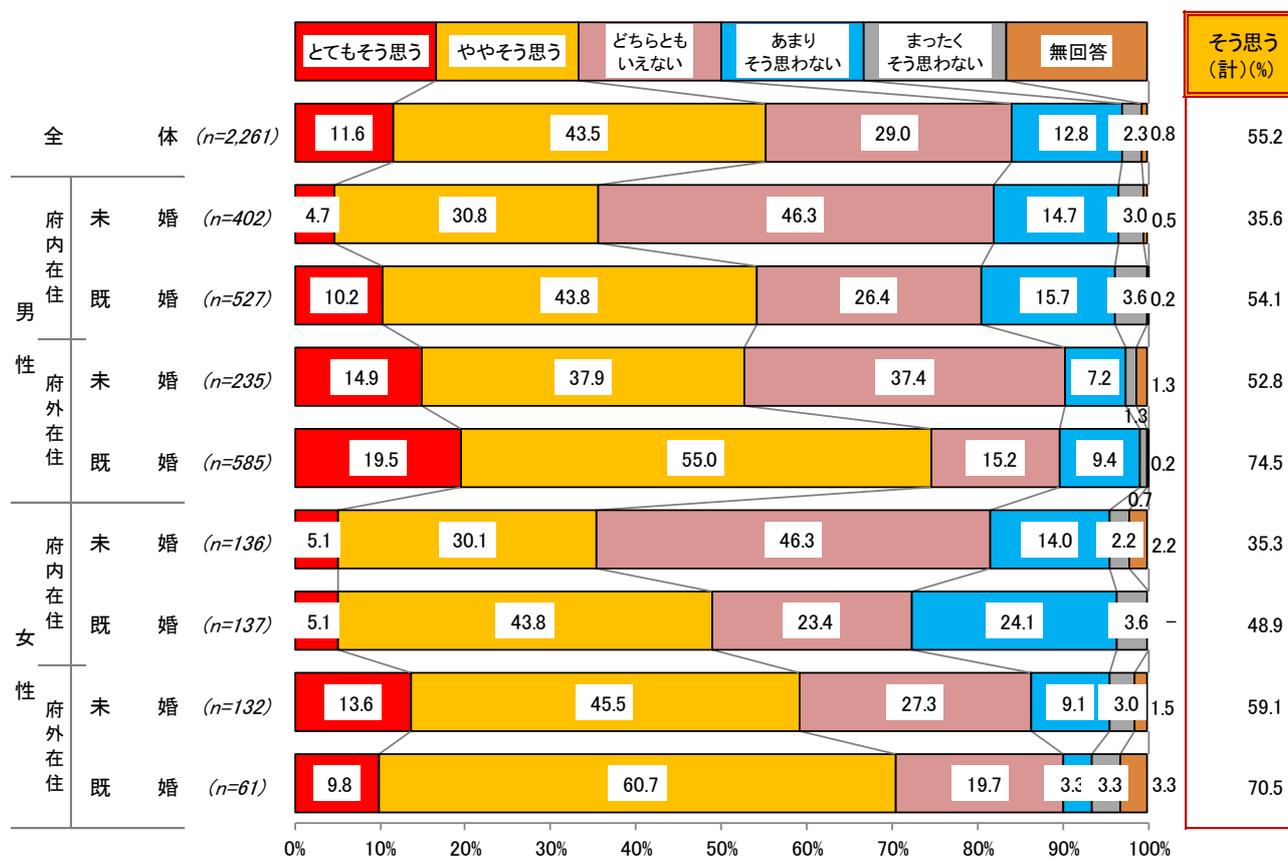
現在居住する市区町村が、一般的に子育てがしやすい環境だと思うかを聞いたところ(図表 1-6-1)、「とてもそう思う」(11.6%)という者は約1割で、「ややそう思う」(43.5%)を合わせると、過半数が、子育てしやすい環境であると評価している。

性・居住地別にみると(図表 1-6-1)、一般的に子育てしやすい環境であると評価(「とてもそう思う」と「ややそう思う」の計)している者は、男女ともに府内在住者(男性 46.1%、女性 41.8%)よりも、府外在住者(同 68.3%、62.7%)の方が多い。

居住地の男女別にみると、女性よりも男性の方が子育て環境をやや肯定的に評価している。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-6-2）、男女ともに、居住地にかかわらず、未婚者よりも既婚者の方が、現在の居住地は子育てしやすい環境である（『そう思う』）と評価している。

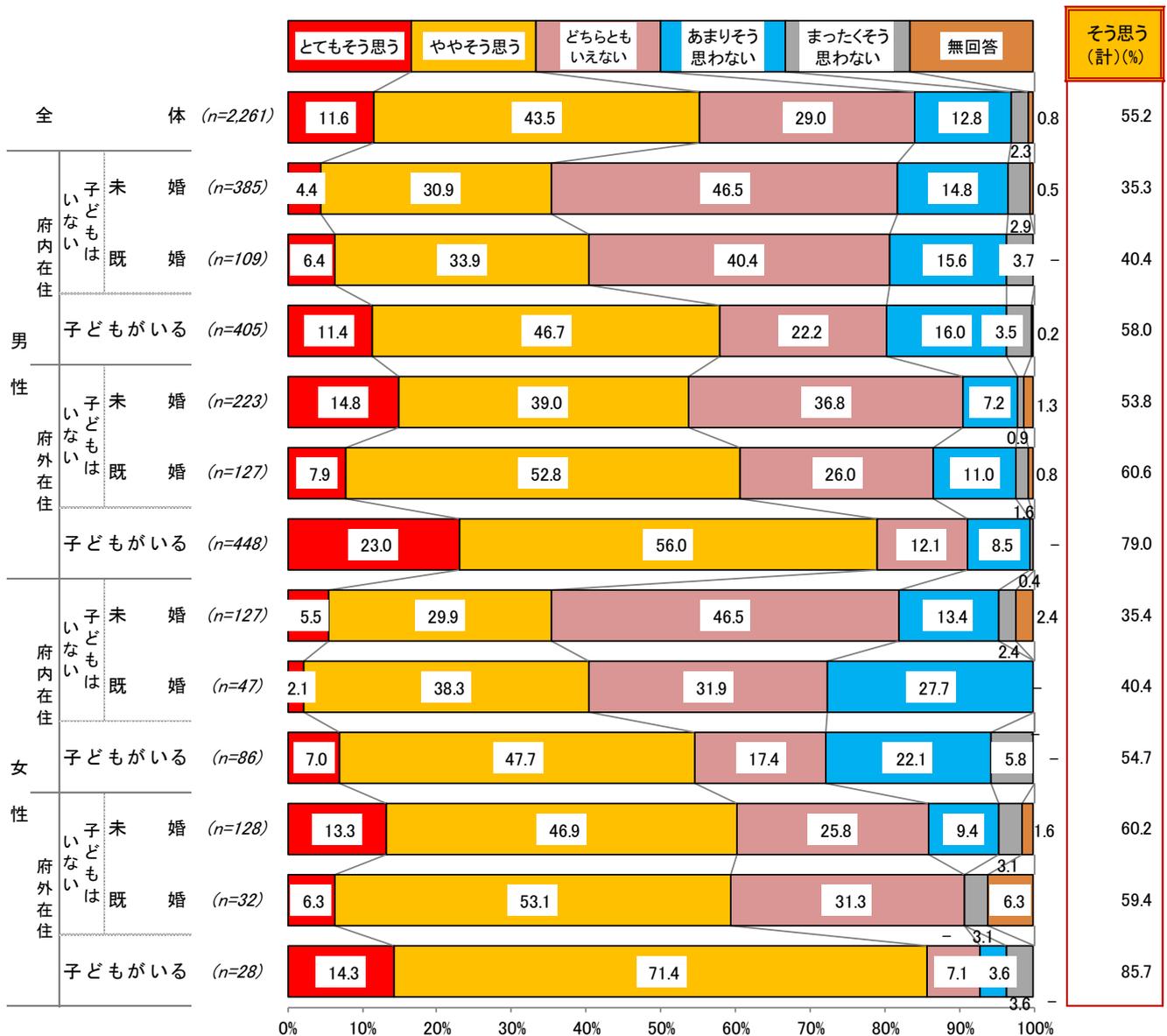
図表 1-6-2 現居住地の子育て環境（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-6-3）、男性では、府外在住で子どものいる層の 2 割以上が「とてもそう思う」（23.0％）と現居住地を高く評価しており、『そう思う』（79.0％）という者が 8 割近い。これに対して、府内在住の子どものいる男性の評価は 58.0％で、府外在住者との差が大きい。子どものいない者でも、評価する府外在住者（未婚 53.8％、既婚 60.6％）が府内在住者（同 35.3％、40.4％）を 20 ポイント前後上回っている。

一方、府内在住の子どものいる女性では、現居住地の子育て環境を評価している者（54.7％）が過半数であるが、府外在住の子どものいない未婚者では 60.2％とさらに高くなっている。

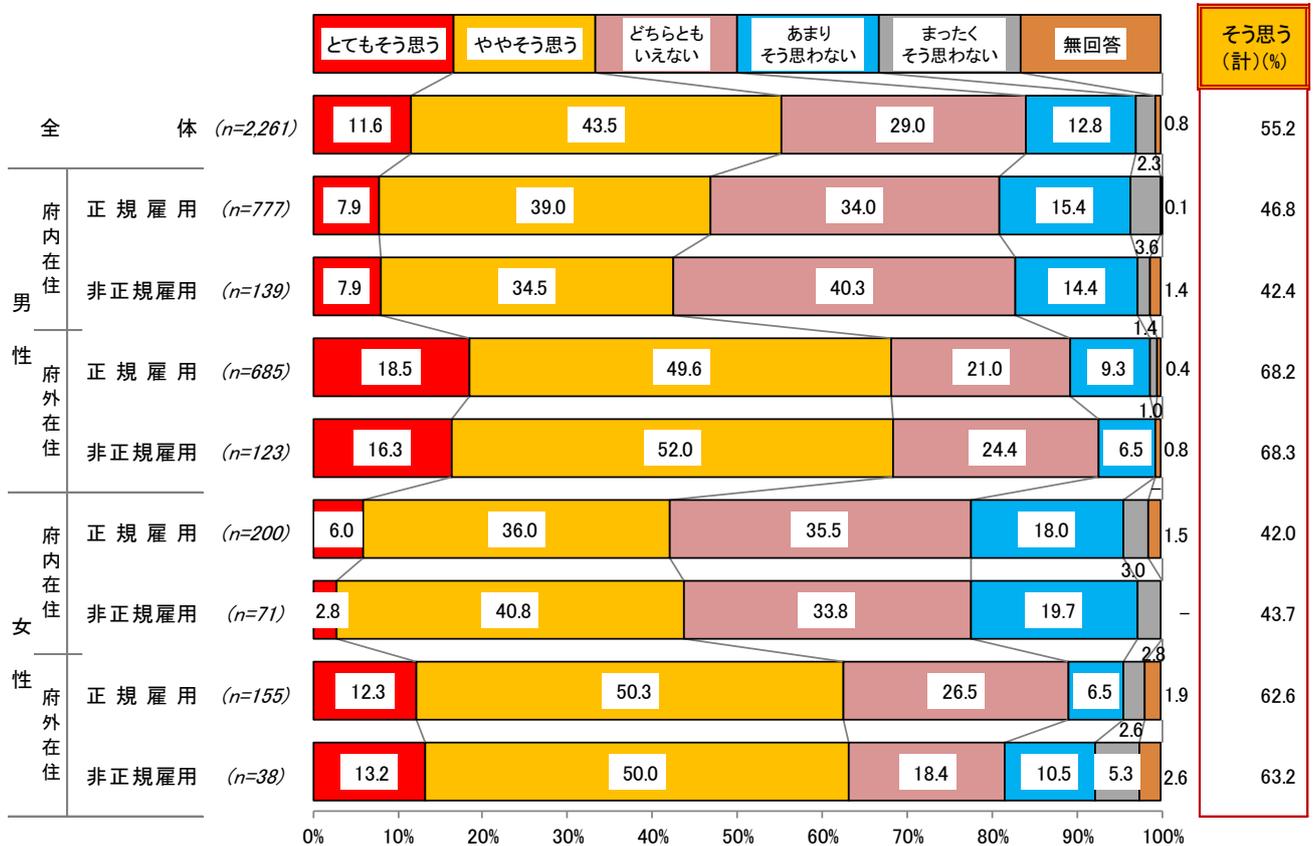
図表 1-6-3 現居住地の子育て環境（性・居住地・子どもの有無別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-6-4）、府内在住者は就労状況にかかわらず現居住地の子育て環境を評価する者が 4 割台であるのに対して、府外在住者では 6 割台と、居住地による差が大きい。

居住地による、大きな男女差はみられない。

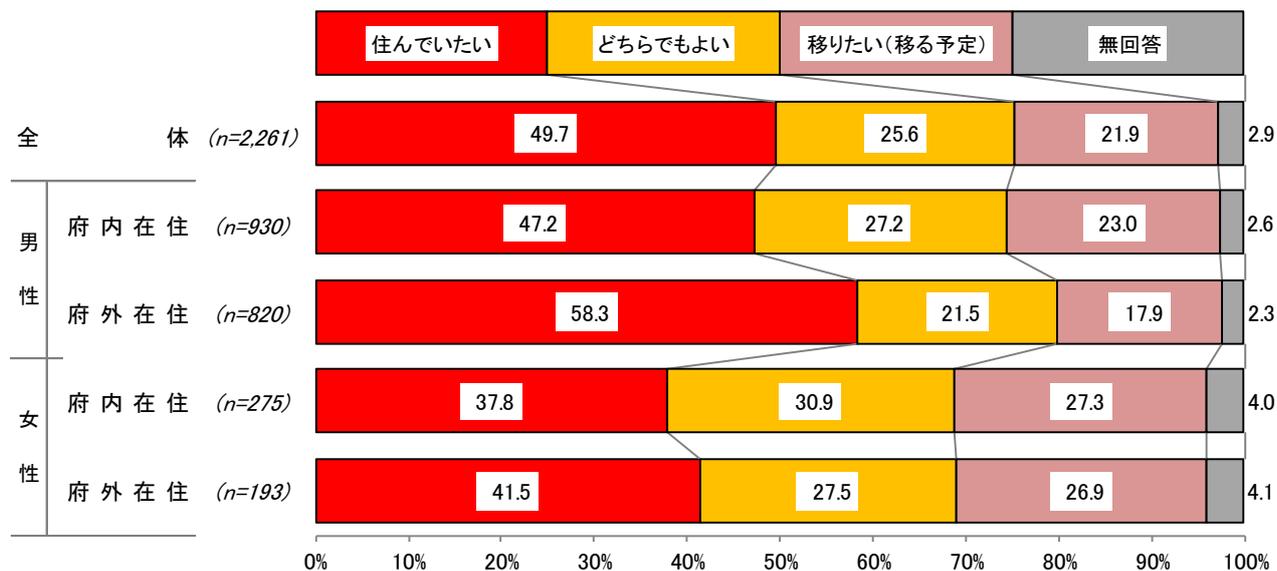
図表 1-6-4 現居住地の子育て環境（性・居住地・就労状況別）



(7) 定住意向

問7 あなたは、将来もずっと、現在お住まいの市区町村に住んでいたいと思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 1-7-1



現在の居住地に、将来もずっと「住んでいたい」という者は49.7%で、2割以上が「移りたい(移る予定)」(21.9%)と回答している(図表1-7-1)。

性・居住地別にみると(図表1-7-1)、将来もずっと「住んでいたい」という者は、男性(府内47.2%、府外58.3%)では府外在住者が府内在住者を11ポイント上回っているが、女性(同37.8%、41.5%)では居住地による大きな差はみられない。

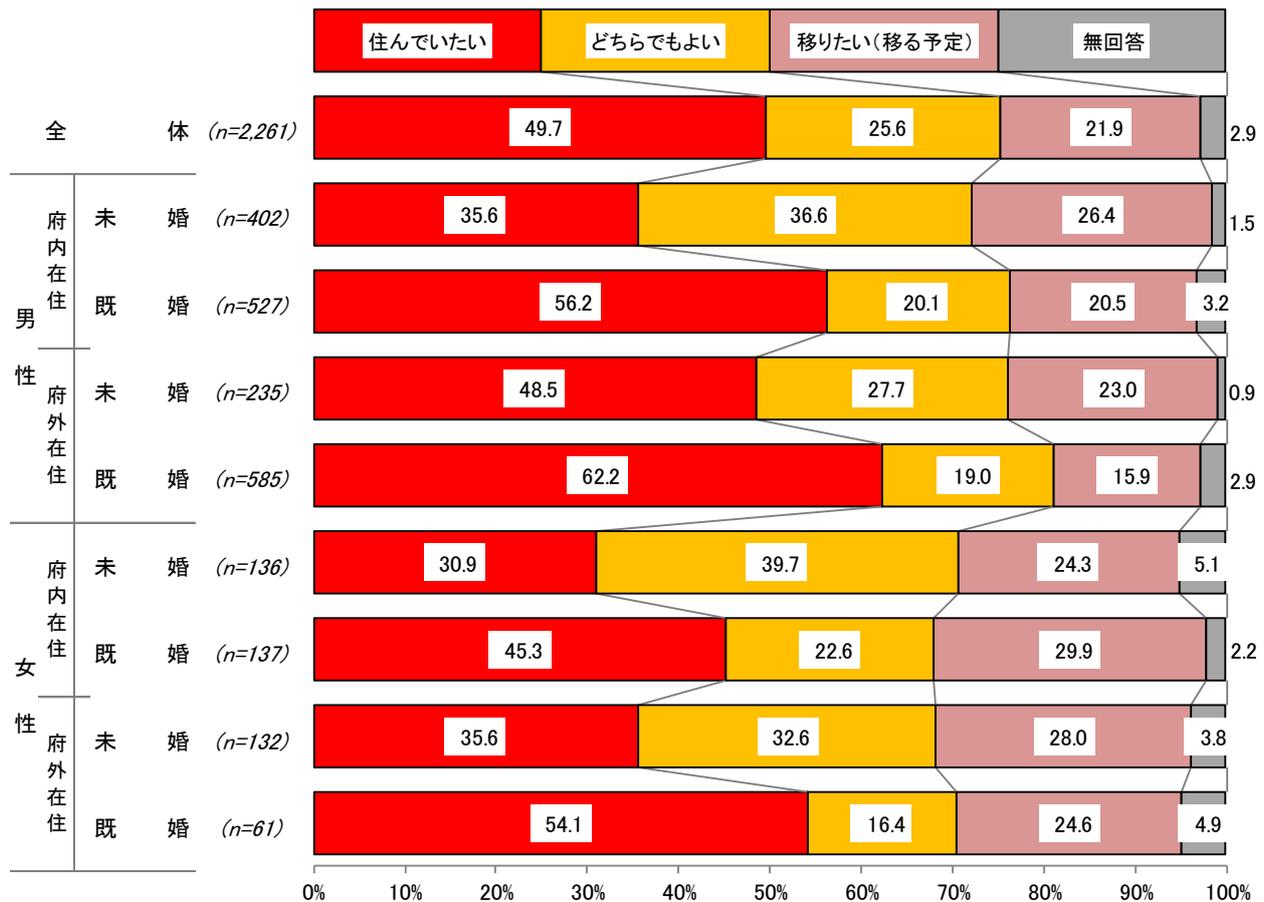
居住地で男女別にみると、男性の方が定住意向が強い。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-7-2）、いずれの層でも未婚者より既婚者の方が定住意向は強い。

居住地で男女別にみると、婚姻状況にかかわらず女性より男性の定住意向が強いが、府内在住の未婚者（男性 35.6%、女性 30.9%）では男女差が小さく、定住意向は男女とも 3 割台である。府内在住の未婚者は「どちらでもよい」（同 36.6%、39.7%）という者が 4 割近くで、将来の居住地に対する意向が薄い。

府外在住の未婚女性（35.6%）の定住意向も 3 割台である。

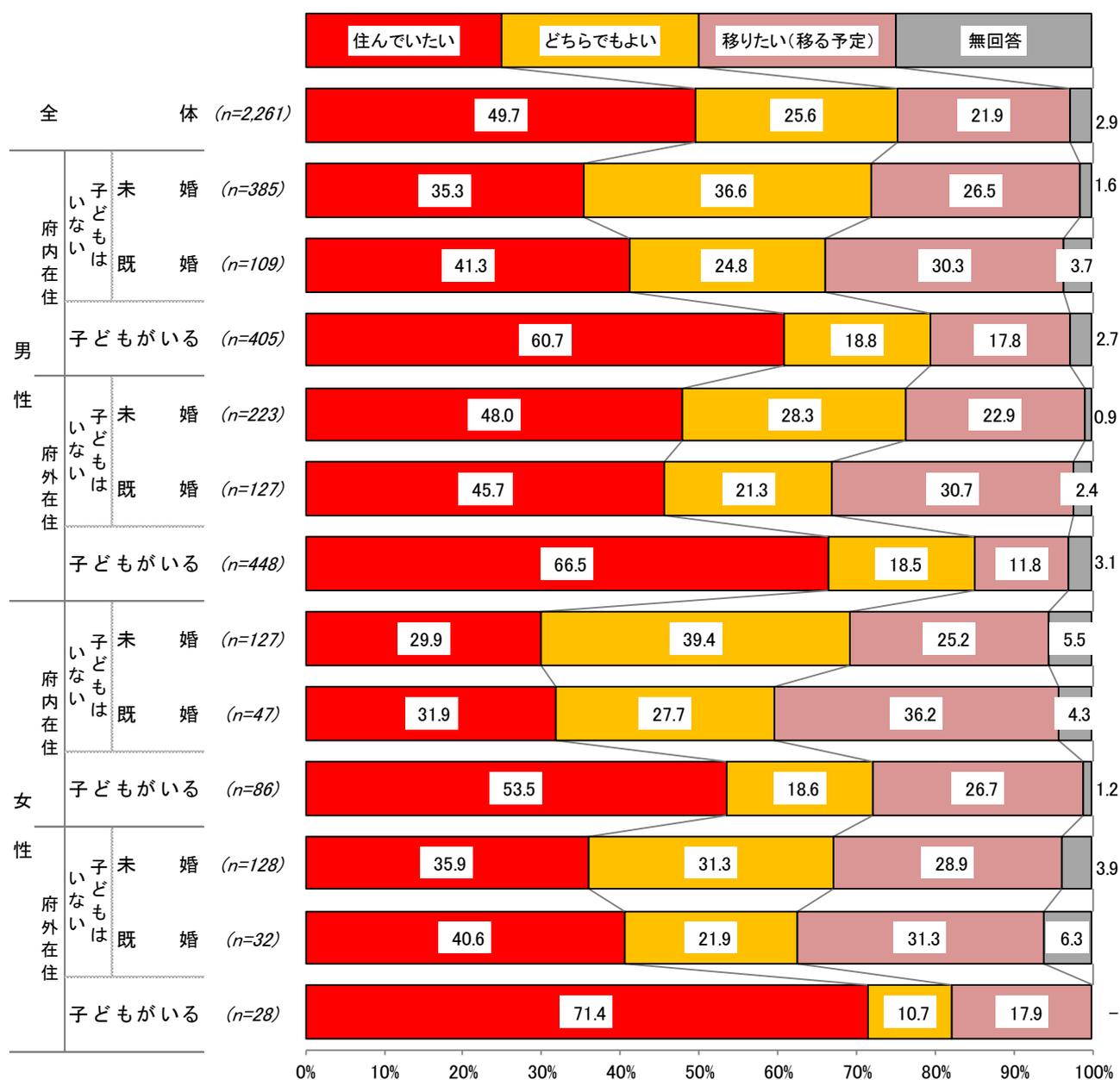
図表 1-7-2 定住意向（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-7-3）、いずれの層でも子どものいる者の定住意向が強い。特に、府外在住の子どものいる男性で、将来もずっと「住んでいたい」（66.5%）という者が3人に2人の割合となっている。

府内在住の子どものいる男性の定住意向は 60.7%、女性は 53.5%である。

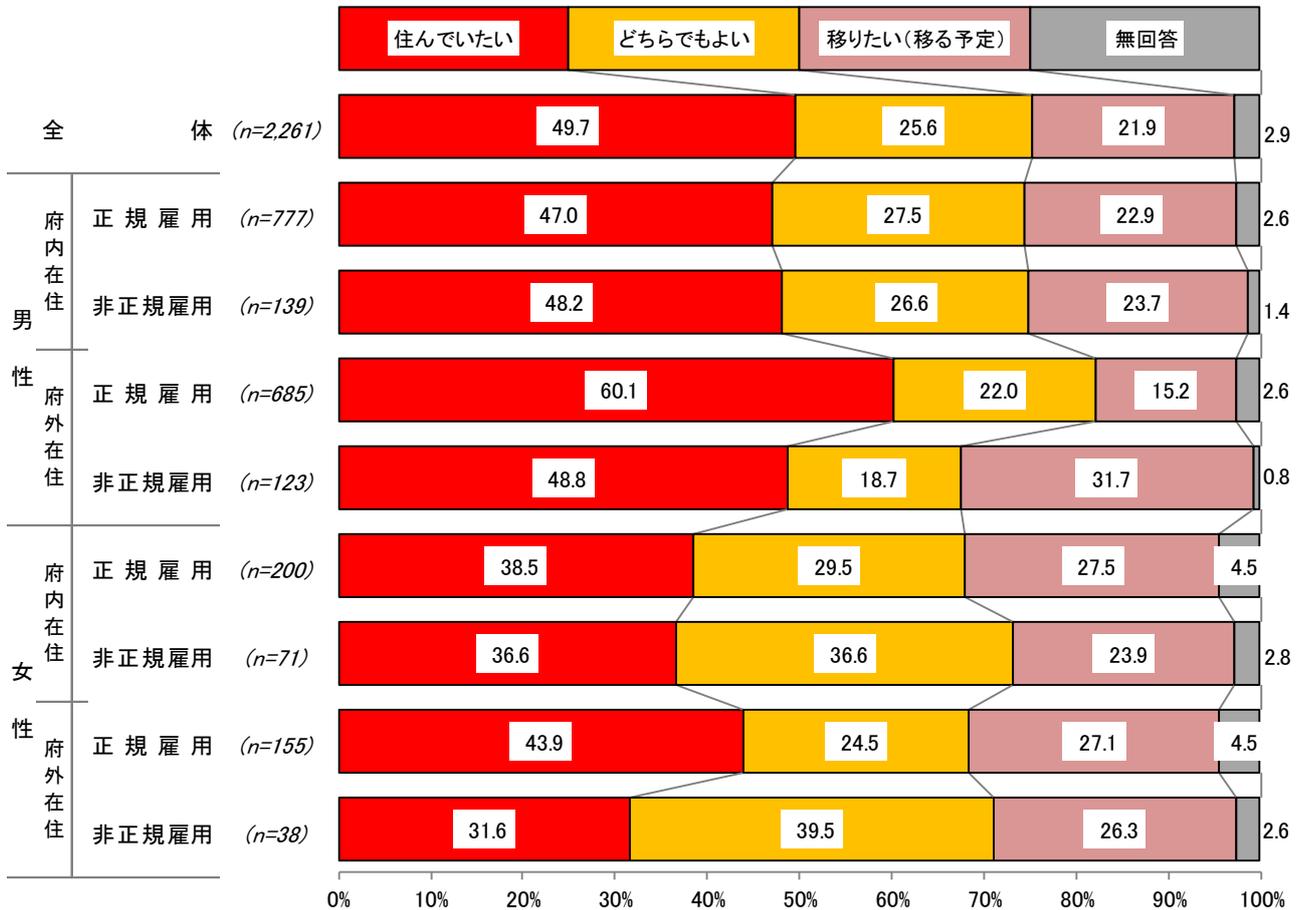
図表 1-7-3 定住意向（性・居住地・子どもの有無別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-7-4）、男女ともに、府内在住者では就労状況における差はみられず、男性（正規 47.0%、非正規 48.2%）は 5 割近く、女性（同 38.5%、36.6%）は 4 割近くが定住意向を持っている。

一方、府外在住の男性（同 60.1%、48.8%）では、正規雇用者の定住意向が 6 割で、非正規雇用者を 11 ポイント上回っている。

図表 1-7-4 定住意向（性・居住地・就労状況別）



(8) 転出意向理由

【問7で「2 移りたい(移る予定)」「3 どちらでもよい」と答えた方にお聞きします。】

問8 移りたい(もしくは移る予定がある)、どちらでもよいと思うのは、なぜですか。

あてはまるものを3つまでお選びください。

図表 1-8-1

		(%)																		
		通 勤 通 学 の 便	住 宅 事 情	結 婚	転 居	豊 か な 自 然 環 境	子 ど も の 学 習 環 境	親 と 近 居 す る た め	親 と 同 居 す る た め	転 職	ど 近 所 と の 間 付 き 合 い 係 な	家 族 の 移 動 に 伴 っ て	入 学 ・ 進 学	保 育 サ ー ビ ス の 利 用	就 職	健 康 上 の 理 由	家 業 継 承	離 婚	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=1,073)	28.6	27.4	17.8	13.9	13.1	11.4	10.0	8.7	5.4	5.3	3.4	3.0	3.0	2.1	1.7	1.2	0.7	8.4	2.7
男 性	府内在住 (n=467)	22.3	32.3	15.4	17.6	13.7	13.7	8.8	6.9	5.8	7.1	3.0	4.1	2.8	2.6	1.7	1.5	0.6	8.4	2.1
	府外在住 (n=323)	37.8	21.4	11.1	14.2	13.0	11.5	11.8	11.5	4.0	3.7	1.5	3.7	2.5	1.9	1.2	0.9	0.6	6.2	2.8
女 性	府内在住 (n=160)	25.6	30.0	27.5	7.5	15.6	7.5	9.4	9.4	7.5	6.9	6.9	-	3.8	3.1	2.5	1.3	1.3	10.0	3.1
	府外在住 (n=105)	35.2	19.0	35.2	6.7	8.6	7.6	11.4	6.7	3.8	-	5.7	-	4.8	-	1.0	1.0	1.0	12.4	1.0

現在居住している市区町村から「移りたい(移る予定)」もしくは、住み続けても移っても「どちらでもよい」という者(1,073人)の理由を3つまで聞いたところ(図表 1-8-1)、「通勤通学の便」(28.6%)と「住宅事情」(27.4%)が3割弱で、次いで「結婚」(17.8%)、「転居」(13.9%)、「豊かな自然環境」(13.1%)、「子どもの学習環境」(11.4%)、「親と近居するため」(10.0%)がいずれも1割台である。

性・居住地別にみると(図表 1-8-1)、男女ともに「通勤通学の便」は府内在住者(男性 22.3%、女性 25.6%)より府外在住者(同 37.8%、35.2%)で、「住宅事情」は府外在住者(同 21.4%、19.0%)よりも府内在住者(同 32.3%、30.0%)で、それぞれ多くあげられている。

また、女性では「結婚」(府内 27.5%、府外 35.2%)が、男性(同 15.4%、11.1%)より多くあげられている。「転勤」は、男性(同 17.6%、14.2%)で、女性(同 7.5%、6.7%)より多くあげられている。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-8-2）、「通勤通学の便」は男女とも府外在住の未婚者（男性 52.1%、女性 40.0%）で、「住宅事情」は府内在住の男性（未婚 32.0%、既婚 32.7%）と府内在住の既婚女性（33.3%）で、それぞれ転出理由として多くあげられている。また、「結婚」は、女性の未婚者（府内 46.0%、府外 45.0%）で、「子どもの学習環境」は男性の既婚者（同 20.1%、17.6%）でそれぞれ多くあげられている。

図表 1-8-2 転出意向理由（性・居住地・婚姻状況別）

		通勤通学の便	住宅事情	結婚	転動	豊かな自然環境	子どもの学習環境	親と近居するため	親と同居するため	転職	近所との付き合い関係	家族の移動に伴って	入学・進学	保育サービスの利用	就職	健康上の理由	家業継承	離婚	その他	無回答	
全体	(n=1,073)	28.6	27.4	17.8	13.9	13.1	11.4	10.0	8.7	5.4	5.3	3.4	3.0	3.0	2.1	1.7	1.2	0.7	8.4	2.7	
男性	府内在住																				
	未婚	(n=253)	27.3	32.0	24.9	21.7	9.5	8.3	7.1	4.7	7.5	5.1	2.0	0.4	1.2	2.4	2.0	0.8	-	7.5	3.2
	既婚	(n=214)	16.4	32.7	4.2	12.6	18.7	20.1	10.7	9.3	3.7	9.3	4.2	8.4	4.7	2.8	1.4	2.3	1.4	9.3	0.9
	府外在住																				
未婚	(n=119)	52.1	16.8	29.4	21.0	7.6	0.8	2.5	4.2	4.2	5.9	1.7	-	-	5.0	-	0.8	-	7.6	2.5	
既婚	(n=204)	29.4	24.0	0.5	10.3	16.2	17.6	17.2	15.7	3.9	2.5	1.5	5.9	3.9	-	2.0	1.0	1.0	5.4	2.9	
女性	府内在住																				
	未婚	(n=87)	28.7	26.4	46.0	11.5	18.4	2.3	5.7	10.3	10.3	4.6	3.4	-	1.1	3.4	4.6	1.1	-	8.0	-
	既婚	(n=72)	20.8	33.3	5.6	2.8	12.5	13.9	13.9	8.3	2.8	9.7	11.1	-	6.9	2.8	-	1.4	2.8	12.5	6.9
	府外在住																				
未婚	(n=80)	40.0	17.5	45.0	6.3	10.0	5.0	6.3	5.0	2.5	-	3.8	-	5.0	-	1.3	-	-	11.3	1.3	
既婚	(n=25)	20.0	24.0	4.0	8.0	4.0	16.0	28.0	12.0	8.0	-	12.0	-	4.0	-	-	4.0	4.0	16.0	-	

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-8-3）、「親と同居するため」(府内 20.0%、府外 37.9%)と「親と近居するため」(同 13.3%、34.8%)がそれぞれ他の層より多くあげられ、特に府外在住の子どものいない男性では 3 割以上である。

図表 1-8-3 転出意向理由（性・居住地・子どもの有無別）

		通勤通学の便	住宅事情	結婚	転動	豊かな自然環境	子どもの学習環境	親と近居するため	親と同居するため	転職	近所との付き合い関係	家族の移動に伴って	入学・進学	保育サービスの利用	就職	健康上の理由	家業継承	離婚	その他	無回答	
全体	(n=1,073)	28.6	27.4	17.8	13.9	13.1	11.4	10.0	8.7	5.4	5.3	3.4	3.0	3.0	2.1	1.7	1.2	0.7	8.4	2.7	
男性	府内在住																				
	子どもがいない																				
	未婚	(n=243)	28.0	32.1	25.5	21.8	9.5	8.2	7.0	4.9	7.8	5.3	2.1	0.4	1.2	2.5	2.1	0.8	-	7.8	2.5
	既婚	(n=80)	16.7	31.7	6.7	20.0	18.3	15.0	13.3	20.0	5.0	5.0	-	1.7	5.0	-	-	1.7	1.7	10.0	-
	子どもがいる(計)	(n=148)	16.2	32.4	3.4	10.1	18.9	20.9	10.1	5.4	3.4	10.8	6.1	10.1	4.7	3.4	2.0	2.7	1.4	8.8	1.4
	府外在住																				
子どもがいない																					
未婚	(n=114)	51.8	16.7	28.9	21.1	7.9	0.9	2.6	3.5	4.4	6.1	1.8	-	-	5.3	-	0.9	-	7.0	2.6	
既婚	(n=66)	25.8	19.7	-	10.6	9.1	9.1	34.8	37.9	4.5	1.5	-	4.5	6.1	-	3.0	1.5	1.5	3.0	3.0	
子どもがいる(計)	(n=136)	31.6	25.0	0.7	10.3	19.9	22.1	8.8	5.1	3.7	2.9	2.2	6.6	2.9	-	1.5	0.7	0.7	6.6	2.9	
女性	府内在住																				
	子どもがいない																				
	未婚	(n=82)	25.6	28.0	45.1	11.0	19.5	2.4	6.1	11.0	11.0	4.9	2.4	-	1.2	3.7	4.9	1.2	-	8.5	-
	既婚	(n=30)	16.7	33.3	10.0	6.7	13.3	13.3	20.0	6.7	3.3	10.0	6.7	-	10.0	3.3	-	-	6.7	13.3	6.7
	子どもがいる(計)	(n=39)	23.1	33.3	2.6	-	12.8	15.4	10.3	10.3	2.6	10.3	15.4	-	5.1	2.6	-	2.6	-	10.3	7.7
	府外在住																				
子どもがいない																					
未婚	(n=77)	40.3	16.9	45.5	6.5	10.4	5.2	6.5	5.2	2.6	-	3.9	-	5.2	-	1.3	-	-	11.7	1.3	
既婚	(n=17)	11.8	23.5	5.9	11.8	5.9	17.6	23.5	11.8	5.9	-	17.6	-	-	-	-	5.9	5.9	17.6	-	
子どもがいる(計)	(n=8)	37.5	25.0	-	-	-	12.5	37.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5	-	

性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-8-4）、男女とも府内在住の正規雇用者が「住宅事情」（男性 33.4%、女性 32.5%）を 3 割前後があげている。

また、府外在住の正規雇用の男性は「通勤通学の便」（42.0%）を、府外在住の非正規雇用の男性は「親と同居するため」（37.1%）と「親と近居するため」（33.9%）を、それぞれ他の層よりも多くあげている。

図表 1-8-4 転出意向理由（性・居住地・就労状況別）

(%)

		通 勤 通 学 の 便	住 宅 事 情	結 婚	転 勤	豊 か な 自 然 環 境	子 ど も の 学 習 環 境	親 と 近 居 す る た め	親 と 同 居 す る た め	転 職	ど の 近 所 と の 間 の 関 係 な い	家 族 の 移 動 に 伴 っ て	入 学 ・ 進 学	保 育 サ ー ビ ス の 利 用	就 職	健 康 上 の 理 由	家 業 継 承	離 婚	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=1,073)	28.6	27.4	17.8	13.9	13.1	11.4	10.0	8.7	5.4	5.3	3.4	3.0	3.0	2.1	1.7	1.2	0.7	8.4	2.7
男	府内在住 正規雇用 (n=392)	20.4	33.4	16.1	17.3	14.8	15.8	9.2	6.4	5.6	7.9	3.3	4.6	3.1	2.6	2.0	1.5	0.8	8.2	1.3
	府内在住 非正規雇用 (n=70)	32.9	28.6	12.9	18.6	8.6	2.9	5.7	10.0	7.1	1.4	1.4	1.4	1.4	2.9	-	1.4	-	7.1	4.3
女	府外在住 正規雇用 (n=255)	42.0	24.3	11.4	16.1	14.9	12.9	6.3	4.7	4.7	3.9	0.8	3.1	2.7	1.6	1.6	1.2	0.4	6.7	2.0
	府外在住 非正規雇用 (n=62)	22.6	9.7	11.3	8.1	6.5	6.5	33.9	37.1	1.6	3.2	4.8	6.5	1.6	3.2	-	-	1.6	3.2	3.2
男	府内在住 正規雇用 (n=114)	23.7	32.5	26.3	8.8	16.7	7.0	12.3	7.0	7.0	9.6	6.1	-	4.4	1.8	2.6	1.8	0.9	7.9	2.6
	府内在住 非正規雇用 (n=43)	30.2	25.6	32.6	4.7	11.6	9.3	2.3	16.3	9.3	-	9.3	-	2.3	4.7	2.3	-	2.3	16.3	-
女	府外在住 正規雇用 (n=80)	33.8	21.3	35.0	8.8	8.8	8.8	10.0	8.8	3.8	-	5.0	-	3.8	-	1.3	1.3	1.3	13.8	1.3
	府外在住 非正規雇用 (n=25)	40.0	12.0	36.0	-	8.0	4.0	16.0	-	4.0	-	8.0	-	8.0	-	-	-	-	8.0	-

(9) 転出希望先

【問7で「2 移りたい (移る予定)」「3 どちらでもよい」と答えた方にお聞きします。】

問9 将来、住みたいと思うのはどちらですか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 1-9-1

		京都市内										京都市外							(%)	
		京都市(計)	京都市	丹後市	中丹	南丹	乙訓市	学研都市	相楽東部	山城北	京都市外(計)	滋賀県内の市町村	大阪府内の市区町村	兵庫県内の市区町村	奈良県内の市町村	福井県内の市町村	三重県内の市町村	町	その他都道府県の市区	無回答
全	体 (n=1,073)	43.2	30.7	1.4	2.1	1.7	3.1	1.6	0.1	2.5	44.0	7.0	13.0	5.5	0.8	0.9	0.3	16.5	12.9	
男	府内在住 (n=467)	51.4	34.7	1.9	3.4	2.4	4.3	1.7	0.2	2.8	43.5	6.9	10.3	4.5	0.6	1.1	0.4	19.7	5.1	
	府外在住 (n=323)	29.1	19.5	1.5	1.2	1.2	2.5	1.9	-	1.2	45.5	9.3	17.3	5.3	0.6	0.6	-	12.4	25.4	
女	府内在住 (n=160)	53.8	41.9	0.6	1.3	1.9	2.5	1.3	-	4.4	39.4	6.3	10.0	4.4	1.3	1.9	0.6	15.0	6.9	
	府外在住 (n=105)	35.2	31.4	-	-	-	1.0	1.0	-	1.9	47.6	1.9	18.1	8.6	1.9	-	-	17.1	17.1	

現在居住している市区町村から「移りたい (移る予定)」もしくは、住み続けても移っても「どちらでもよい」という者 (1,073 人) が、将来住みたいと思う地域を聞いたところ (図表 1-9-1)、「京都市」が 30.7%で最も多い。次いで「大阪府内の市区町村」(13.0%)、「滋賀県内の市町村」(7.0%)、「兵庫県内の市区町村」(5.5%) などの順となっており、『京都市外』(44.0%) への転出希望が 4 割を超えている。

性・居住地別にみると (図表 1-9-1)、男女ともに府内在住者では「京都市」(男性 34.7%、女性 41.9%) が、府外在住者では「大阪府内の市区町村」(同 17.3%、18.1%) が、それぞれ他の層よりも多い。

男女による大きな差はみられない。

性・居住地・婚姻状況別（図表 1-9-2）にみると、府内在住の既婚女性は半数が「京都市」（50.0%）と回答し、6割以上が『京都府』（62.5%）での移動を希望している。一方、府内在住の男性と未婚女性は4割以上が、『京都府外』（未婚男性 43.9%、既婚男性 43.0%、未婚女性 48.3%）への転出を希望している。

府外在住者で『京都府』への転入を希望しているのは、未婚男性の 35.3%、未婚女性の 37.5%、既婚男性の 25.5%である。

図表 1-9-2 転出希望先（性・居住地・婚姻状況別）

		京都府内										京都府外								無 回 答
		京 都 府 （ 計 ）	京 都 市	丹 後	中 丹	南 丹	乙 訓	学 研 都 市	相 楽 東 部	山 城 北	京 都 府 外 （ 計 ）	滋 賀 県 内 の 市 町 村	大 阪 府 内 の 市 区 町 村	兵 庫 県 内 の 市 区 町 村	奈 良 県 内 の 市 町 村	福 井 県 内 の 市 町 村	三 重 県 内 の 市 町 村	町 村 区	其 他 都 道 県 の 市 区	
全	体 (n=1,073)	43.2	30.7	1.4	2.1	1.7	3.1	1.6	0.1	2.5	44.0	7.0	13.0	5.5	0.8	0.9	0.3	16.5	12.9	
男 性	府内在住 未 婚 (n=253)	51.8	37.2	1.6	3.2	1.6	4.0	2.4	0.4	1.6	43.9	5.9	10.7	5.5	1.2	1.6	0.4	18.6	4.3	
	府内在住 既 婚 (n=214)	50.9	31.8	2.3	3.7	3.3	4.7	0.9	-	4.2	43.0	7.9	9.8	3.3	-	0.5	0.5	21.0	6.1	
	府外在住 未 婚 (n=119)	35.3	26.9	1.7	1.7	0.8	0.8	1.7	-	1.7	43.7	8.4	19.3	6.7	-	1.7	-	7.6	21.0	
	府外在住 既 婚 (n=204)	25.5	15.2	1.5	1.0	1.5	3.4	2.0	-	1.0	46.6	9.8	16.2	4.4	1.0	-	-	15.2	27.9	
女 性	府内在住 未 婚 (n=87)	46.0	34.5	1.1	2.3	-	2.3	1.1	-	4.6	48.3	5.7	12.6	5.7	2.3	1.1	1.1	19.5	5.7	
	府内在住 既 婚 (n=72)	62.5	50.0	-	-	4.2	2.8	1.4	-	4.2	29.2	6.9	6.9	2.8	-	2.8	-	9.7	8.3	
	府外在住 未 婚 (n=80)	37.5	33.8	-	-	-	1.3	1.3	-	1.3	47.5	2.5	21.3	8.8	2.5	-	-	12.5	15.0	
	府外在住 既 婚 (n=25)	28.0	24.0	-	-	-	-	-	-	4.0	48.0	-	8.0	8.0	-	-	-	32.0	24.0	

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-9-3）、府内在住の子どものいない既婚男性は 45.0% が、将来「京都市」に住みたいと回答し、6 割近くが『京都府内』（56.7%）での居住を希望している。府内在住の子どものいる既婚男性では、半数近くが『京都府内』（48.6%）での居住を希望しているが、居住地は「京都市」（26.4%）のほか、「中丹」（4.7%）、「山城北」（4.7%）、「南丹」（4.1%）、「乙訓」（4.1%）など希望予定地は分散している。これに対して、子どもがいる府外在住の男性は、ほぼ半数が『京都府外』（50.7%）での居住を希望している。

図表 1-9-3 転出希望先（性・居住地・子どもの有無別）

		京都府内										京都府外								無回答	
		京都市	京都市	丹後	中丹	南丹	乙訓	学研都市	相楽東部	山城北	京都府外（計）	滋賀県内の市町村	大阪府内の市区町村	兵庫県内の市区町村	奈良県内の市町村	福井県内の市町村	三重県内の市町村	町	その他都道府県の市区町村	無回答	
全	体 (n=1,073)	43.2	30.7	1.4	2.1	1.7	3.1	1.6	0.1	2.5	44.0	7.0	13.0	5.5	0.8	0.9	0.3	16.5	12.9		
性	府内在住	子どもは																			
		いない	未婚 (n=243)	52.3	37.4	1.6	3.3	1.6	4.1	2.1	0.4	1.6	44.4	6.2	10.3	5.8	1.2	1.6	0.4	18.9	3.3
		既婚 (n=60)	56.7	45.0	-	1.7	1.7	6.7	-	-	1.7	41.7	5.0	16.7	-	-	-	-	20.0	1.7	
	子どもがいる	(n=148)	48.6	26.4	3.4	4.7	4.1	4.1	1.4	-	4.7	43.9	8.8	7.4	4.7	-	0.7	0.7	21.6	7.4	
	府外在住	子どもは																			
		いない	未婚 (n=114)	36.0	28.1	1.8	1.8	0.9	0.9	0.9	-	1.8	43.0	7.9	20.2	6.1	-	1.8	-	7.0	21.1
既婚 (n=66)		21.2	15.2	-	-	-	1.5	3.0	-	1.5	37.9	9.1	19.7	-	-	-	-	9.1	40.9		
子どもがいる	(n=136)	27.2	15.4	2.2	1.5	2.2	3.7	1.5	-	0.7	50.7	10.3	14.0	6.6	1.5	-	-	18.4	22.1		
性	府内在住	子どもは																			
		いない	未婚 (n=82)	45.1	34.1	1.2	2.4	-	2.4	1.2	-	3.7	48.8	6.1	13.4	4.9	2.4	1.2	1.2	19.5	6.1
		既婚 (n=30)	56.7	43.3	-	-	-	3.3	-	-	10.0	33.3	6.7	10.0	6.7	-	3.3	-	6.7	10.0	
	子どもがいる	(n=39)	66.7	56.4	-	-	7.7	2.6	-	-	-	25.6	5.1	5.1	-	-	2.6	-	12.8	7.7	
	府外在住	子どもは																			
		いない	未婚 (n=77)	37.7	33.8	-	-	-	1.3	1.3	-	1.3	46.8	1.3	20.8	9.1	2.6	-	-	13.0	15.6
既婚 (n=17)		23.5	17.6	-	-	-	-	-	-	5.9	41.2	-	5.9	5.9	-	-	-	29.4	35.3		
子どもがいる	(n=8)	37.5	37.5	-	-	-	-	-	-	-	62.5	-	12.5	12.5	-	-	-	37.5	-		

性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-9-4）、「京都市」は、いずれの層でも居住を希望する者が最も多いが、特に府内在住の正規雇用者の女性では 44.7%と希望者が多い。一方、男性の府内在住の非正規雇用者と府外在住の正規雇用者では、「京都市」（府内非正規 28.6%、府外正規 20.4%）に次いで「大阪府内の市区町村」（同 21.4%、20.0%）を希望する者も 2 割台で並んでいる。

図表 1-9-4 転出希望先（性・居住地・就労状況別）

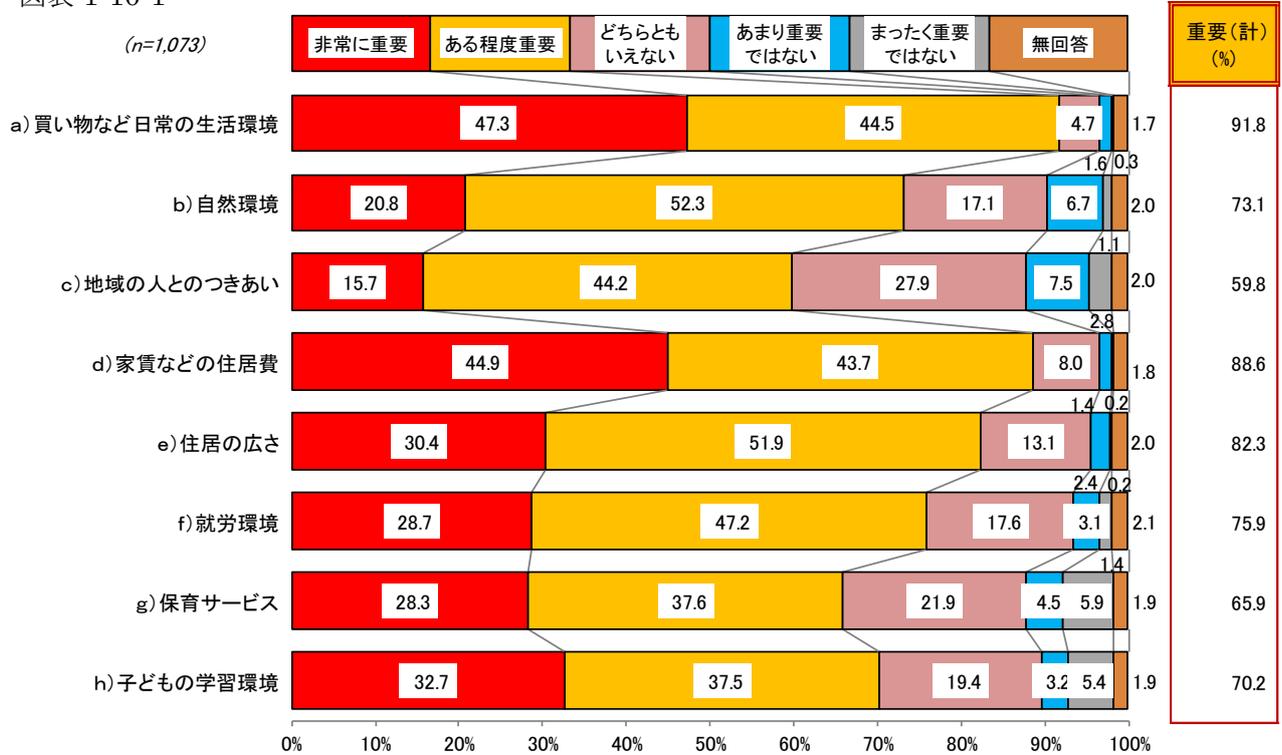
		京都府内										京都府外							(%)		
		京 都 府 （ 計 ）	京 都 市	丹 後	中 丹	南 丹	乙 訓	学 研 都 市	相 楽 東 部	山 城 北	京 都 府 外 （ 計 ）	滋 賀 県 内 の 市 町 村	大 阪 府 内 の 市 区 町 村	兵 庫 県 内 の 市 区 町 村	奈 良 県 内 の 市 町 村	福 井 県 内 の 市 町 村	三 重 県 内 の 市 町 村	町 村 区	無 回 答		
全	体	(n=1,073)	43.2	30.7	1.4	2.1	1.7	3.1	1.6	0.1	2.5	44.0	7.0	13.0	5.5	0.8	0.9	0.3	16.5	12.9	
男	府内在住	正規雇用	(n=392)	53.8	36.2	2.0	4.1	2.6	4.8	1.8	0.3	2.0	41.6	6.6	8.2	4.8	0.5	1.0	0.5	19.9	4.6
	府内在住	非正規雇用	(n=70)	40.0	28.6	1.4	-	1.4	1.4	-	5.7	54.3	8.6	21.4	2.9	1.4	-	-	-	18.6	5.7
	府外在住	正規雇用	(n=255)	30.6	20.4	2.0	1.2	1.6	2.4	2.4	-	0.8	50.6	10.6	20.0	5.1	0.8	-	-	13.3	18.8
	府外在住	非正規雇用	(n=62)	24.2	16.1	-	1.6	-	3.2	-	-	3.2	27.4	4.8	8.1	6.5	-	-	-	8.1	48.4
女	府内在住	正規雇用	(n=114)	56.1	44.7	-	1.8	0.9	2.6	0.9	-	5.3	39.5	6.1	11.4	4.4	0.9	1.8	0.9	14.0	4.4
	府内在住	非正規雇用	(n=43)	48.8	37.2	2.3	-	4.7	2.3	2.3	-	-	41.9	7.0	7.0	4.7	2.3	2.3	-	18.6	9.3
	府外在住	正規雇用	(n=80)	32.5	27.5	-	-	-	1.3	1.3	-	2.5	50.0	2.5	17.5	10.0	2.5	-	-	17.5	17.5
	府外在住	非正規雇用	(n=25)	44.0	44.0	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	20.0	4.0	-	-	-	16.0	16.0

(10) 転出先に重要な点

【問7で「2 移りたい (移る予定)」「3 どちらでもよい」と答えた方にお聞きします。】

問10 現在お住まいの市区町村から移る先として、重要なのはどんな点ですか。下記のa)～h)について、あてはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。

図表 1-10-1



現在居住している市区町村から「移りたい (移る予定)」もしくは、住み続けても移っても「どちらでもよい」と回答した者 (1,073 人) が現居住地から転出する場合、“買い物など日常の生活環境” “自然環境” “地域の人とのつきあい” “家賃などの住居費” “住居の広さ” “就労環境” “保育サービス” “子どもの学習環境” の 8 項目が、それぞれどの程度重要であるかを聞いた (図表 1-10-1)。

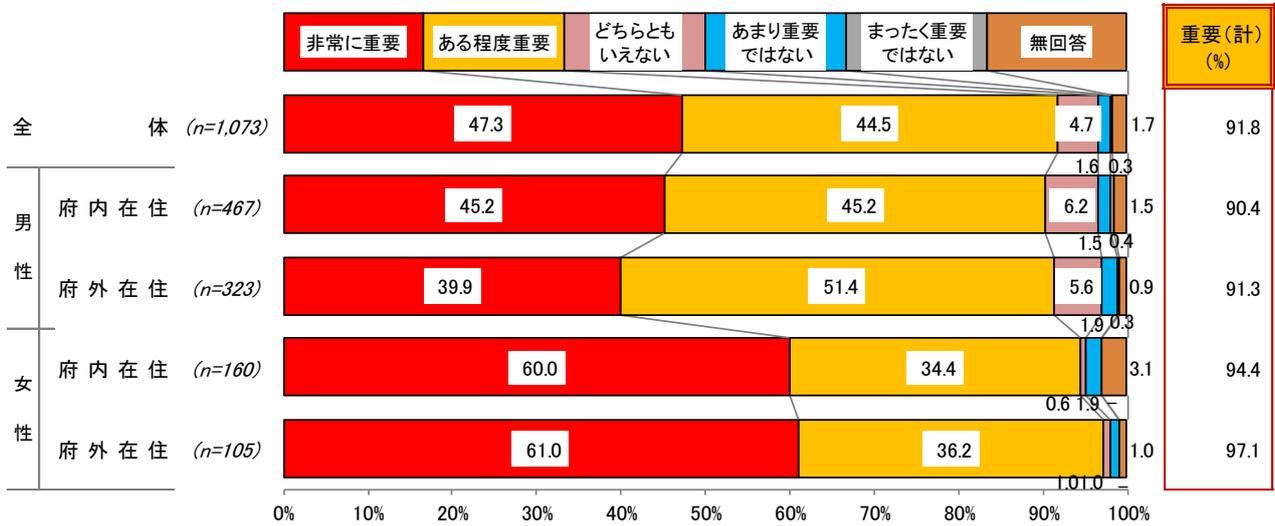
どの項目も、「非常に重要」あるいは「ある程度重要」と回答した『重要』であるとする者が多数を占めるが、特に“買い物など日常の生活環境”については、半数近くが「非常に重要」(47.3%) と回答しており、「ある程度重要」(44.5%) を合わせると、9 割以上が『重要』であると回答している。また、“家賃などの住居費”も「非常に重要」という者が 44.9% で、「ある程度重要」(43.7%) を合わせると、『重要』と考える者が 9 割近い。

“住居の広さ”の重要度(「非常に重要」と「ある程度重要」の計)は 82.3%、“就労環境”は 75.9%、“自然環境”は 73.1%、“子どもの学習環境”は 70.2%で続いている。

転出先に重要な点として“買い物など日常の生活環境”を性・居住地別にみると（図表 1-10-2）、男女ともに、居住地による大きな差はみられない。

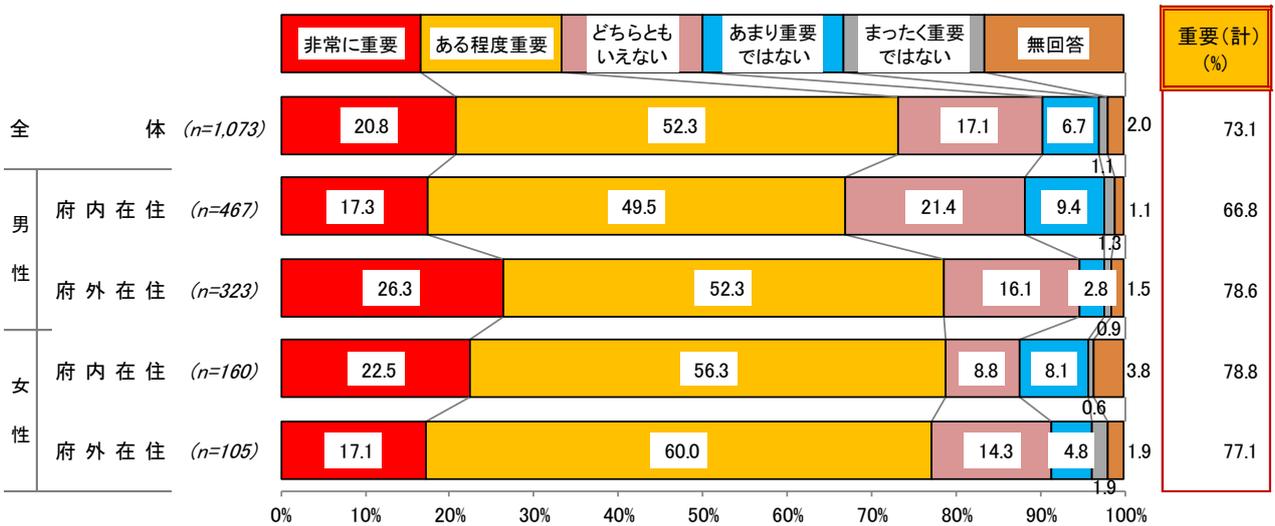
居住地で男女別にみると、いずれの層でも 9 割以上が『重要』と考えているが、男性（府内 45.2%、府外 39.9%）よりも女性（同 60.0%、61.0%）の方が、「非常に重要」という者が多い。

図表 1-10-2 転出先に重要な点：“買い物など日常の生活環境”（性・居住地別）



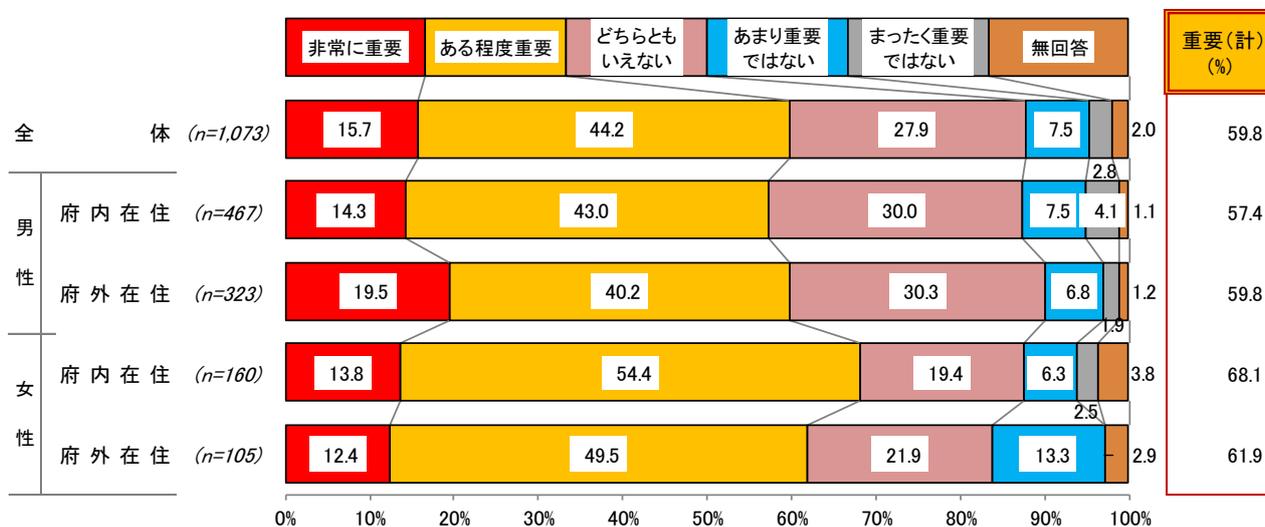
転出先の“自然環境”については（図表 1-10-3）、『重要』と考える者は、男性（府内 66.8%、府外 78.6%）では、府内在住者よりも府外在住者の方が高い。女性は、居住地による大きな差はみられない。

図表 1-10-3 転出先に重要な点：“自然環境”（性・居住地別）



“地域の人とのつきあい”を性・居住地別にみると（図表 1-10-4）、男性は居住地による差がみられないが、女性（府内 68.1%、府外 61.9%）では府外在住者より府内在住者の方が、『重要』と考える者が多く、府内在住者に男女差がみられる。

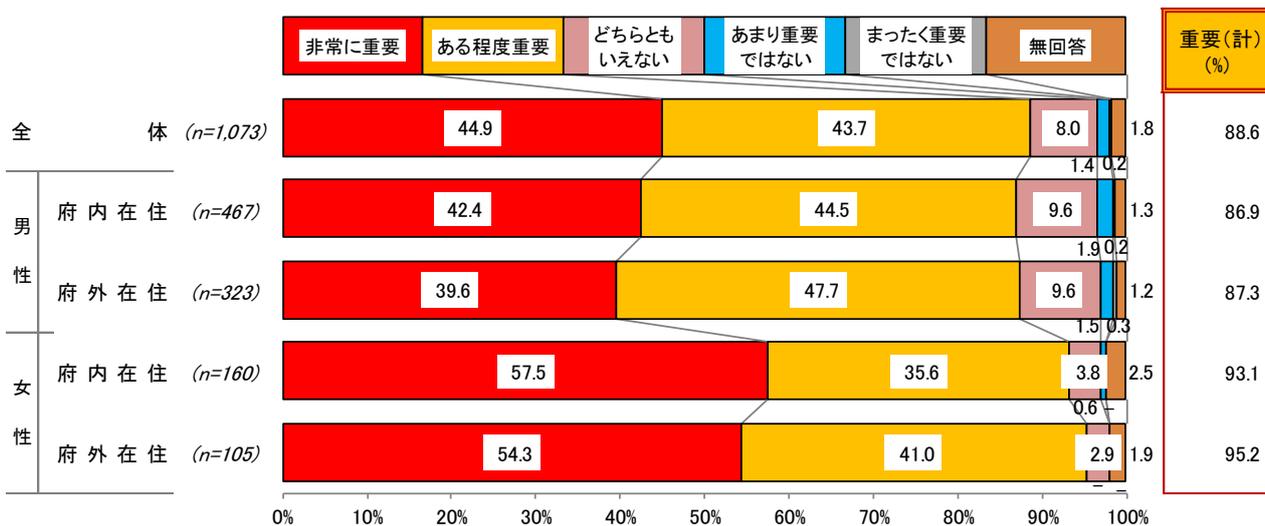
図表 1-10-4 転出先に重要な点：“地域の人とのつきあい”（性・居住地別）



“家賃などの住居費”に対する重要度を、性・居住地別にみると、男女ともに居住地による差はみられない（図表 1-10-5）。

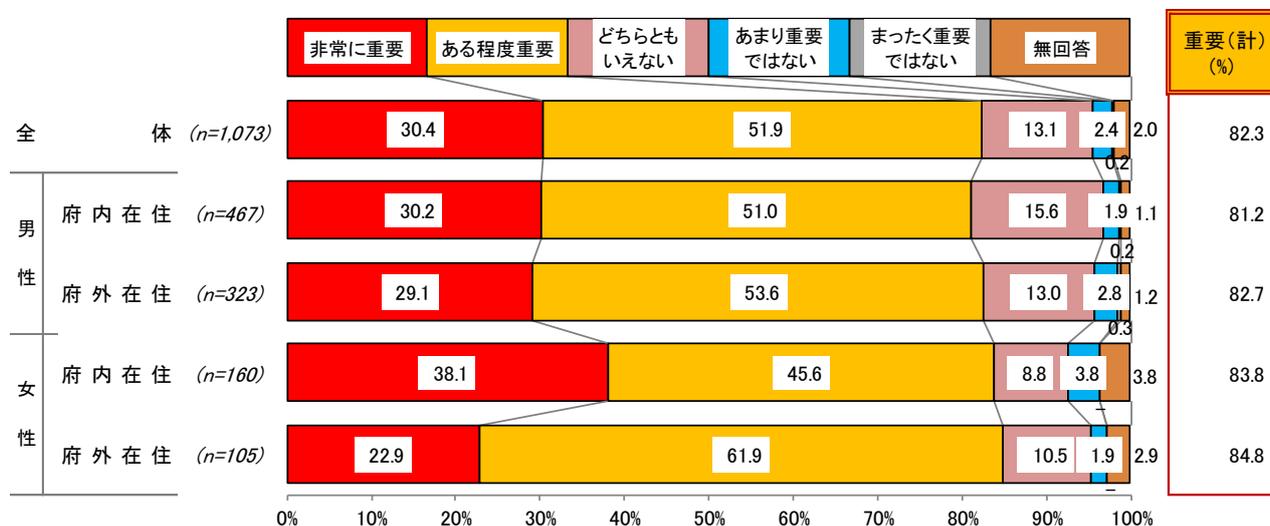
一方、居住地で男女別にみると、男性（府内 86.9%、府外 87.3%）よりも女性（同 93.1%、同 95.2%）の方が『重要』であると回答している。

図表 1-10-5 転出先に重要な点：“家賃などの住居費”（性・居住地別）



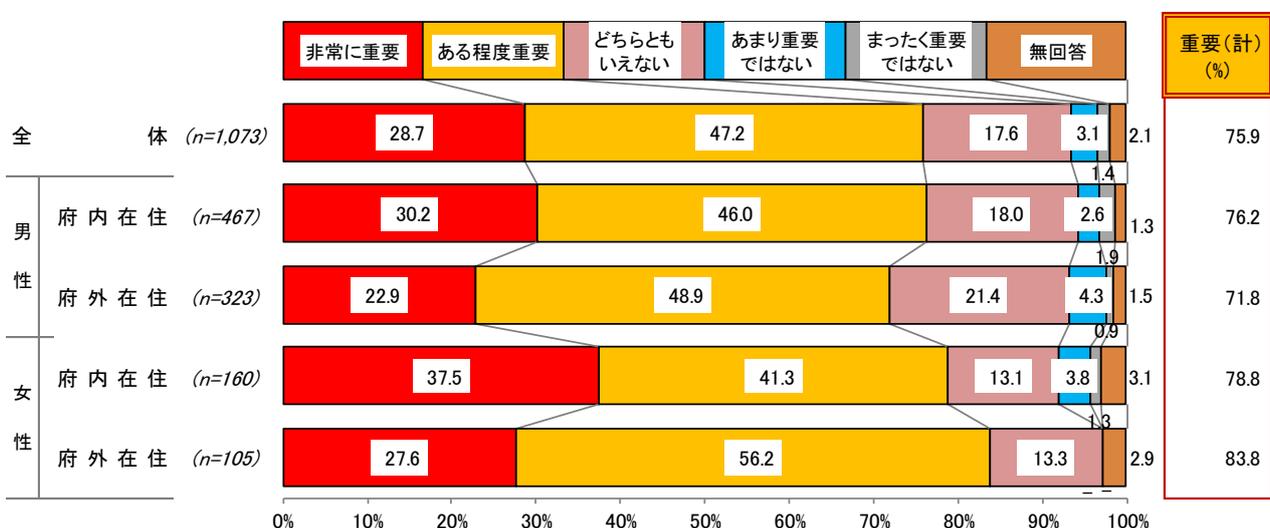
“住居の広さ”を性・居住地別にみると（図表 1-10-6）、『重要』であるという者に差はみられないが、男女ともに居住地による大きな差はみられないが、府内在住の女性に「非常に重要」（38.1%）という者が 4 割弱と多くなっている。

図表 1-10-6 転出先に重要な点：“住居の広さ”（性・居住地別）



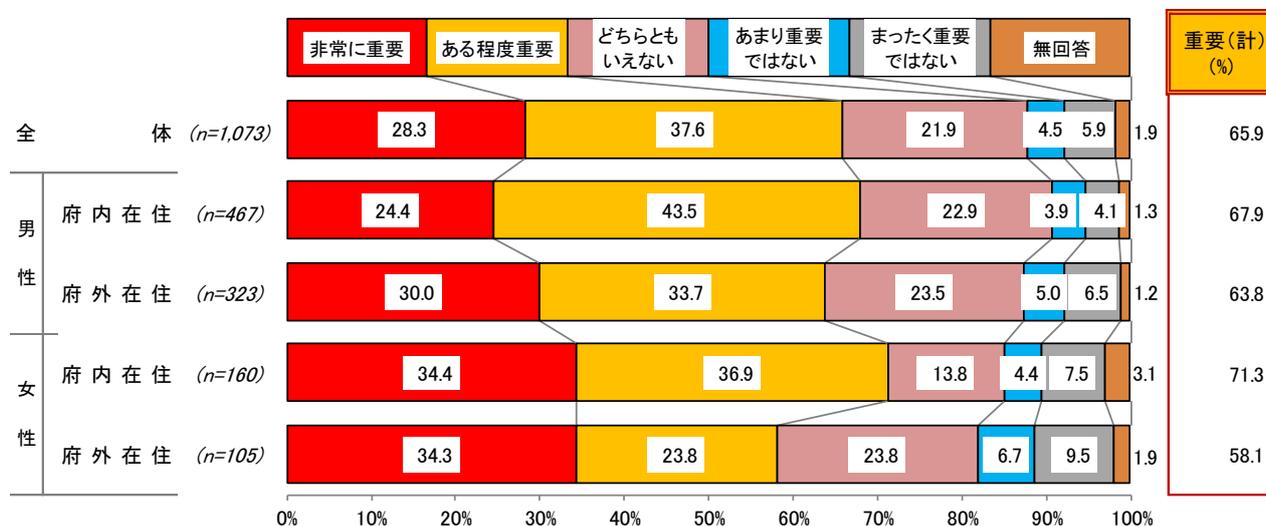
“就労環境”を性・居住地別にみると（図表 1-10-7）、女性の府外在住者で『重要』であるという者が 83.8%と、他の層よりやや多くなっている。

図表 1-10-7 転出先に重要な点：“就労環境”（性・居住地別）



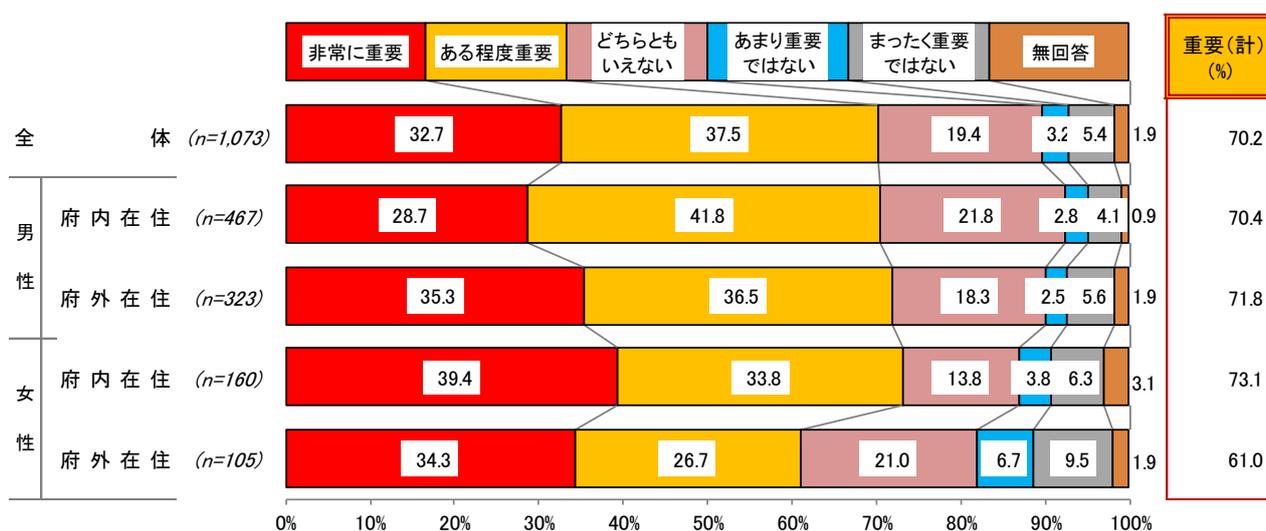
“保育サービス”を性・居住地別にみると（図表 1-10-8）、男性では、居住地による大きな差はみられない。一方、女性で『重要』と考える者は、府内在住者（71.3%）で7割を上回り、府外在住者（58.1%）を13ポイント上回っている。

図表 1-10-8 転出先に重要な点：“保育サービス”（性・居住地別）



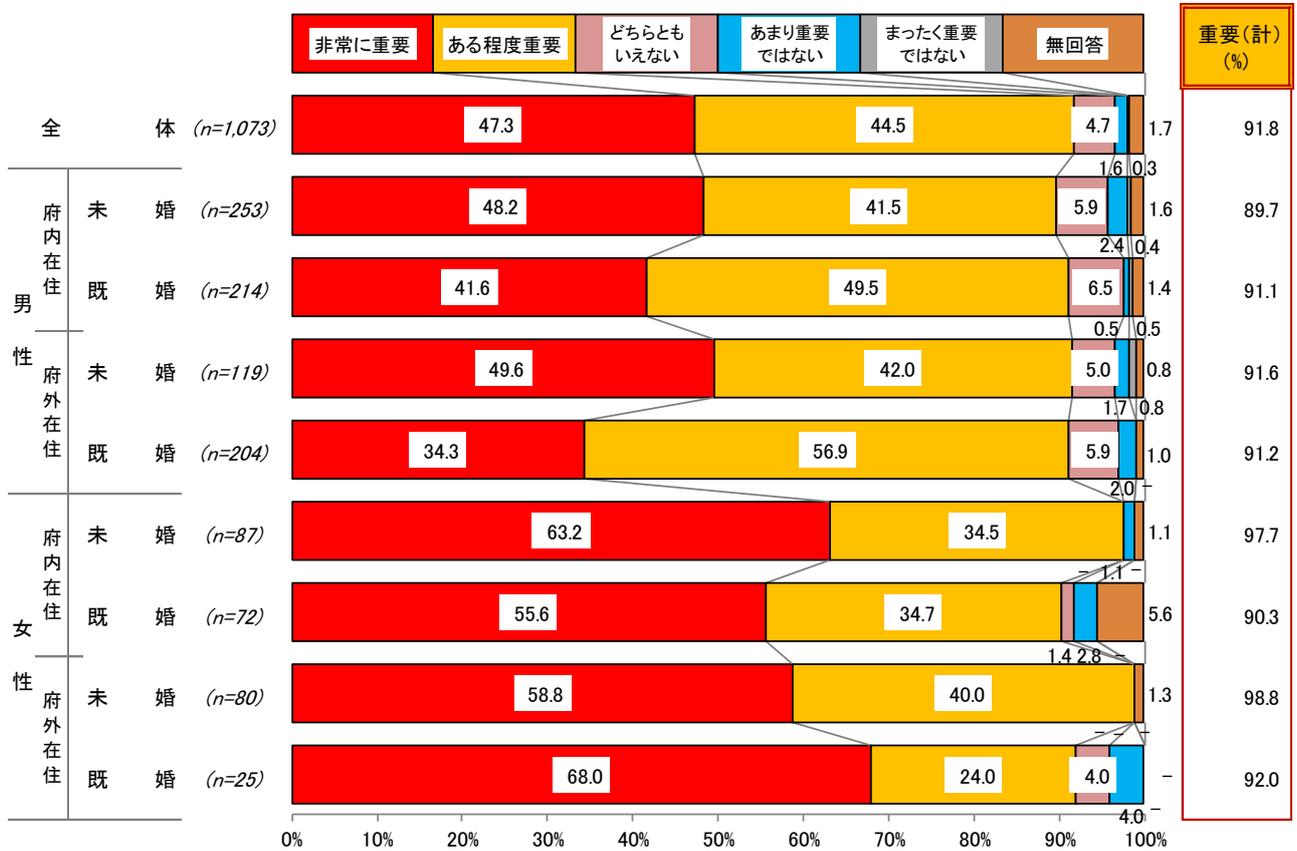
“子どもの学習環境”について性・居住地別にみると（図表 1-10-9）、男性では、居住地による大きな差はみられない。一方、女性で『重要』と考える者は、府内在住者（73.1%）で7割を上回り、府外在住者（61.0%）を12ポイント上回っている。

図表 1-10-9 転出先に重要な点：“子どもの学習環境”（性・居住地別）



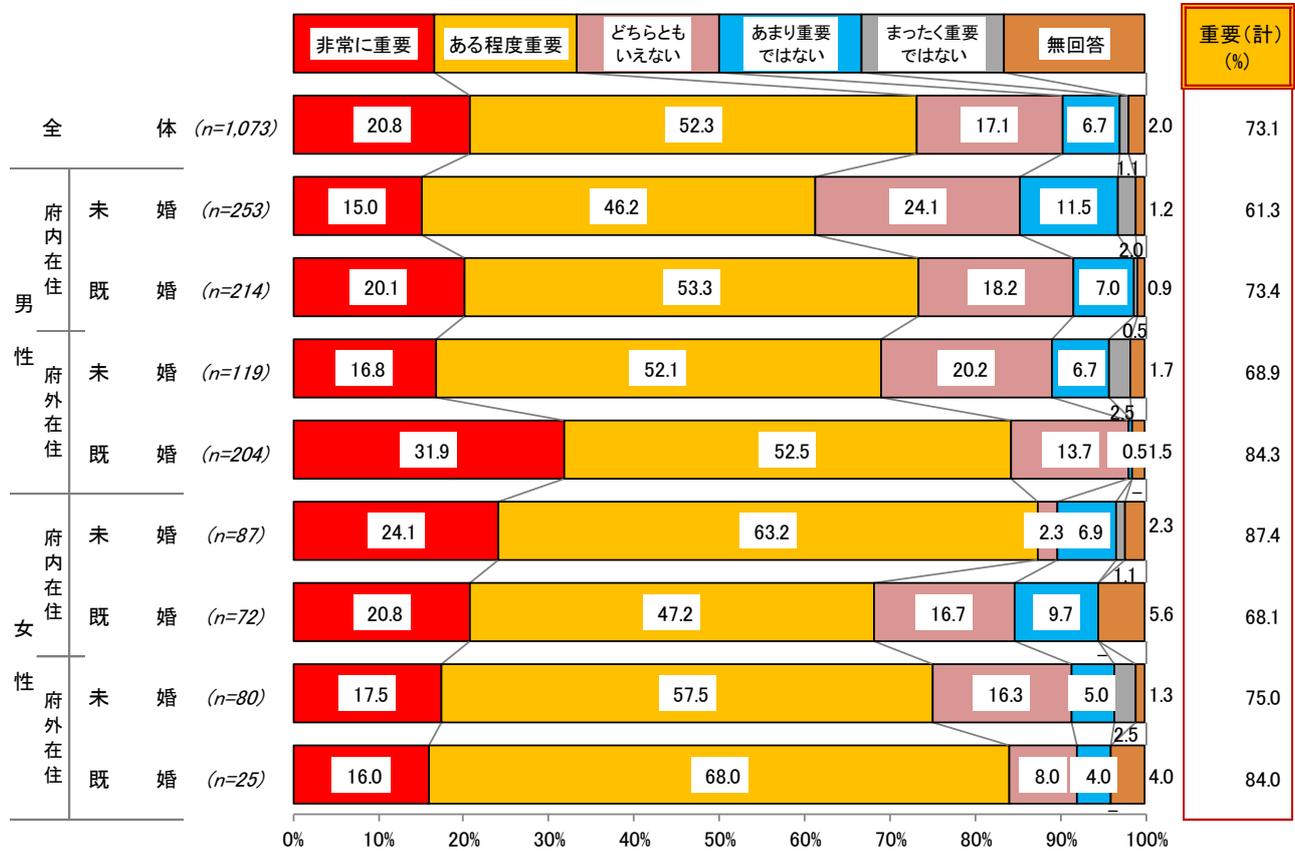
転出先の“買い物など日常の生活環境”を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-10-10）、男性では差はみられないが、府内在住の女性は、既婚者（90.3%）より未婚者（97.7%）の方が『重要』であると回答している。

図表 1-10-10 転出先に重要な点：“買い物など日常の生活環境”（性・居住地・婚姻状況別）



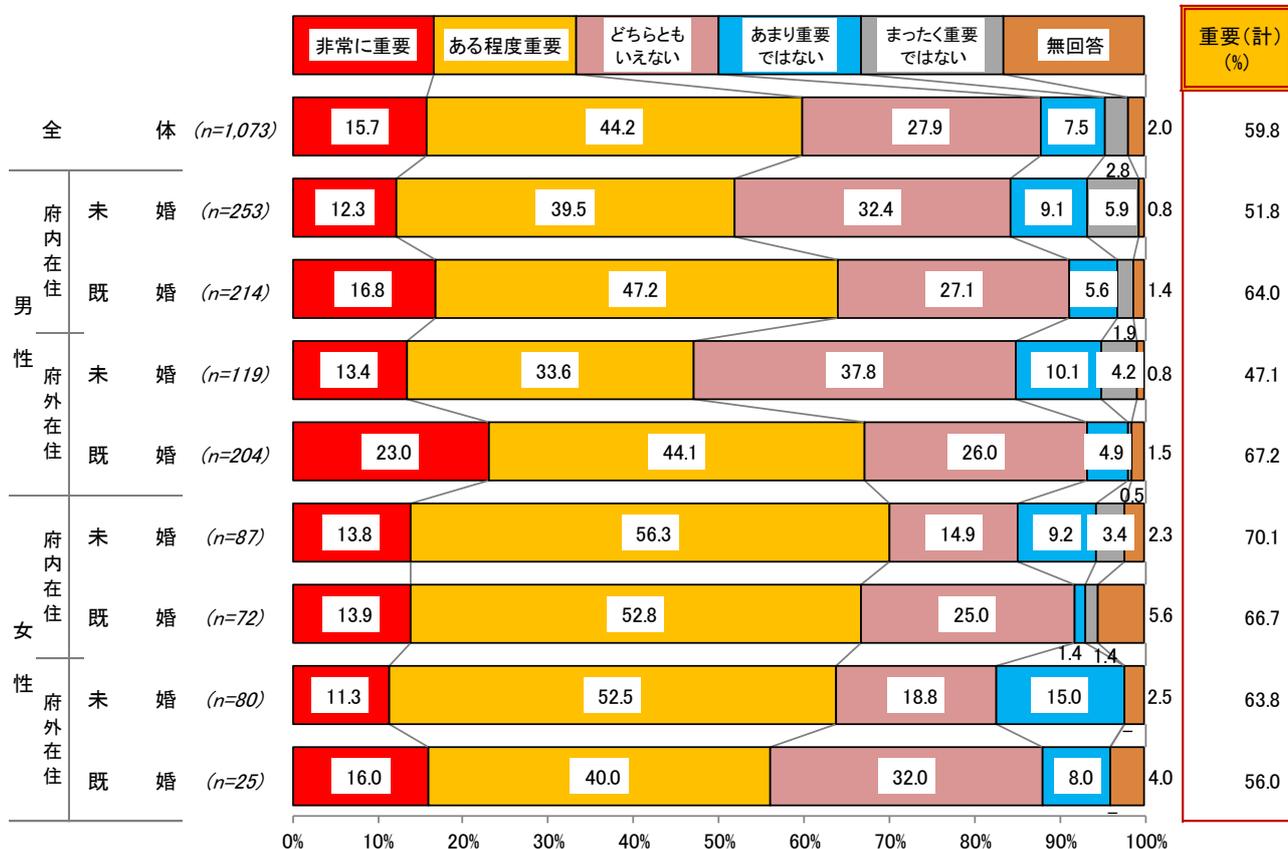
転出先の“自然環境”を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-10-11）、男性は、居住地にかかわらず未婚者（府内 61.3%、府外 68.9%）よりも既婚者（同 73.4%、84.3%）の方が『重要』と考える者は多いが、府内在住の女性は未婚者（87.4%）の方が既婚者（68.1%）よりも多くなっている。

図表 1-10-11 転出先に重要な点：“自然環境”（性・居住地・婚姻状況別）



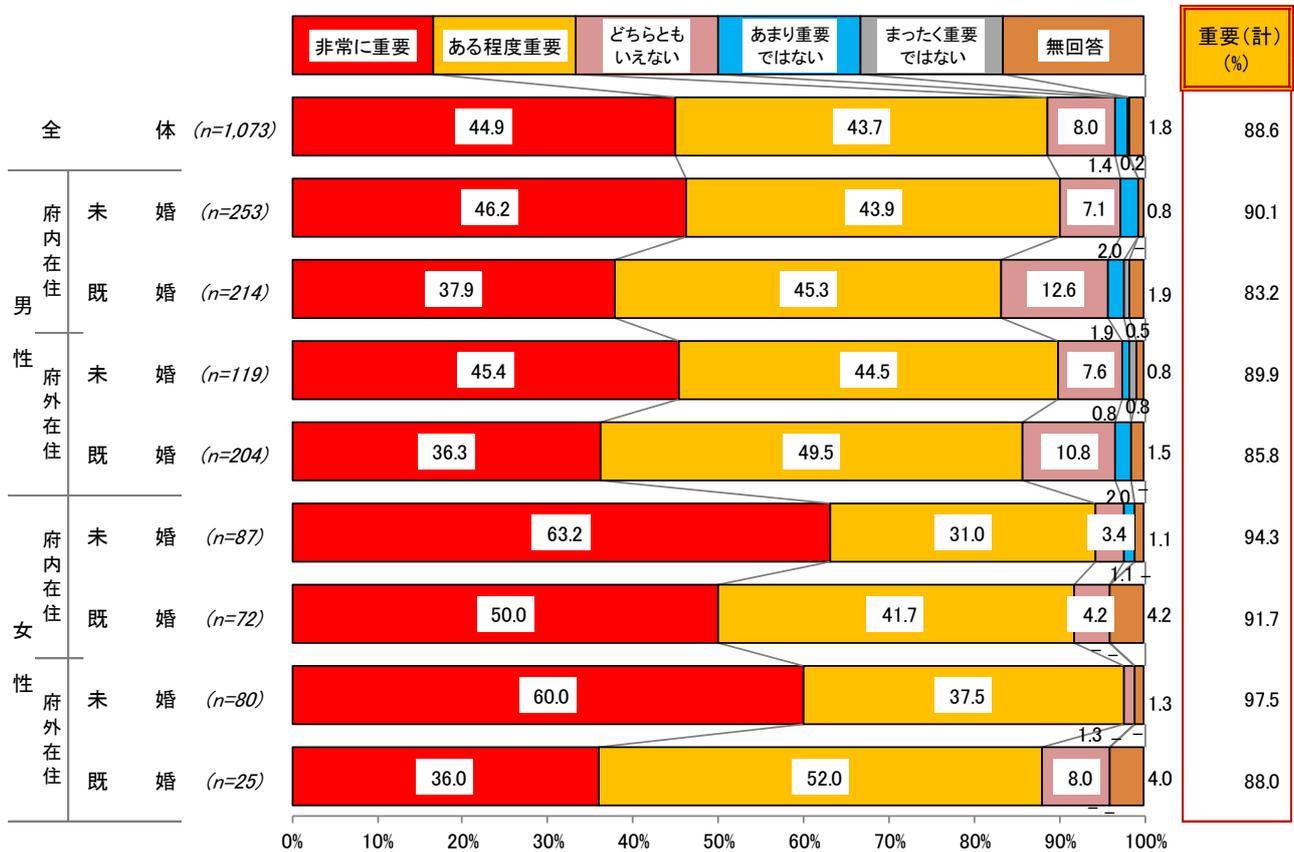
“地域の人とのつきあい”を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-10-12）、男性では、居住地にかかわらず未婚者（府内 51.8%、府外 47.1%）よりも既婚者（同 64.0%、67.2%）の方が『重要』であるという者は多いが、府内在住の女性は婚姻状況による大きな差はみられない。

図表 1-10-12 転出先に重要な点：“地域の人とのつきあい”（性・居住地・婚姻状況別）



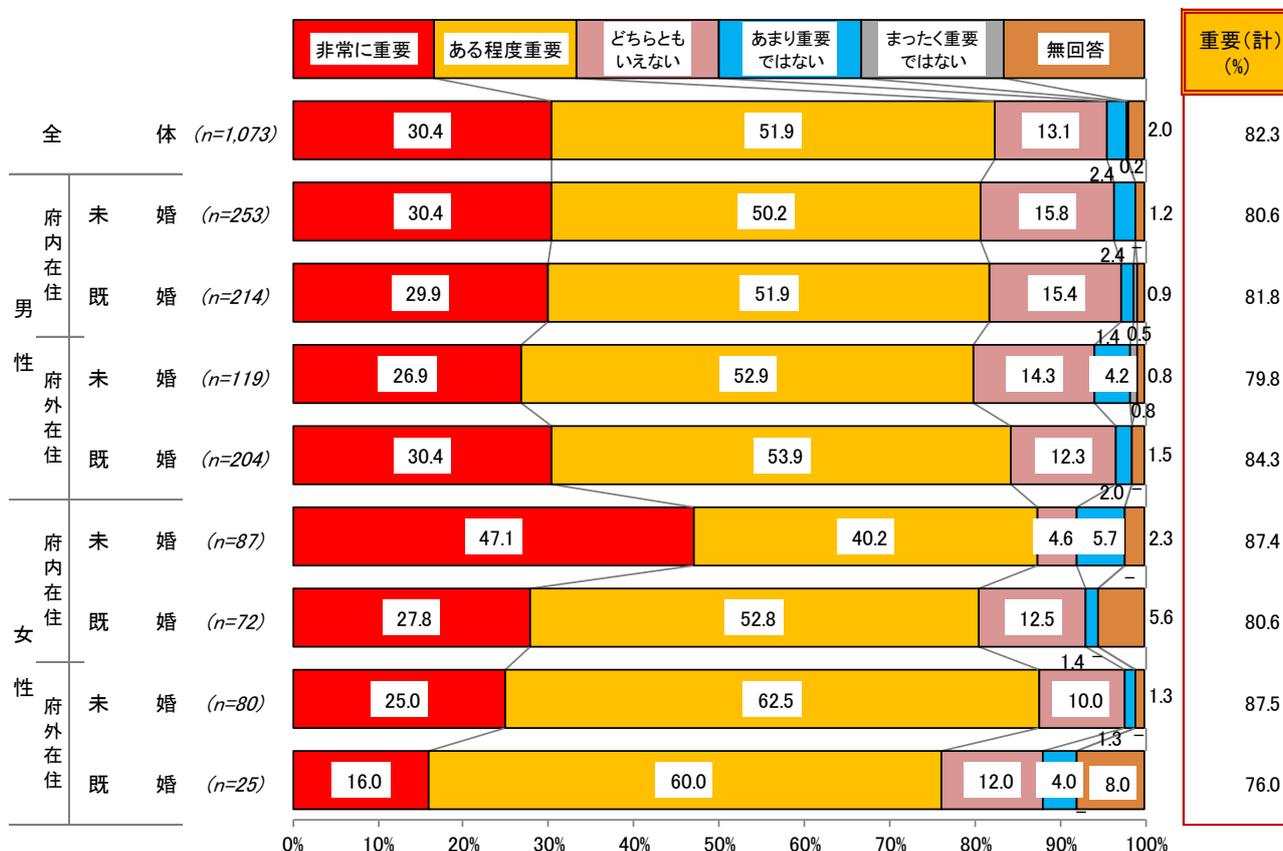
“家賃などの住居費”を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-10-13）、府内在住の男性では、『重要』（未婚 90.1%、既婚 83.2%）であるという者は、未婚者に多い。一方、府内在住の女性で『重要』と考える者に大きな差はみられないが、「非常に重要」という者が未婚者で 63.2%と目立って多くなっている。

図表 1-10-13 転出先に重要な点：“家賃などの住居費”（性・居住地・婚姻状況別）



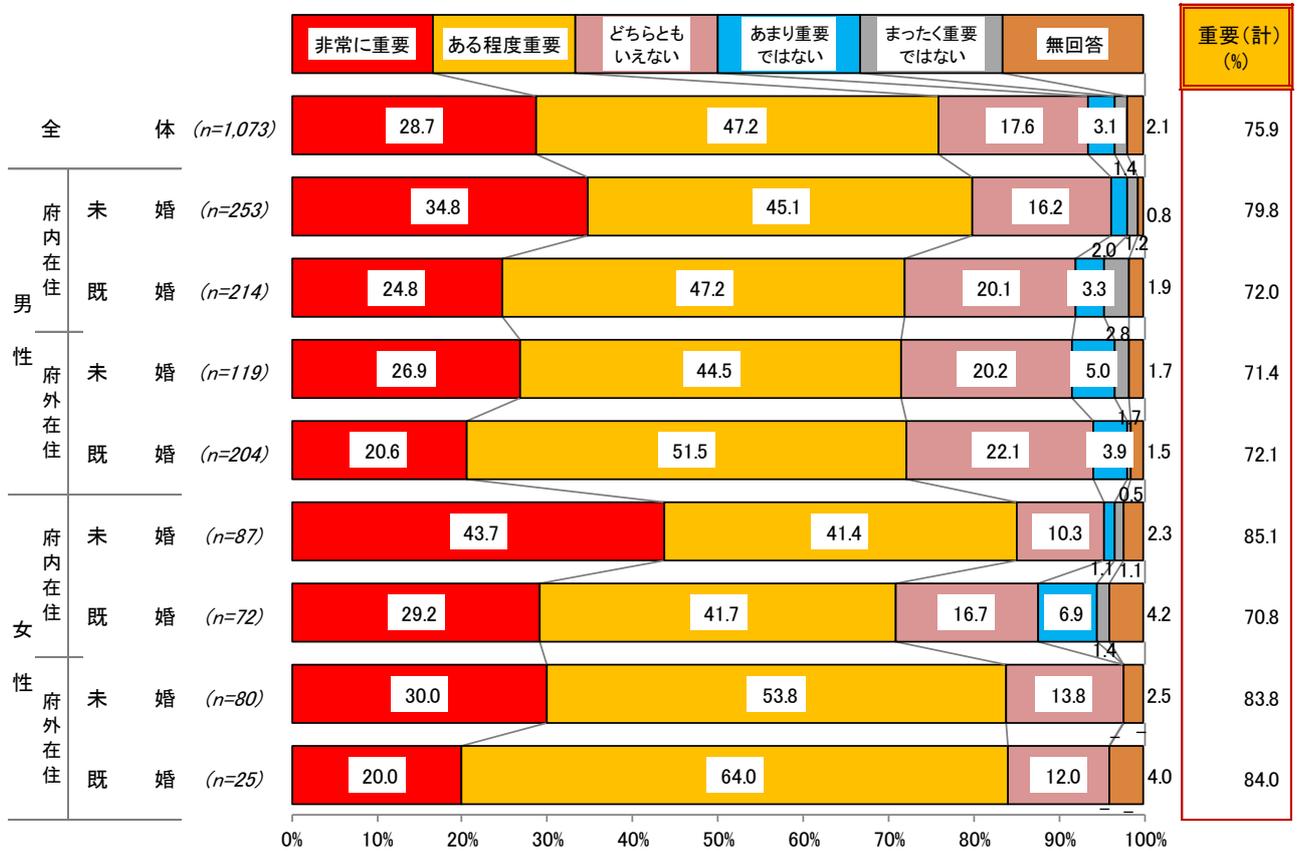
“住居の広さ”を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-10-14）、男性では大きな差はみられない。一方、府内在住の女性では、未婚者に「非常に重要」という者が 47.1%と、他の層よりも多く、『重要』（未婚 87.4%、既婚 80.6%）という者は既婚者より多くなっている。

図表 1-10-14 転出先に重要な点：“住居の広さ”（性・居住地・婚姻状況別）



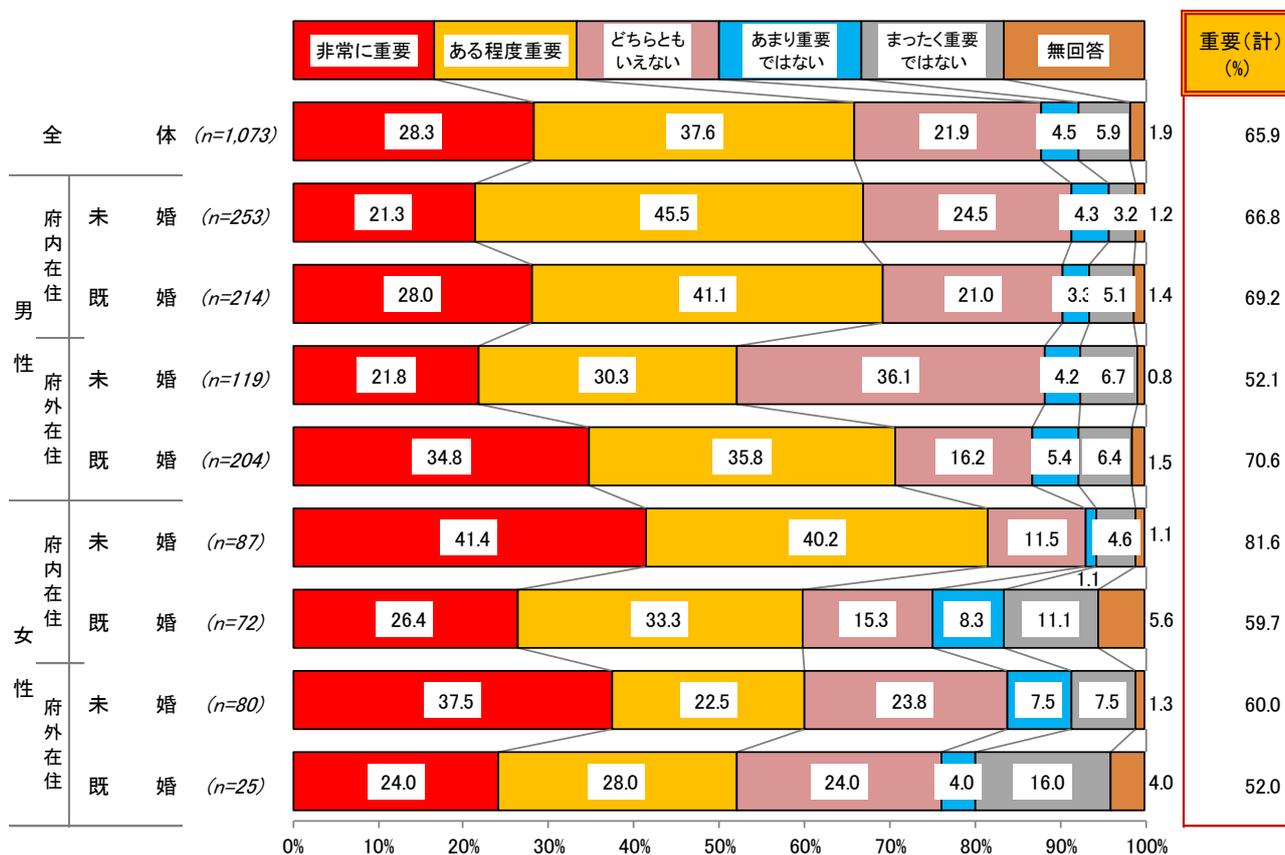
“就労環境”を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-10-15）、男女とも府内在住者で、『重要』と考える者が、既婚者（男性 72.0%、女性 70.8%）より未婚者（同 79.8%、85.1%）に多くなっている。

図表 1-10-15 転出先に重要な点：“就労環境”（性・居住地・婚姻状況別）



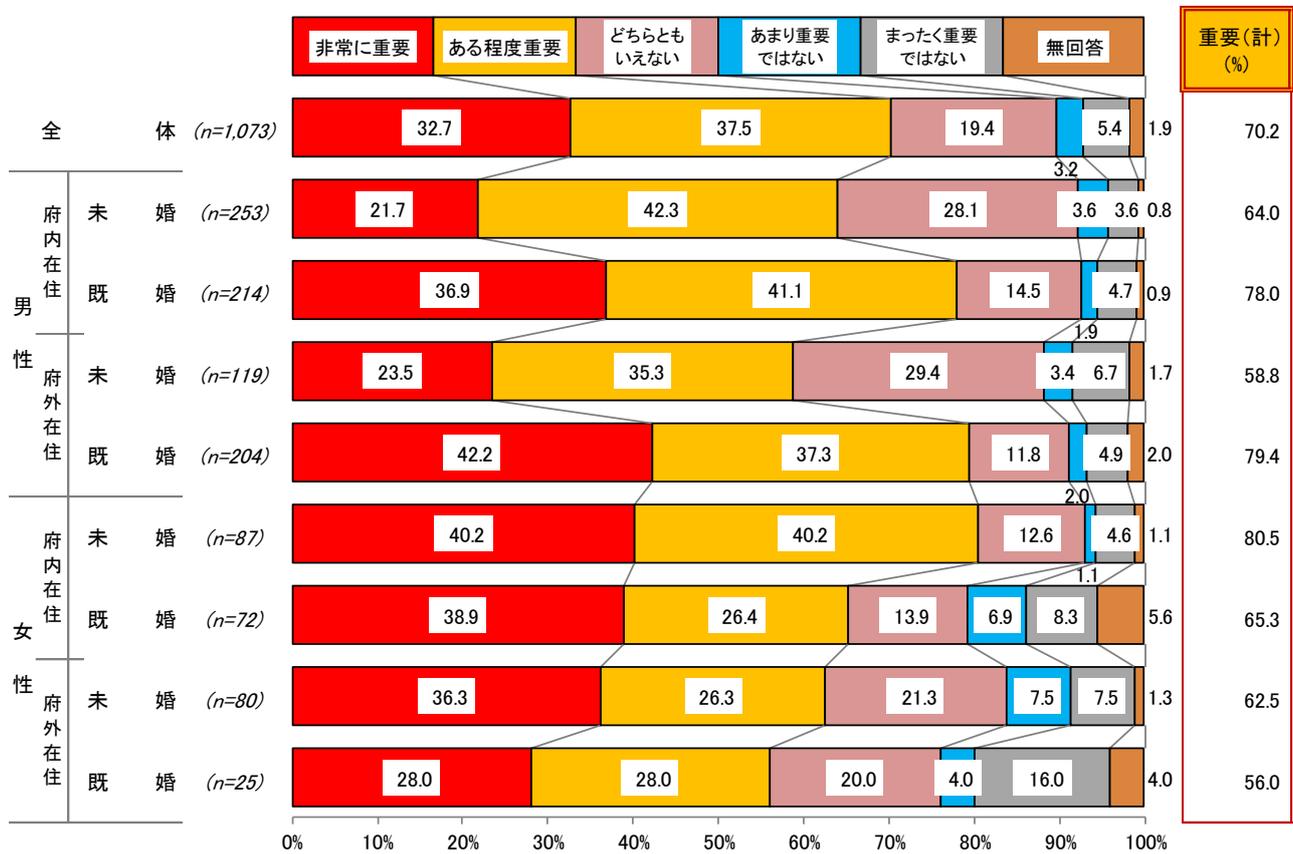
“保育サービス”を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-10-16）、府内在住者の男性では婚姻状況による大きな差はみられないが、府外在住の男性（未婚 52.1%、既婚 70.6%）では、未婚者より既婚者の方が『重要』であるとする者が多い。一方、府内在住の女性（同 81.6%、59.7%）では、既婚者より未婚者の方が『重要』という者が多い。

図表 1-10-16 転出先に重要な点：“保育サービス”（性・居住地・婚姻状況別）



“子どもの学習環境”を性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 1-10-17）、男性では居住地にかかわらず、未婚者（府内 64.0%、府外 58.8%）より既婚者（同 78.0%、79.4%）の方が『重要』と考える者が多くなっている。これに対して、府内在住の女性（未婚 80.5%、既婚 65.3%）では、既婚者よりも未婚者の方が『重要』だと回答している。

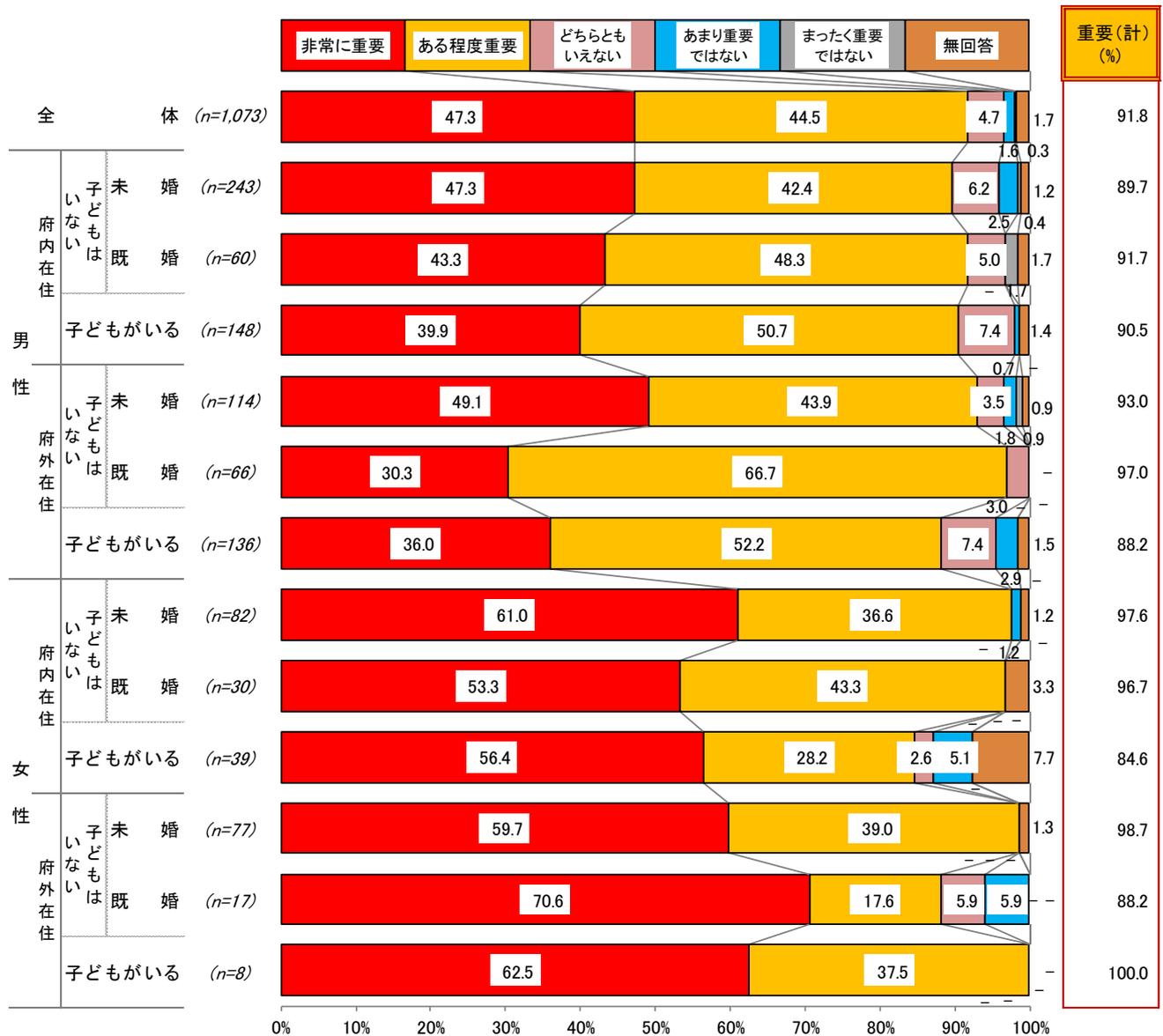
図表 1-10-17 転出先に重要な点：“子どもの学習環境”（性・居住地・婚姻状況別）



“買い物など日常の生活環境”を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-10-18）、府内在住の男性では子どもの有無による差はみられないが、府外在住の男性では『重要』という者は子どものいない既婚者では 97.0%であるのに対して、子どもがいる者では 88.2%と差がみられる。

一方、子どものいない未婚女性は、ほぼ全数が『重要』であると考えている（府内 97.6%、府外 98.7%）。

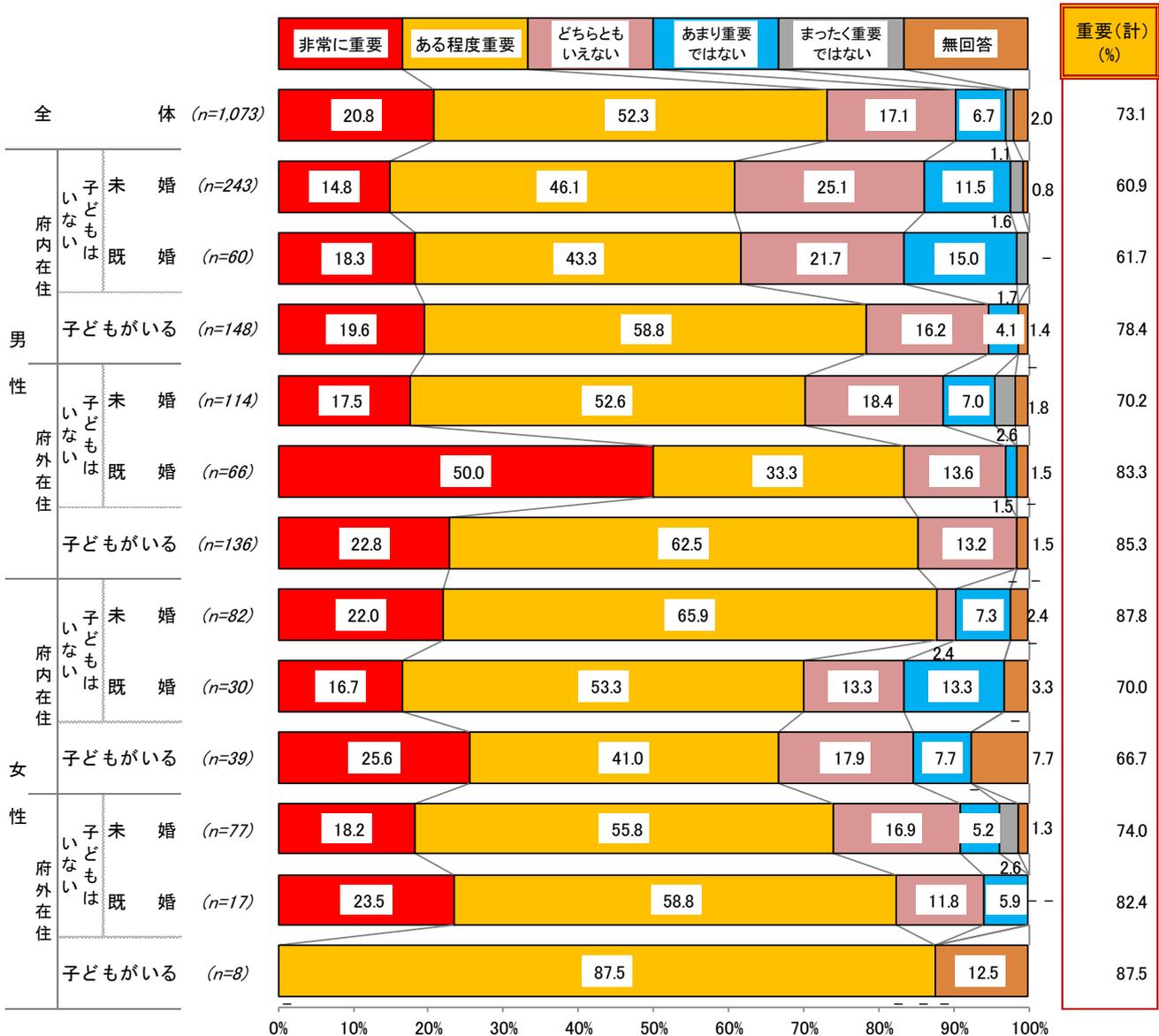
図表 1-10-18 転出先に重要な点：“買い物など日常の生活環境”（性・居住地・子どもの有無別）



“自然環境”を、性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-10-19）、府内在住の男性は、子どもがいない層（未婚 60.9%、既婚 61.7%）よりも子どもがいる者（78.4%）の方が『重要』であるという者が多い。一方、府外在住の男性で“自然環境”を『重要』と考える者は、子どものいない既婚者（83.3%）と子どもがいる者（85.3%）でともに 8 割を上回り、子どものいない未婚者（70.2%）との差が大きい。

子どものいない未婚女性では、府内在住者の 9 割近くは『重要』（87.8%）と回答し、府外在住の女性（74.0%）を 14 ポイント上回っている。

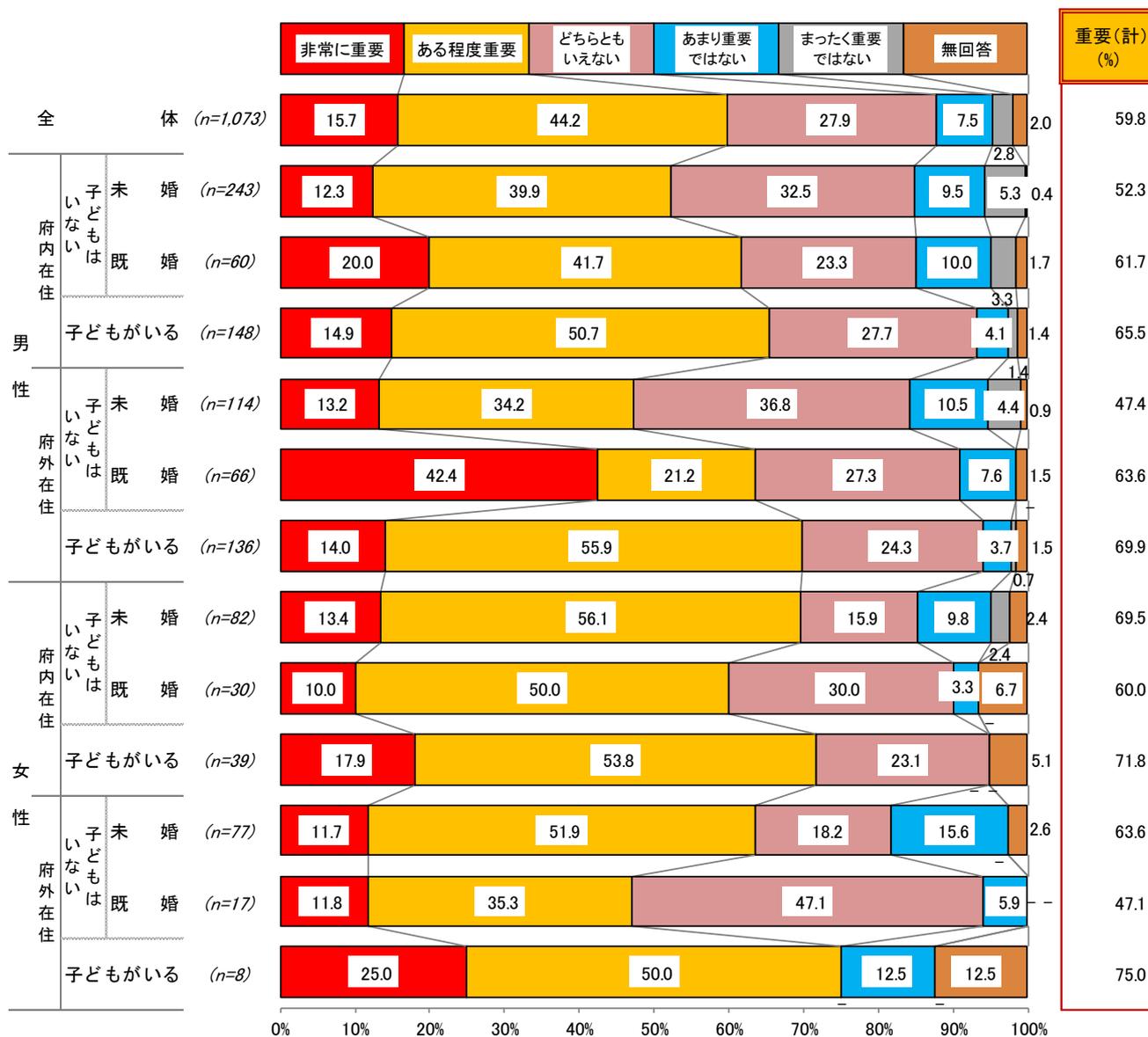
図表 1-10-19 転出先に重要な点：“自然環境”（性・居住地・子どもの有無別）



“地域の人とのつきあい”を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-10-20）、府内在住の男性では、子どもがいる者（65.5%）と子どもがいない既婚者（61.7%）で『重要』と考える者が6割を上回り、子どもがいない未婚者（52.3%）との差が大きい。一方、府外在住の男性でも同様の傾向であるが、子どもがいない既婚男性で「非常に重要」という者が4割を上回り、目立って多くなっている。

子どもがいない未婚女性（府内 69.5%、府外 63.6%）は、6割以上が『重要』であると回答して、居住地による差はみられず、子どもがいない未婚男性（同 52.3%、47.4%）との差が大きくなっている。

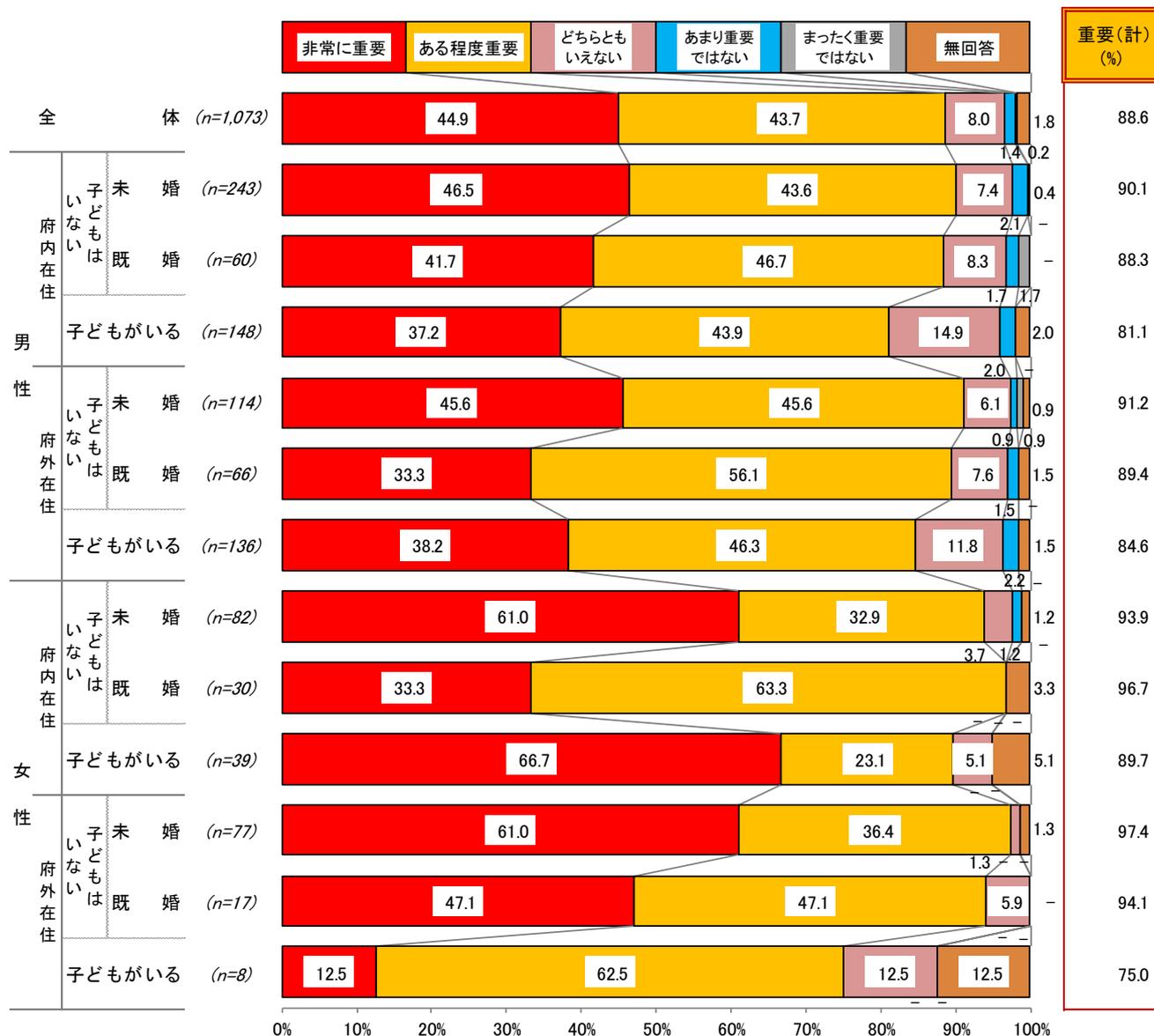
図表 1-10-20 転出先に重要な点：“地域の人とのつきあい”（性・居住地・子どもの有無別）



“家賃などの住居費”を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-10-21）、男性では居住地にかかわらず子どものいない未婚者（府内 90.1%、府外 91.2%）及び既婚者（同 88.3%、89.4%）の方が、子どものいる者（同 81.1%、84.6%）よりも、住居費を『重要』と考える者が多くなっている。

子どものいない未婚女性（同 93.9%、97.4%）は、居住地にかかわらず 9 割以上が住居費を『重要』と考えている。

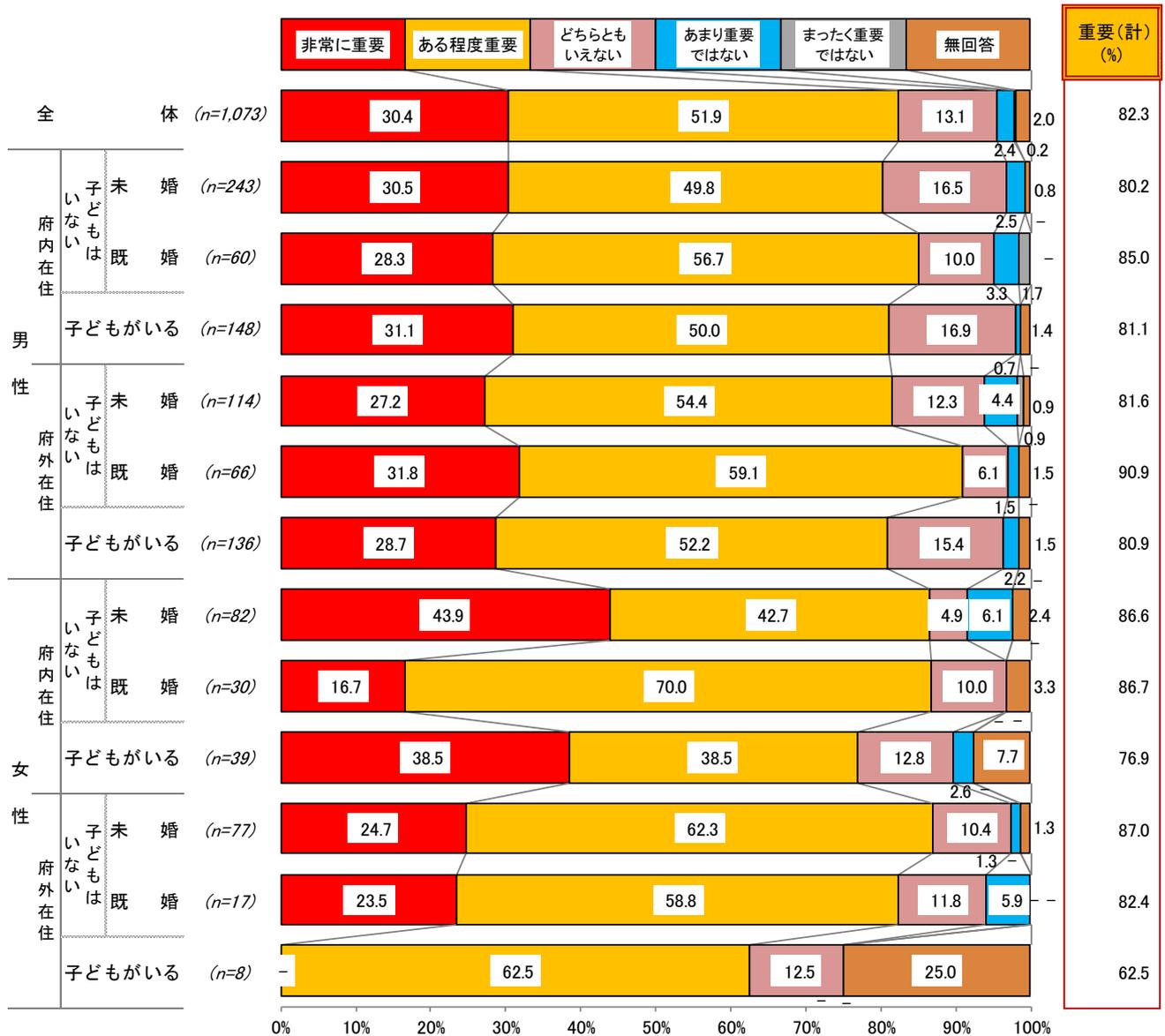
図表 1-10-21 転出先に重要な点：“家賃などの住居費”（性・居住地・子どもの有無別）



“住居の広さ”を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-10-22）、男性では、居住地にかかわらず子どものいない既婚者（府内 85.0%、府外 90.9%）で『重要』であるという者がやや多く、特に府外在住の子どものいない既婚男性では 9 割を占めている。

これに対して、女性では、居住地にかかわらず、子どものいない未婚者（同 86.6%、87.0%）で“住居の広さ”を『重要』と考える者が 9 割近い。

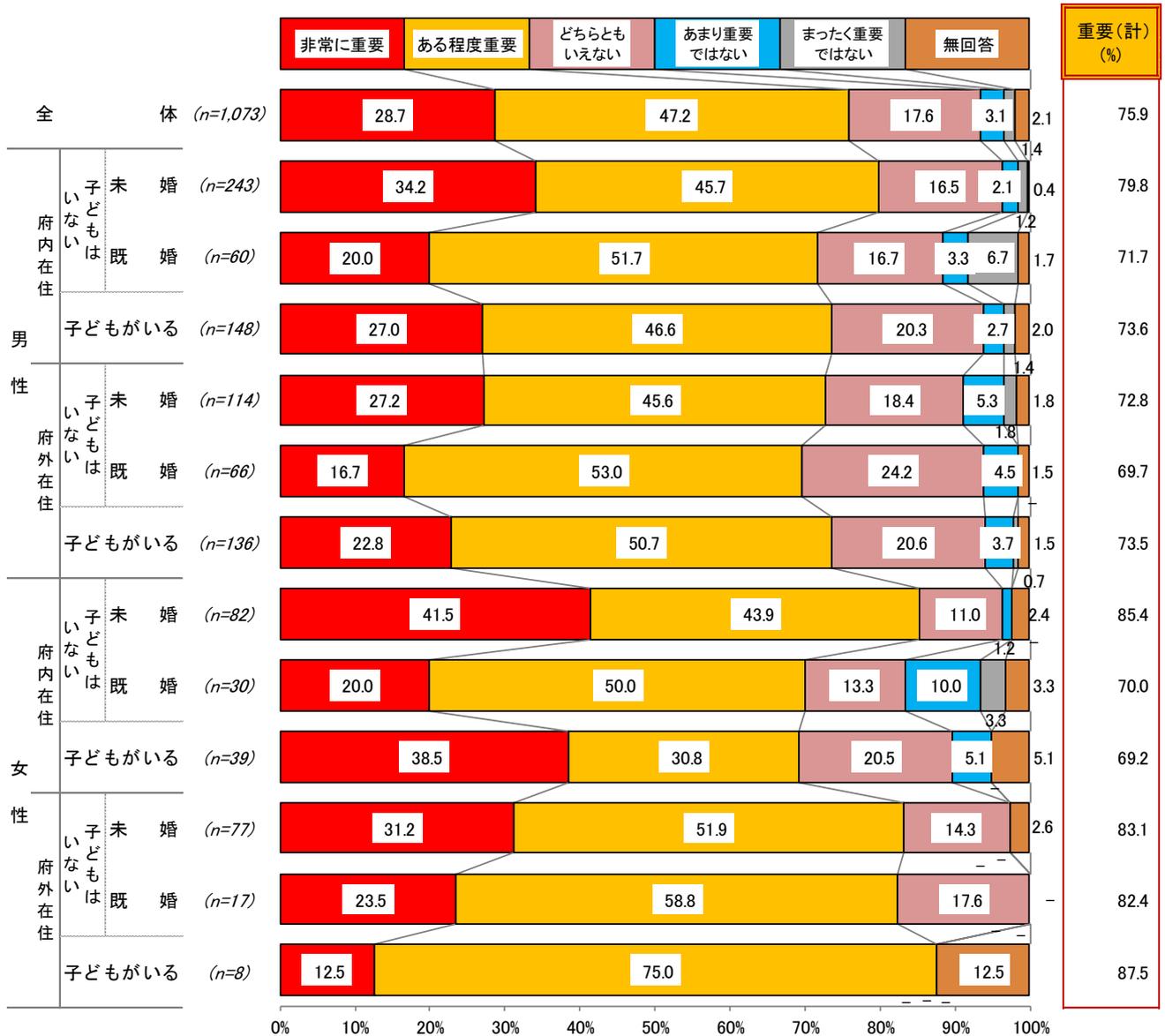
図表 1-10-22 転出先に重要な点：“住居の広さ”（性・居住地・子どもの有無別）



“就労環境”を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-10-23）、府内在住の未婚男性の 8 割が『重要』（79.8%）であると回答しているが、府内在住者のその他の層と府外在住者では 7 割前後で大きな差はみられない。

一方、女性では、居住地にかかわらず子どものいない未婚者（府内 85.4%、府外 83.1%）で 8 割以上が『重要』であると回答している。

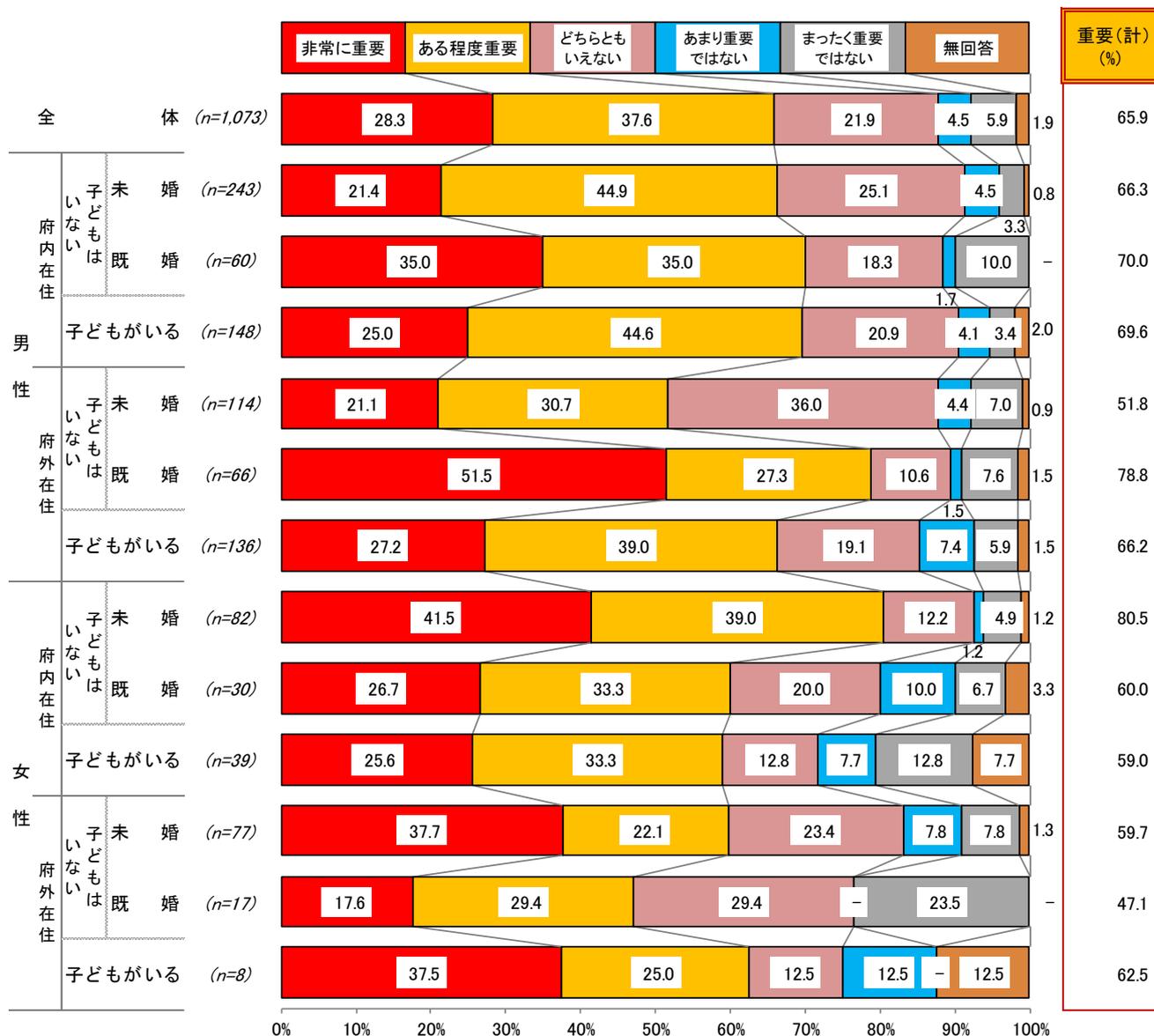
図表 1-10-23 転出先に重要な点：“就労環境”（性・居住地・子どもの有無別）



“保育サービス”を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-10-24）、府内在住の男性では大きな差はみられない。府外在住の男性では、子どものいない既婚者で「非常に重要」（51.5%）という者が過半数を占め、8割近くが『重要』（78.8%）であると回答し、他の層と差がみられる。

一方、子どものいない女性の未婚者をみると、府内在住者の80.5%は『重要』であると回答しているが、府外在住者では59.7%と、差がみられる。

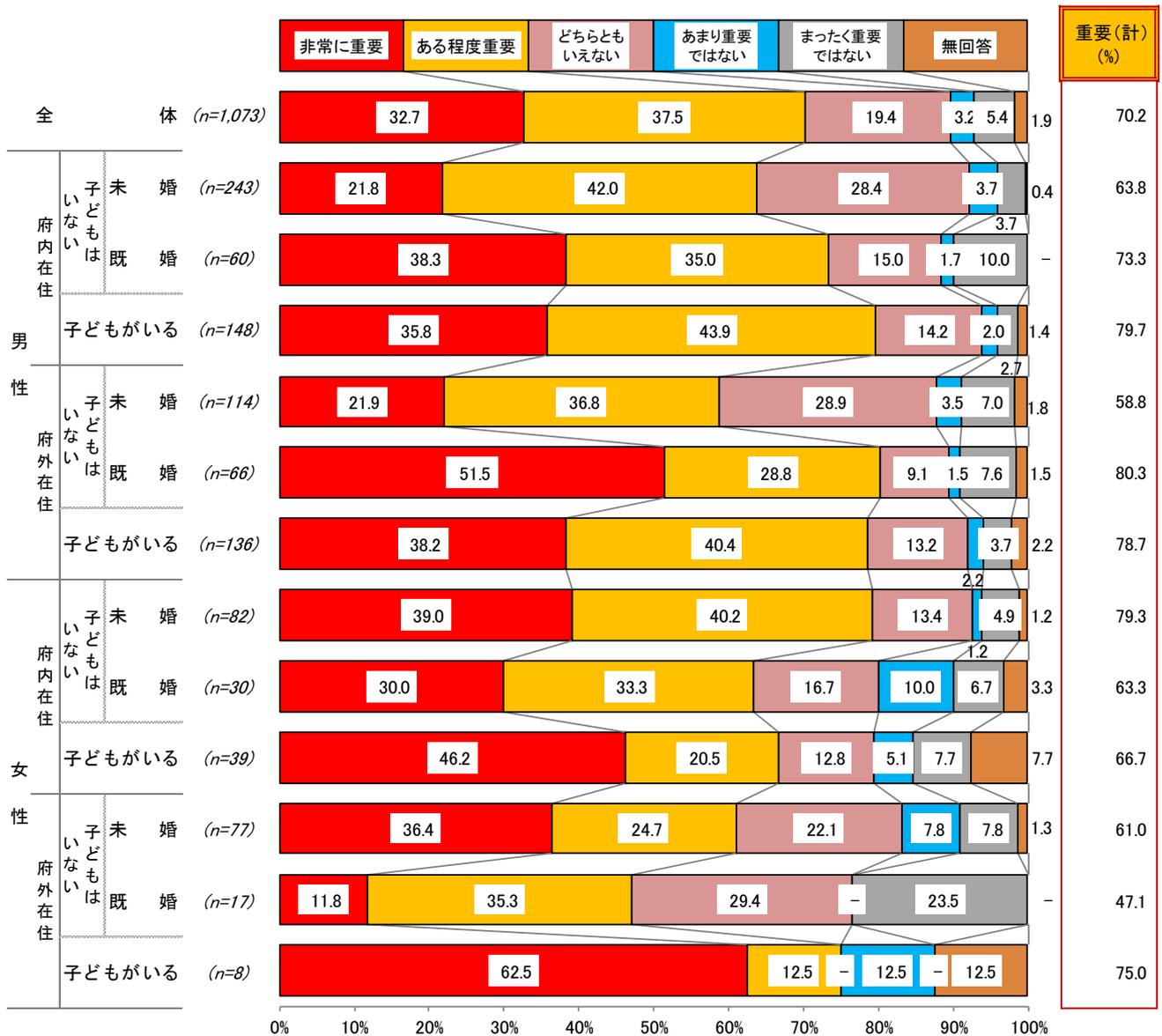
図表 1-10-24 転出先に重要な点：“保育サービス”（性・居住地・子どもの有無別）



“子どもの学習環境”を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 1-10-25）、居住地にかかわらず子どもがいる男性（府内 79.7%、府外 78.7%）と府外在住の子どもがいない既婚者（80.3%）で、『重要』であるという者が 8 割前後と多い。特に、府外在住の子どもがいない既婚男性は、“保育サービス”と同様に過半数が「非常に重要」（51.5%）と回答している。

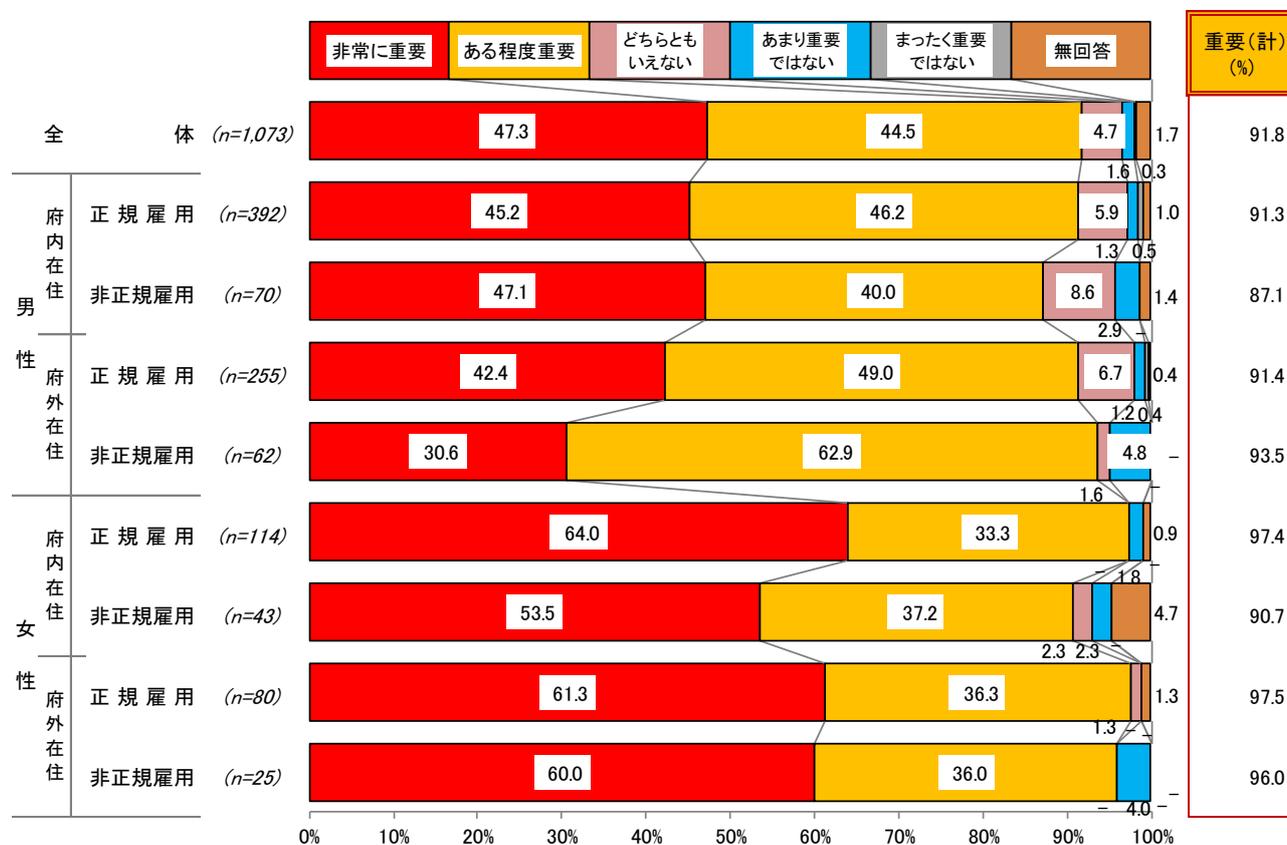
一方、子どものいない未婚女性をみると、“子どもの学習環境”が『重要』であるという者は、府内在住者（79.3%）で 8 割近く、府外在住者（61.0%）を 18 ポイント上回っている。

図表 1-10-25 転出先に重要な点：“子どもの学習環境”（性・居住地・子どもの有無別）



“買い物など日常の生活環境”を、性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-10-26）、いずれの層でも『重要』と考える者が多数を占めているが、女性の正規雇用者に「非常に重要」（府内 64.0%、府外 61.3%）という者が、6割を上回って多くなっている。

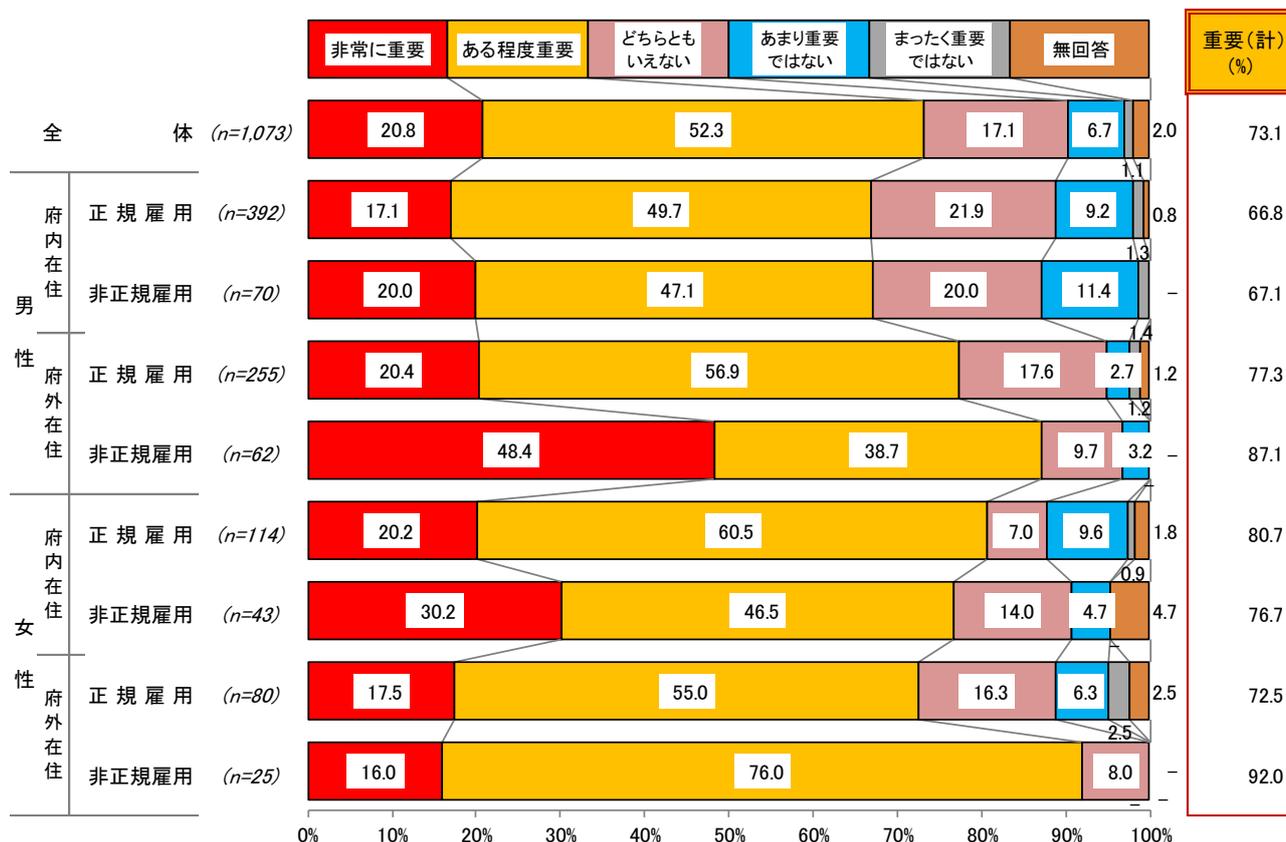
図表 1-10-26 転出先に重要な点：“買い物など日常の生活環境”（性・居住地・就労状況別）



“自然環境”を、性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-10-27）、男性では『重要』と考える者は、府内在住者（正規 66.8%、非正規 67.1%）では就労状況による差はみられないが、府外在住者（同 77.3%、87.1%）では非正規雇用者が正規雇用者を 10 ポイント上回り、府内在住者より多くなっている。

一方、女性の正規雇用者で“自然環境”を『重要』と考える者（府内 80.7%、府外 72.5%）が、府外在住者より府内在住者に多くなっている。

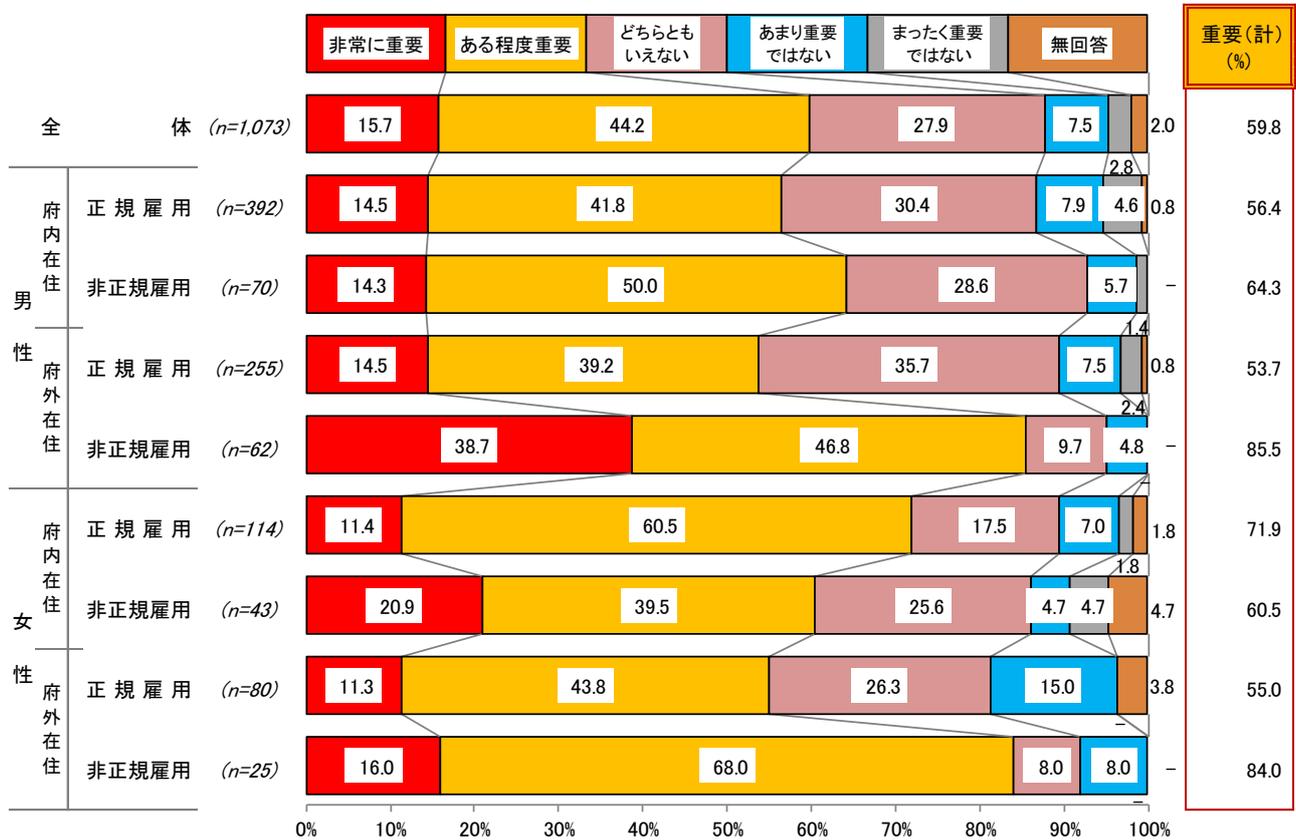
図表 1-10-27 転出先に重要な点：“自然環境”（性・居住地・就労状況別）



“地域の人とのつきあい”を性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-10-28）、『重要』であるという者は、男性では、居住地にかかわらず正規雇用者（府内 56.4%、府外 53.7%）より非正規雇用者（同 64.3%、85.5%）が多く、特に府外在住の非正規雇用者は 8 割を上回っている。

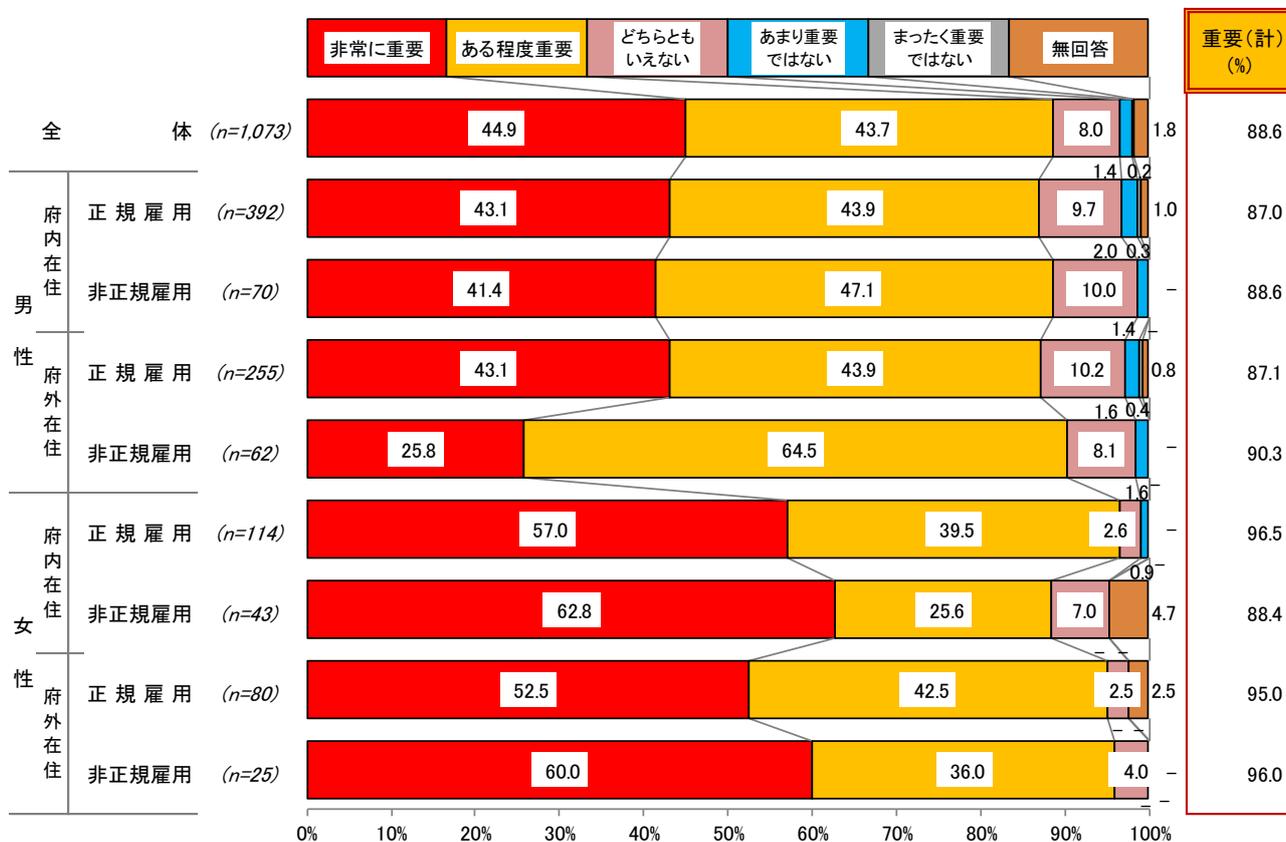
一方、女性の正規雇用者では府内在住者（71.9%）の 7 割以上が『重要』であると回答しているのに対して府外在住者では 55.0%と、差が大きい。

図表 1-10-28 転出先に重要な点：“地域の人とのつきあい”（性・居住地・就労状況別）



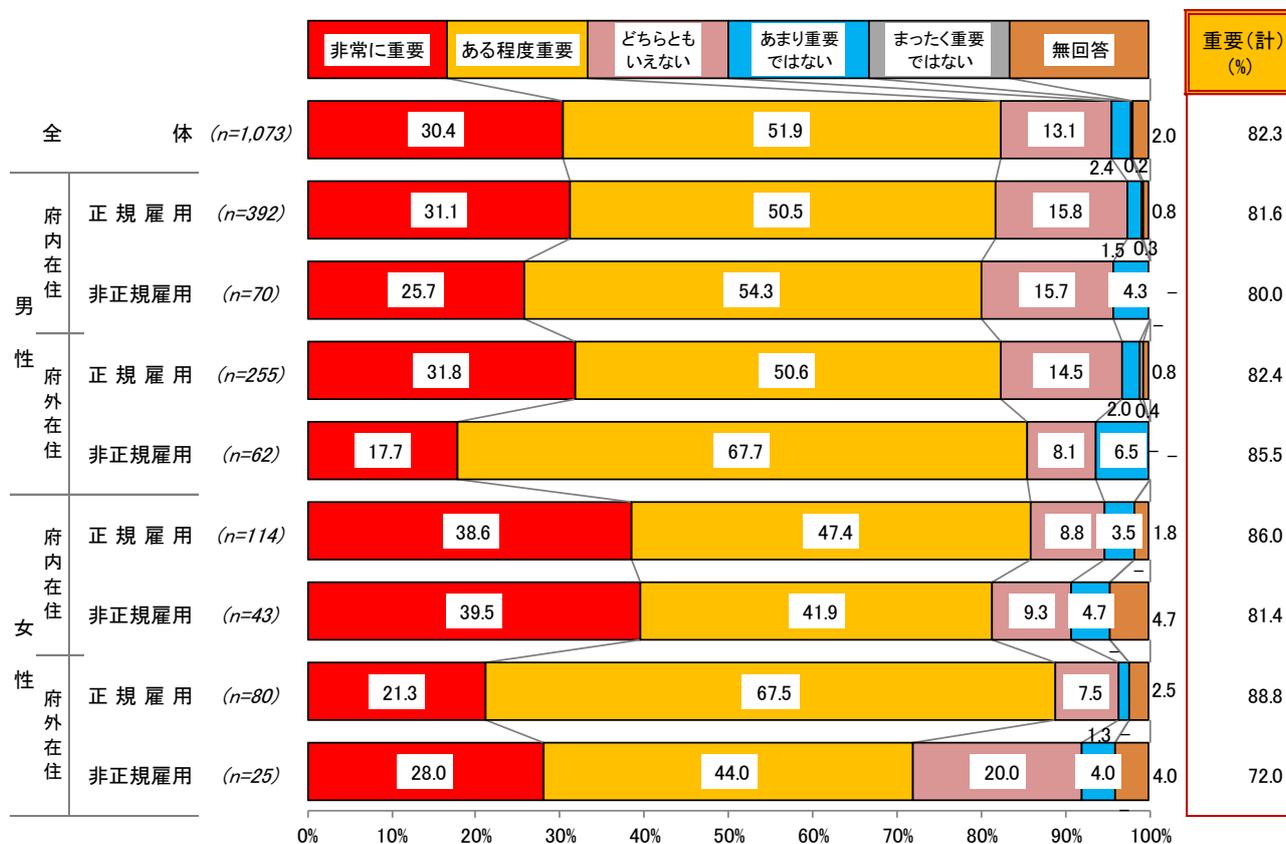
“家賃などの住居費”を性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-10-29）、いずれの層でも『重要度』では大きな差はみられないが、府外在住の非正規雇用の男性で、「非常に重要」が 25.8%と他の層よりも目立って低い。

図表 1-10-29 転出先に重要な点：“家賃などの住居費”（性・居住地・就労状況別）



“住居の広さ”を性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-10-30）、男性では大きな差はみられない。女性の正規雇用者（府内 86.0%、府外 88.8%）では、9 割近くが『重要』と回答している。

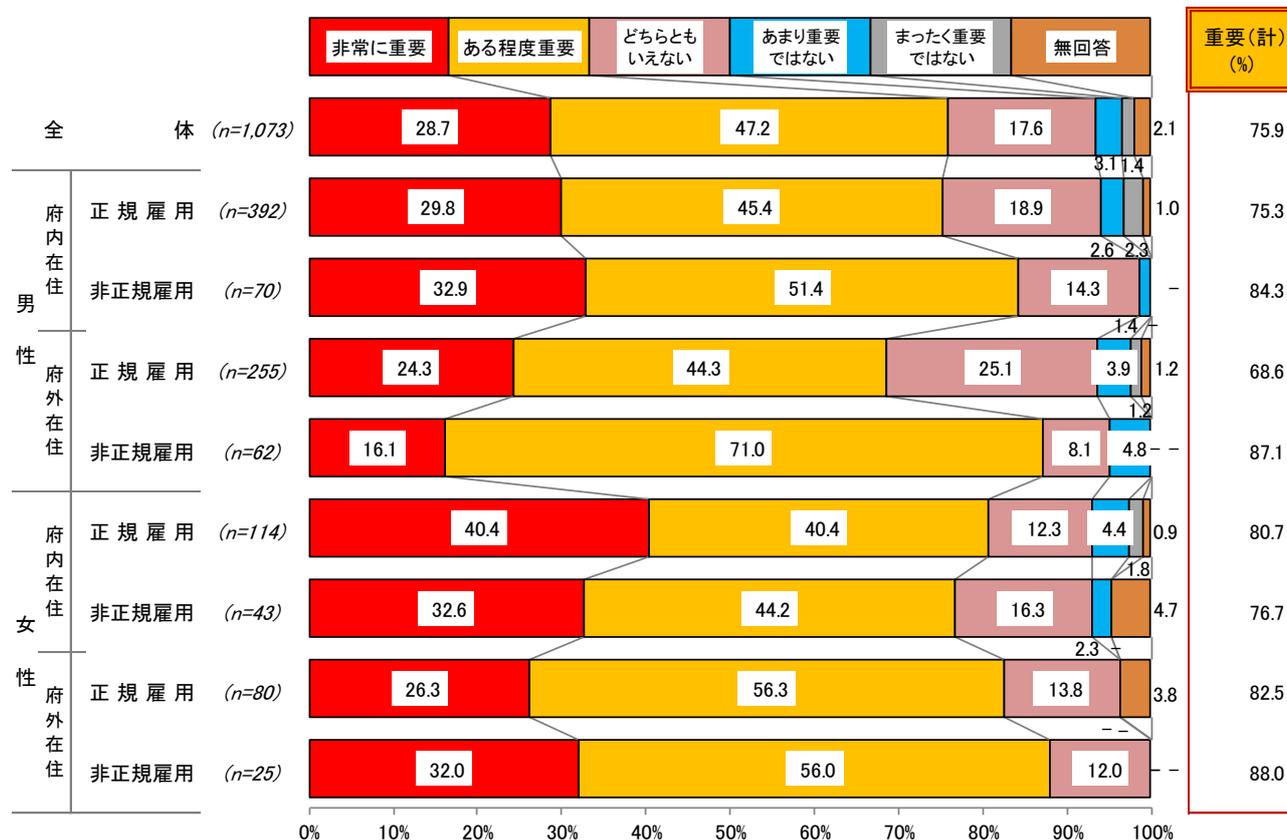
図表 1-10-30 転出先に重要な点：“住居の広さ”（性・居住地・就労状況別）



“就労環境”を性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-10-31）、男性では居住地にかかわらず、正規雇用者（府内 75.3%、府外 68.6%）よりも非正規雇用者（同 84.3%、87.1%）の方が“就労環境”を『重要』と考える者が多い。

女性の正規雇用者（同 80.7%、82.5%）は、居住地にかかわらず約 8 割が『重要』であると考えている。

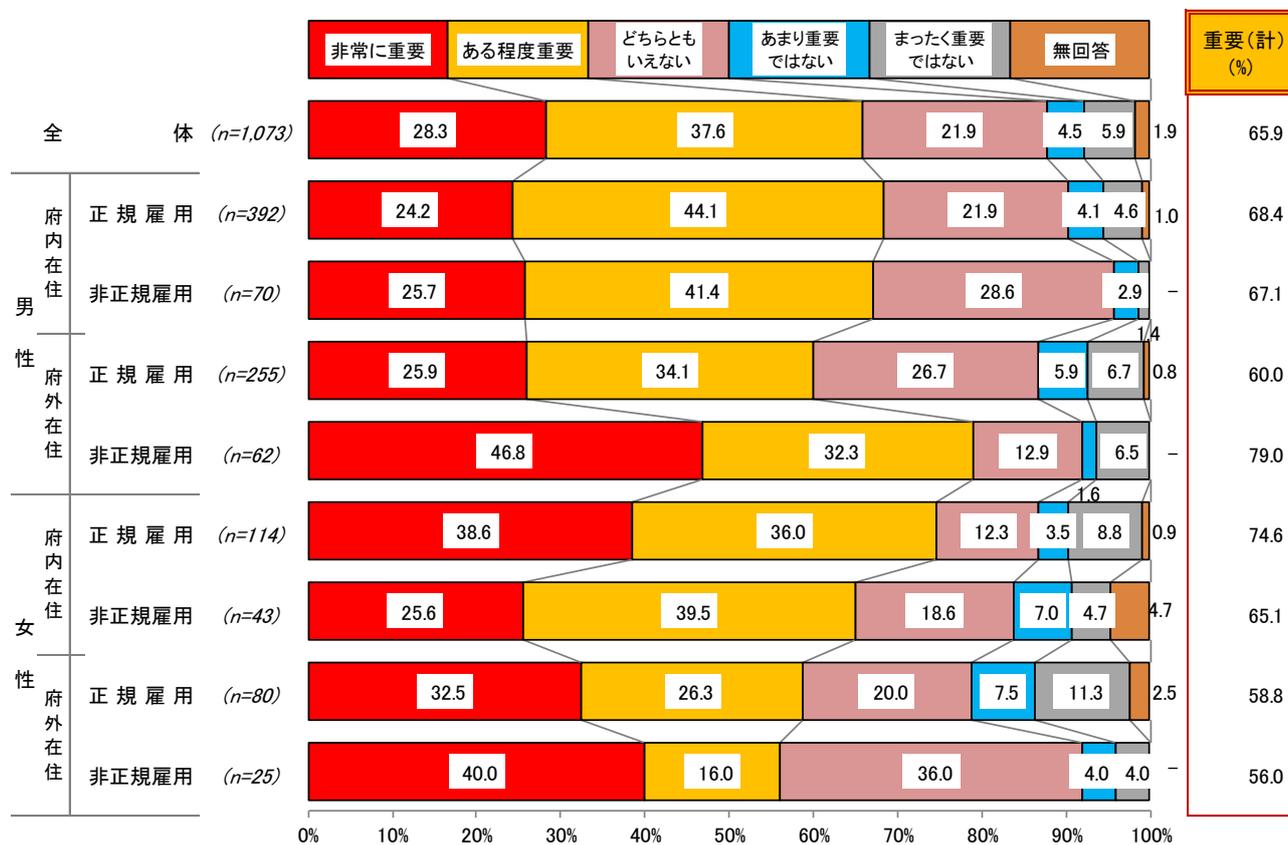
図表 1-10-31 転出先に重要な点：“就労環境”（性・居住地・就労状況別）



“保育サービス”を性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-10-32）、府内在住の男性に差はみられないが、府外在住者では正規雇用者（60.0%）よりも非正規雇用者（79.0%）の方が『重要視』している。

一方、女性では、正規雇用者では府外在住者（58.8%）よりも府内在住者（74.6%）の方が『重要』と回答している。

図表 1-10-32 転出先に重要な点：“保育サービス”（性・居住地・就労状況別）



“子どもの学習環境”に対する重要度を、性・居住地・就労状況別にみると（図表 1-10-33）、男性の府外在住者では非正規雇用者で「非常に重要」が 54.8%と過半数を占め、8 割以上が『重要』（83.9%）だと回答している。

女性の正規雇用者では、府外在住者（61.3%）より府内在住者（77.2%）の方が『重要』と回答している。

図表 1-10-33 転出先に重要な点：“子どもの学習環境”（性・居住地・就労状況別）

